

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

第1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況.....	1
1	学生の確保の見通し.....	1
	(1) 定員充足の見込み.....	1
	(2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要.....	5
	(3) 学生納付金の設定の考え方.....	11
2	学生確保に向けた具体的な取組状況.....	11
	(1) 推進体制.....	11
	(2) 具体的な取組内容.....	12
第2	人材需要の動向等社会の要請.....	14
1	人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）.....	14
2	上記1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠.....	14
	(1) 社会的背景.....	14
	(2) 臨床工学技士に係る社会的ニーズ等の動向.....	15
	(3) 人材需要に関するアンケート調査.....	18
	(4) 就職先確保に向けた取組.....	20
	別紙資料目次.....	22

学生の確保の見通し等を記載した書類

第1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1 学生の確保の見通し

(1) 定員充足の見込み

医療科学部（臨床工学科）の入学定員設定の考え方は、以下のとおりである。

(i) 18歳人口の推移、進学状況等

本学は大阪府に立地する。全国的に18歳人口が一時の横ばい状況から2021（令和3）年以降は長期的な減少傾向と予測されており、このことは大阪府の18歳人口についても同様と見込まれている（別紙1）。

一方で、大阪府は、大学進学者の地元残留率（学校基本調査に基づくリクルート社の推計）が全国の44.2%に対し56.4%と高く（別紙2）、また、大学進学者の県ごとの流入状況（文部科学省資料）についてみると、大阪府では「流入者数>流出者数」であり、2018（平成30）年には7,000人超の流入超過（推計）となっている（別紙3）。西日本地方においては隣県の京都府とともに大学生の大きな受入先の一つとなっていることは、学生確保の上でも地域的なメリットであると考えられる。

さらに、日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センターの「私立大学・短期大学等入学志願動向」によれば、大阪府の大学に係る志願倍率は全国平均の数値に比べ高い水準で推移しかつ大きく増加していることも、大阪府における安定的な学生確保の状況を示す一つのデータと考えられる（別紙4）。

		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	(参考)増加率
大阪	志願倍率	9.83	9.97	10.60	11.49	12.86	30.8%
	充足率	107.68	106.47	107.10	104.51	103.61	—
全国	志願倍率	7.58	7.76	8.13	8.57	9.09	19.9%
	充足率	105.04	104.43	104.61	102.64	102.67	—

出典：日本私立学校振興・共済事業団私学経営情報センター「私立大学・短期大学等入学志願動向」より

※「増加率」は、2019年度の志願倍率の2015年度に対する増加率である（本学による計算）

(ii) 他大学の同系学部学科の入試状況

臨床工学技士の養成を主な教育内容とする同系の学部学科は、大学によって「医療保健学部」「医療技術学部」「保健科学部」「工学部」その他多様な学部 zu 置かれており、また、それらの学部では臨床工学技士関係の学科とともに他の複数の学科が併設されているケースが多い。

このことを勘案し、競合他大学の状況について「学部」に着目するのではなく、臨床工学技士養成課程を有する他大学の同系「学科」の入学志願者数や入学者数のデータを個別に調査し、それをもとに考察した。

2019（令和元）年における臨床工学技士養成課程を有する大学は40大学（42学科。公立1校を含む。）とみられるが、データ入手が可能であった34大学（36学科。公立1校を含む。）について2015～2019年度の一般入試の志願者数、受験者数、合格者数を調査したところ、大学、年度でばらつきはあるものの、全体の平均としては、志願倍率は7倍前後で推移している。また、本学が立地する大阪府を含む近畿地域には、同系学部学科は5大学（私立大学のみ）あるが、うち4大学の平均値をみると、志願倍率はおおむね全国平均値と同程度の水準で推移している。（別紙5）

入学者数に関しては、臨床工学技士の養成課程という枠内では全体として整合的なデータ入手が困難な面があったため、本学部の設置予定地近隣の近畿地域大学について、それぞれのホームページで個別に調査した。データ入手可能であった範囲で次表のとおりである。

大学名	学部・学科	入学定員	入学者数
藍野大学 (大阪府)	医療保健学部 臨床工学科	40名	2019年度 46名 2018年度 38名 2017年度 46名
森ノ宮医療大学 (大阪府)	保健医療学部 臨床工学科 (2018年度開設)	60名	2019年度 71名 2018年度 70名
近畿大学 (和歌山県)	生物理工学部 医用工学科	50名	2019年度 52名
姫路獨協大学 (兵庫県)	医療保健学部 臨床工学科	40名	2019年度 30名

以上のように、2019年度には1校で入学定員を満たしていないものの、他校はほぼ入学定員を満たす入学者数を順調に確保できていることが伺える。

こうしたことから、臨床工学技士養成課程に係る大学志願者数等は安定的に推移しており、学生確保の見通しは良好であると考えられる。

なお、こうした学生確保の動向に影響を及ぼす要因は様々なことが考えられるが、一つには国家試験の合格実績（在学生数に対する合格者数や合格率など）の影響があるものと考えられる。

国家試験の対策という観点でみた場合、本学部自体は新設ではあるものの、学校法人大阪滋慶学園（以下「本法人」という。）の既設専門学校（大阪ハイテクノロジー専門学校。以下「既設専門学校」という。）において制度創設時から長年にわたり国家試験に取り組んできた蓄積があり、過去の国家試験の合格率も平均を大きく超えている（過去10年の平均合格率：全国78%、既設専門学校90%）。臨床工学技士の国家試験合格という点だけをみれば、大学でも専門学校でも試験内容や対策は同じであり、学校法人全体において組織的に培ってきた臨床工学技士を含む医療系資格全般にわたる国家試験対策、例えば課外講座の実施、過去問の分析や活用、模擬試験の実施などについては大学でも大いに

生かすことができるものである。このため、国家試験への対策・取組という点が、本学部の学生確保にマイナスの影響を及ぼすことはないと考えている。

(iii) 高校生に対する進学需要に関するアンケート調査結果による考察

① 現設置計画に係るアンケート調査結果について

学部設置計画に関し、主な学生募集の対象となる高校生（2年生）に対して、本学への受験・入学の意向に関する「受容性調査（高校2年生対象のアンケート調査）」を実施した。（詳細は次項に記述）

大阪府への大学進学が多い近畿圏及びその近隣県の高校を中心とする145校を対象に実施したところ、学部開設時の受験年次となる高校2年生の回答として、次の結果が得られた。

- ◆「本学科の受験を希望するか」との主旨の設問に対し回答のあった7,477件のうち、「受験を希望する」が214名（7,477件の2.9%）
- ◆「本学部学科に合格した場合、進学を希望するか」との主旨の設問に対しては、「進学を希望する」が113名（7,477件の1.5%）、「進学先の一つとして考える」が73名（7,477件の1.0%）

また、同アンケート調査では、「進学先決定の際に重視する条件」について「教育面」と「環境・支援面」で聞いており（それぞれ2つまで選択）、「環境・支援面」では「交通の便」（3,377件、45.1%）が最も高い回答であった（次点は「キャンパスが充実している」で2,969件、39.6%）。

本学は、近畿地域の交通の要衝である新大阪駅の眼前に立地しており、交通の便は極めて至便であることから、このアンケートから伺える受験生の意向は本学の学生確保にとって良い指標を示すものと考えられる。

② 前年度におけるアンケート調査結果について

本学部設置計画の検討に当たり、当初令和2年3月の設置を想定していたことから、平成31年1～2月にも、令和2年3月卒業予定（当時）の高校生に対するアンケートを実施している。これは現設置計画に係る学部の入学対象とはならない学年のアンケート結果ではあるが、おおむね現設置計画と同様の内容の設置計画を前提としている。

その結果等は次のとおりであり、2年続けて入学定員数を大きく上回る入学希望者数が出ている。これらは、異なる業者によって行われたものであり、異なる条件下においてもこのような結果が出たことから、安定的な学生確保という点で一つの補助的な根拠であると考えられる。

<平成31年1～2月実施：高校生に対するアンケート調査結果の概要>

当時の設置計画（滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科）に関し、主な学生募集の対象となる高校生（2年生：当時）に対して、本学への受験・入学の意向に関するアンケ

ート調査を第三者機関（株式会社さんぽう）に委託し、2019年1月から2月にかけて実施した。

大阪府への大学進学が多い近畿圏及びその近隣県の高校を中心とする109校を対象に実施したところ、学部開設時の受験年次となる高校2年生の回答として、次の結果が得られた。

- ◆「本学科の受験を希望するか」との主旨の設問に対し、「受験を希望する」が161名（有効回答8,057件の2.0%）
- ◆「本学部学科に合格した場合、進学を希望するか」との主旨の設問に対し、「進学を希望する」が102名、「進学先の一つとして考える」が44名

(iv) 既設専門学校との関係等

設置の趣旨等を記載した書類（第1-4-(2)「既設の専門学校との違い等」）において記述したように、人材養成の目的についてみると、専門学校では「臨床工学技士としての専門的・実践的な能力の修得を目指した人材養成」を目的とし、本学部では「臨床工学技士としての専門的・実践的な能力に加え、研究に関する能力や変化対応力等の基盤を兼ね備えた人材の養成」を目的としているということができ、この人材養成の目的の違いを踏まえて、本学部と専門学校では、教育課程や教員組織において大きな相違が存する。

① 新たに本学で学部を設置して臨床工学技士の養成を行う理由

臨床工学技士に求められる能力については、まず臨床工学の専門分野の能力や、社会人としての一般的な素養、医療従事者としての態度・志向性等は不可欠のものである。また、特に現場等における様々な状況における課題解決の能力や、専門分野の知識や技術の向上を恒常的に図っていくための力（生涯学習力）も必要と考えられる。この課題解決力や生涯学習力の修得には研究能力の基礎を有していることが有用であると考えられる。

加えて、今後は特に、従事する現場の多様化、IT、データサイエンスの利用増大、医工連携の推進等における役割への期待など、様々な変化に対応していく「変化対応力」を身に付けた臨床工学技士の養成がより重要になってくると考えられる。

こうした変化対応力までも有する人材の養成のためには、専門分野の教育だけではなく、例えば専門分野の関連分野への理解から専門分野への考察・応用などの力を伸長するような教育などを進めていくことが重要と考えられる。

以上のような人材養成、教育を行っていくためには、教育課程や教員組織のあり方を含め、専門学校の枠組みでは難しいことから、大学の学部において人材養成を行うことが必要である。

② 専門学校における人材養成が今後も必要である理由

専門学校の臨床工学技士科は、臨床工学技士制度の創設と同時に開設し、これまで多くの優位な人材を輩出し、臨床工学技士の分野で大きな役割を果たしてきており、その自負

を持って教育の質の向上にもこれまで鋭意取り組んできている。志願者の確保と就職先確保については、今後とも十分な実績が見込まれるところである。

また、臨床工学技士の養成に関しては、大学における学科等の新設が増加傾向にある一方、専門学校は減少傾向にあるが、現状においては、学校数（大学 40 校（公立 1 校を含む）、専門学校 34 校）、国家試験合格者数（2018（平成 30）年度、大学 1,197 名、専門学校 950 名）ともに同程度となっている。このように専門学校における専門的・実践的な能力の修得に重点を置いた臨床工学技士の養成に対するニーズは現状でも高く、臨床工学技士養成の量的な必要性からみても、大学及び専門学校の双方による臨床工学技士の養成は引き続き必要と考えられる。

さらに、修業年限が 1 年短いこと、このために学費総額が少ないことは大学に比べた場合の専門学校の大きなメリットであり、学士取得ということや幅広い教育が受けられるなどといった点よりも、できる限り少ない時間的・経済的負担で臨床工学技士の資格取得を目指すことができるということは、学生及び保護者にとって重要な選択肢の一つであり、専門学校に対するニーズは引き続き大きい。

以上のとおり、大学と専門学校におけるディプロマ・ポリシーの違いにみられる人材養成の違いや教育の違い、進学希望者が大学と専門学校に求めるニーズの違い等を踏まえ、学部新設と並行して、専門学校における臨床工学技士の養成を引き続き継続して行うこととしているものである。

当法人としては、本学部と既設専門学校における人材養成の目的や教育内容等の違いを踏まえ、学生のニーズや将来的志向を踏まえた学校選択に資するよう、これらの適切な説明等に努めるとともに、両校の特色や強みを生かして学生確保の面でも相乗的に効果が発揮されるよう取組に尽力していく。

（v） 入学定員の設定

以上のことを踏まえるとともに、本学の臨床工学技士養成に係る実習室の状況や設備・器具等の整備数などを含めて総合的に勘案し、医療科学部（臨床工学科）の入学定員は、80 人に設定したところであり、この定員数を満たす学生の確保は十分に可能であると考えられる。

（2） 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

① 各種データ

ア) で言及したデータ等の資料はそれぞれ次のとおりであり、別紙に添付する。

別紙 1：18 歳人口予測（全国、近畿各県）

別紙 2：大学進学者の地元残留率等（大阪府）

別紙 3：大学進学時の都道府県別流入・流出者数

別紙 4：大学の学校数、志願倍率、入学定員充足率の推移（全国、大阪）

別紙 5：臨床工学技士を養成する大学の志願状況（一般入試のみ）

② 高校生に対する「進学需要に関するアンケート調査」の概要

学校法人大阪滋慶学園では、設定した定員数を満たす学生確保の見通しを明らかにするため、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（以下「当学科」という。）の設置計画に関し、第三者機関（株式会社日本ドリコム）に委託して、「滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）受容性調査」を、2019（令和元）年11月から2020（令和2）年1月にかけて実施した。なお、同調査では人材需要に関するアンケート調査も同時に実施している。

調査結果の概要、調査の概要は次表及び次々表のとおりである。調査票様式及び調査に際し添付した設置構想資料は、それぞれ別添資料11、別添資料12のとおりである。また、調査結果の報告書は別添資料13のとおりである。

また、P3～4にかけて記述した「前年度におけるアンケート調査」の結果概要及び調査概要は、それぞれP9～10の表のとおりである。

【調査結果の概要】 (主な項目のみ抽出)

		人数(人)	割合
希望進路	回答総数	8,775	100.0%
	大学進学	6,012	68.5%
	短期大学進学	267	3.0%
	専門学校進学	1,283	14.6%
	就職その他	1,213	13.8%
進学先決定の際、「教育面」で重視する条件 (2つまで選択)	回答総数	7,508	100.0%
	学びたい分野の学部・学科がある	3,908	52.1%
	目指す資格や免許が取得できる	3,810	50.7%
	自分の興味にあわせて幅広く学べる	2,245	29.9%
	自分の学力に合っている	1,316	17.5%
	専門分野について深く学べる	1,219	16.2%
	実践力と理論が共に身につく	833	11.1%
	資格試験の合格率が高い	785	10.5%
	教授陣が充実している	225	3.0%
	その他	91	1.2%
進学先決定の際、「環境・支援面」で重視する条件 (2つまで選択)	回答総数	7,496	100.0%
	交通の便が良い	3,377	45.1%
	キャンパスが充実している	2,969	39.6%
	就職支援が充実し、就職率が高い	2,186	29.2%
	在校生の雰囲気が自分にあっている	1,628	21.7%
	学生への指導が親身で丁寧	1,583	21.1%
	学費が安い	1,565	20.9%
	奨学金制度が充実している	612	8.2%
	歴史・伝統があり、知名度が高い	491	6.6%
	その他	94	1.3%
本学科への受験希望	回答総数	7,477	100.0%
	受験を希望する	214	2.9%
	受験を希望しない	4,860	65.0%
	わからない	2,403	32.1%
本学科への進学希望	回答総数	204	100.0%
	進学を希望する	113	55.4%
	進学先の一つとして考える	73	35.8%
	進学を希望しない	10	4.9%
	わからない	8	3.9%

注:「割合」の欄は、すべて各設問項目の回答総数に対する割合である。

【調査の概要】

調査目的	学校法人大阪滋慶学園が2021年度に学部設置を構想中の「滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科(仮称)」に関して、高校生の進路、進学先の教育内容等に関する意向や学生確保の見込みを把握すること。																
調査対象	<p>対象学科の設置予定地が大阪府であることから、大阪府内への進学者が多い近畿圏を中心に、中四国地区を含めた高等学校に在籍する現高校2年生(2021年3月卒業予定者)を対象とした。</p> <p>① 高校への持参による依頼 上記地域729校にアンケート用紙を持参又は郵送し実施をお願いした。結果、95校から調査実施に協力いただいた。実施いただいた高校の県別内訳は次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>大阪府</td> <td>50校</td> <td>奈良県</td> <td>5校</td> </tr> <tr> <td>京都府</td> <td>5校</td> <td>和歌山県</td> <td>4校</td> </tr> <tr> <td>滋賀県</td> <td>1校</td> <td>その他の県</td> <td>17校</td> </tr> <tr> <td>兵庫県</td> <td>13校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>② 会場進学ガイダンス来場者への直接依頼 上記地域で実施された株式会社日本ドリコム主催の進学ガイダンスにおいて、相談ブースに来場した現高校2年生に対してアンケートへの回答をお願いした。結果、211名(高校数50校)にご協力いただいた。</p> <p>なお、これにより回答いただいた生徒の所属高校が、①の高校と重複しないよう留意している。</p>	大阪府	50校	奈良県	5校	京都府	5校	和歌山県	4校	滋賀県	1校	その他の県	17校	兵庫県	13校		
大阪府	50校	奈良県	5校														
京都府	5校	和歌山県	4校														
滋賀県	1校	その他の県	17校														
兵庫県	13校																
調査内容	<p>調査の設問については、基礎情報に関する項目から、進学への意向、および設置予定学科への入学意向を問う流れとし、設問の表現は、正確な需要を把握できるよう配慮した。設問数は全9問とした。</p> <p>設問1～2 回答者の基礎情報 設問3～6 進路希望分野、進学を希望する場合の重視点 設問7～9 設置予定学科に関する事項</p>																
調査時期	2019年11月～2020年1月にかけて実施した。																
調査方法	<p>調査方法は①を主としつつ、②を併せて行った。</p> <p>① 高校内における調査実施の依頼 アンケート実施に了承をいただいた高校に、アンケート調査用紙をお渡しし、HR等の時間等を利用していただき、教職員から調査対象者(現高校2年生)にアンケート用紙及び添付資料を配布、その場で回答、回収していただいた。</p> <p>② 会場進学ガイダンス来場者への直接依頼 会場進学ガイダンスの進学相談ブースに来場された現高校2年生に対して、アンケート回答を依頼し、了承を得た生徒に対してアンケート及び添付資料を渡して、その場で回答いただき、回収した。</p> <p>いずれの場合も、調査実施に際して、新設学科に関する設置計画の内容を理解していただくため、リーフレットを添付した。</p>																
回収状況	<p>総回収数 8,793件 うち有効回答数 8,775件</p>																
調査委託先	<p>調査の客観性を担保する観点から、本調査は第三者機関に委託して実施した。 委託先は、株式会社日本ドリコム(本社:東京都豊島区)である。</p>																

【調査結果の概要】 (前年度における高校生アンケート調査分)

(主な項目のみ抽出)

		人数(人)	割合
有効回答数		8,057	100.0%
性別	男性	4,028	50.0%
	女性	4,010	49.8%
希望進路	大学進学	4,029	50.0%
	短期大学進学	434	5.4%
	専門学校進学	1,737	21.6%
	就職その他	1,830	22.7%
本学科への 受験希望	受験を希望する	161	2.0%
	受験を希望しない	4,315	53.6%
	わからない	1,504	18.7%
本学科への 進学希望	進学を希望する	102	1.3%
	進学先の一つとして考える	44	0.5%
	進学を希望しない	1	0.0%
	わからない	9	0.1%

注:「割合」の欄は、すべて有効回答数(8,057人)に対する割合である。

【調査の概要】（前年度における高校生アンケート調査結果分）

調査目的	学校法人大阪滋慶学園が2020年度に学部設置を構想中の「滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科(仮称)」に関して、高校生の進路、進学先の教育内容等に関する意向や学生確保の見込みを把握すること。																
調査対象	<p>対象学科の設置予定地が大阪府であることから、大阪府内への進学者が多い近畿圏を中心に、中四国地区を含めた高等学校、高等専修学校に在籍する現高校2年生(2020年3月卒業予定者)を対象とした。</p> <p>① 高校への持参による依頼 上記地域347校にアンケート用紙を持参し実施をお願いした。結果、105校から調査実施に協力いただいた。実施いただいた高校の県別内訳は次のとおりである。</p> <table border="0"> <tr> <td>滋賀県</td> <td>10校</td> <td>奈良県</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>京都府</td> <td>6校</td> <td>和歌山県</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>大阪府</td> <td>41校</td> <td>その他の県</td> <td>22校</td> </tr> <tr> <td>兵庫県</td> <td>25校</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>② 会場進学ガイダンス来場者への直接依頼 上記地域で実施された株式会社さんぼう主催の進学ガイダンスにおいて、相談ブースに来場した現高校2年生に対してアンケートへの回答をお願いした。結果、17名(高校数4校)にご協力いただいた。</p> <p>なお、これにより回答いただいた生徒の所属高校が、①の高校と重複しないよう留意している。</p>	滋賀県	10校	奈良県	2校	京都府	6校	和歌山県	1校	大阪府	41校	その他の県	22校	兵庫県	25校		
滋賀県	10校	奈良県	2校														
京都府	6校	和歌山県	1校														
大阪府	41校	その他の県	22校														
兵庫県	25校																
調査内容	<p>調査の設問については、基礎情報に関する項目から、進学への意向、および設置予定学科への入学意向を問う流れとし、設問の表現は、正確な需要を把握できるよう配慮した。設問数は全10問とした。</p> <p>設問1～3 回答者の基礎情報 設問4～7 進路希望分野、進学を希望する場合の重視点 設問8～10 設置予定学科に関する事項</p>																
調査時期	2019年1月7日～2月15日にかけて実施した。																
調査方法	<p>調査方法は①を主としつつ、②を併せて行った。</p> <p>① 高校への持参による依頼 アンケート実施に了承をいただいた高校に、アンケート調査用紙をお渡しし、HR等の時間等を利用していただき、教職員から調査対象者(現高校2年生)にアンケート用紙及び添付資料を配布、その場で回答、回収していただいた。</p> <p>② 会場進学ガイダンス来場者への直接依頼 会場進学ガイダンスの進学相談ブースに来場された現高校2年生に対して、アンケート回答を依頼し、了承を得た生徒に対してアンケート及び添付資料を渡して、その場で回答いただき、回収した。</p> <p>いずれの場合も、調査実施に際して、新設学科に関する設置計画の内容を理解していただくため、リーフレットを添付した。</p>																
回収状況	<p>有効回答数 8,057件</p> <p>【内訳】</p> <p>①高校実施分 有効回答数 8,040件(高校数105校)</p> <p>②ガイダンス会場実施分 有効回答数 17件(高校数4校)</p>																
調査委託先	調査の客観性を担保する観点から、本調査は第三者機関に委託して実施した。委託先は、株式会社さんぼう(本社:東京都渋谷区)である。																

(3) 学生納付金の設定の考え方

医療科学部臨床工学科の学生納付金については、教育研究の質を確保し、大学としての健全な経営を可能にすることを基本としつつ、近隣大学の臨床工学技士養成課程に係る学部学科における水準を踏まえ、それら近隣競合校との競争力を担保するため、その中でも低い水準となるよう設定した（次表参照）。具体的には、入学金 20 万円、授業料等 140 万円（内訳：授業料 120 万円、施設充実費 10 万円、教育充実費 10 万円）とした。

府県	大学	学部	学科	入学金 (千円)	授業料等(千円)				4年間計
					1年次	2年次	3年次	4年次	
大阪	滋慶医療科学大学(仮称)	医療科学部(仮称)	臨床工学科(仮称)	200	1,400	1,400	1,400	1,400	5,800
大阪	藍野大学	医療保健学部	臨床工学科	250	1,600	1,700	1,700	1,700	6,950
大阪	大阪電気通信大学	医療健康科学部	医療科学科	200	1,332	1,532	1,532	1,532	6,128
大阪	森ノ宮医療大学	保健医療学部	臨床工学科	250	1,550	1,640	1,640	1,640	6,720
和歌山	近畿大学	生物理工学部	医用工学科	250	1,442	1,472	1,502	1,532	6,198
兵庫	姫路獨協大学	医療保健学部	臨床工学科	300	1,500	1,520	1,520	1,520	6,360

注) 1. 上記表には諸会費・委託徴収金(各種保険料や自治会費、後援会費、同窓会費等)は含まない。

2. 「授業料等」には、授業料、教育充実費、施設維持費などが含まれる。

3. 他大学の学費は、2020年1月時点において、各大学のホームページで確認できた金額である。

4. 大阪電気通信大学は、2020年4月から学部・学科名称が変更予定である。表中の名称は、変更後のものである。

2 学生確保に向けた具体的な取組状況

今回の計画は、既設の「大学院大学」に新たに学部を設置するものであり、学部としての広報活動等は初めての試みとなる。今後、設置主体である学校法人大阪滋慶学園が設置する専門学校におけるこれまでの広報活動等の資源やノウハウ等を活用しながら、かつ大学としての教育・研究の推進が学生確保にもつながっていくということを留意しながら、学生確保のための活動に努めていく。その際、当然ながら認可を得ることができるまでは、本計画は構想中（申請後においては「設置認可申請中」）のものであること、名称を含む計画内容はあくまでも予定であり変更される場合があることを明瞭に示していく。

また、「臨床工学技士の養成」ということだけでなく、本学の教育の特色を分かりやすく伝えるとともに、新大阪駅の眼前の立地という交通上の大きな利点を適切に活用しながら広報活動等を進めていく。

(1) 推進体制

開学後においては、事務局として事務局長の下に入試・広報担当の職員複数名体制を整備し、また、教学組織として教授会の下に「入試・広報委員会」を置き、事務局を中心に全学で学生確保活動に取り組んでいく体制を構築する。

設置認可申請前の時点においては、専従の学部設置申請に係る事務体制の中に広報専任の担当者を置き、専門学校を含む他部署の協力等を得ながら、高校訪問や病院・企業訪問などの取組を徐々に行っているところである。

(2) 具体的な取組内容

① 高校訪問

既に大阪府下をはじめ近畿2府4県の高校を中心に訪問活動を開始しており、設置構想の概要の説明を行っている(2020年2月末現在の訪問高校数89校、延べ116回)。認可申請後、さらに設置認可後と、体制拡充を図りつつさらに高校訪問に尽力することとし、近畿2府4県を中心に高校訪問を精力的に行う。その際、特に重点的に訪問活動等を行う高校を選定するなどメリハリのある活動を進めていく。また、本法人組織においては大阪府立学校での校長経験者を顧問として配置しており、大阪府内の高校との円滑な連絡等ができる体制を構築している。

近畿圏外など訪問が難しい高校には、構想中の大学案内パンフレットを郵送してPR活動を行う。

開学後においては、教員を含めた全学体制での高校訪問活動を行うこととし、年間延べ600回を目途として訪問活動を行う計画である。

② オープンキャンパス等

2020(令和2)年7月からオープンキャンパス開催を予定しており、同年の夏季休暇中に精力的に行うとともに、認可後においては、オープンキャンパスに加え、高校生とその保護者のみならず、高校教員を対象とした本学独自の入試説明会を含めてさらに実施していく。

③ 学外進学相談会

今後、認可申請後において、進学媒体業者が主催する進学相談会について、近畿2府4県で開催されるものを中心に参画する。加えて、資料請求者や高校からの問い合わせが多いエリアにも積極的に参画し、受験予定者の確保に努める。

④ ホームページ

2019(令和元)年のうちから本件設置構想の内容を紹介するホームページを開設し情報発信を行っている。認可申請を行った後は、申請内容を踏まえたより詳しい情報を提供する予定にしている。その他、今後は、進学媒体業者のWebサイトへの参画や、SNS、メールマガジン等を活用し、情報発信を図っていく。

⑤ パンフレット等の作成・配布

既に「設置構想中」と明記したリーフレットを作成し、高校生へのアンケート実施の際や、資料請求者への配布、高校訪問での利用に供している。認可申請後には「認可申請中」と明記した大学案内リーフレットを新たに作成する予定であり、高校訪問、進学相談会、資料請求者への送付等に利用する。設置認可を得られた場合は、速やかに詳しい内容の大学案内パンフレット及び募集要項を作成する。

⑥ 進学情報関係媒体

進学媒体業者の進学情報誌や関連する進学サイトに出稿し、受験生確保に向けた PR 活動を実施する。認可申請後は、認可申請中であることを明記して各社進学情報誌に掲載する予定にしている。なお、進学情報誌の掲載エリアについては、近畿及び西日本エリアとしているが、インターネット媒体の併用や LINE 動画を活用したチャットボットなどのコミュニケーションツールを活用することで、これら以外の地域にもリレーション活動を展開していく。

⑦ 専門学校との連携

本法人の既設専門学校が開催するオープンキャンパスや高校訪問活動において大学の紹介やリーフレット配布を行い、ホームページに大学ホームページのリンクバナーを設置するなど情報発信の協力・連携体制を構築して広報活動に当たっていく。

(3) 取組の効果

以上の取組により、まず本学部・学科の知名度等の向上を図り、資料請求などに繋げる。

現時点では広報活動がまだ多くはない状況ではあるが、その中でも開設時に入学する最初の受験対象層である現高校2年生からは既に616件の資料請求(2020年2月末現在)が来ているところである。

今後は、認可申請後、認可後と、段階を経て広報活動を拡充していくことにより、資料請求数やイベント参加数の増大、ひいては目標とする志願者数・入学者数の確保が達成できると考えており、そのために既述の諸般の取組を着実に精力的に取り組んでいく。

第2 人材需要の動向等社会の要請

1 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

臨床工学技士については、量的な確保のための人材養成がまず求められているが、その能力については、専門的な能力はもとより、課題解決力や生涯学習力、さらに様々な変化に対応していく変化対応力の養成が重要になってきている。

こうした状況を踏まえ、本学（医療科学部臨床工学科）が養成を目指す人材像は、次のとおりである。

- 1) 社会に貢献する意欲を有するとともに、いのちの尊厳の理解を基盤とした豊かな人間性、倫理感、責任感を備えている人材
- 2) 基礎的能力の土台の上に医療専門職として必要な知識・技能を身に付け、主体性・自律性を持ちつつ保健医療福祉チームの一員として適切な連携・協働の下で専門能力を発揮することができる人材
- 3) 幅広い教養や専門分野に止まらない知的探究心を有し、継続的に新しい知識と技能を修得するための学びの意欲を醸成しているとともに、直面する様々な変化への対応力を備える人材

本学では、このような人材養成を教育上の目的とし、その際、医工連携を含め臨床工学技士が活躍するフィールドが増大していくことを踏まえ、企業実習を含む医工連携分野、データサイエンス分野などの教育に積極的に取り組んでいくこととしている。

2 上記1が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(1) 社会的背景

医学の発展に伴い、生命維持管理装置（血液浄化装置、人工心肺装置、人工呼吸器など）を含む医療機器は急速な進歩を遂げ、その技術はますます複雑・高度になってきている。

これらの医療機器に係る技術は臨床医学・工学双方の専門的な知識等に基づく技術を必要とするもので、臨床工学技士はこれらの生命維持管理装置やその周辺の医療機器に関する操作・運用や安全管理などの役割を担うエキスパートである。

臨床工学技士は、1988（昭和63）年の臨床工学技士法施行以来、医療機器の発展などに伴い、役割の拡大などが図られてきており、2005（平成17）年の「高度先進医療における施設基準」、2007（平成19）年の改正医療法施行、同年の厚生労働省通知「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」、2010（平成22）年の「臨床工学技士基本業務指針2010」（公益社団法人日本臨床工学技士会）、2011（平成23）年のチーム医療推進会議「チーム医療推進のための基本的考え方と実践的事例集（平成23年5月付医療推進方策検討ワーキンググループ）」などにおいて、臨床工学技士の業務の拡充や、役割・位置付けの増大などが措置・言及されてきている。診療報酬上も、2008（平成20）年に常勤の臨床工学技士配置に対する評価としての加算が新設されて以来、各改訂において臨床工学技士の位置付けが増大してきている。

また、かつては最新の医療機器の適正かつ安全な使用のために医療機器事業者が医療現場

に立ち入って情報提供を行う、いわゆる「立会い」が行われていたが、公正な取引の確保及び適正な医療の提供の観点から問題となる事例がみられたことから、「医療機関等における医療機器の立会いに関する基準」が制定され、2008（平成20）年から医療機器事業者による情報提供が制限されることとなった。このことは、臨床工学技士の不足状況やその役割の重要性を示すものであった。

以上のように、医療分野の発展・進歩に伴い、臨床現場における臨床工学技士の役割は拡大してきている。

また、少子高齢化の進展や総人口の減少、あるいは「第4次産業革命」への対応など社会・経済全般にわたる今後の大きな情勢変化の中で、医療分野でも様々な情勢変化、制度改正などが続々と生じており、今後も変化を重ねていくことが予想される。こうした様々な変化は、在宅医療、地域包括ケアの推進が求められるようになり、あるいは医療機器分野の発展や様々な変化などをもたらすことにつながるものであり、臨床工学技士としても、様々な変化に対応していくことが求められる。

医療機器産業に関しては、我が国の市場規模が継続的に増大しており、世界的にはさらに高い市場規模の伸びが見込まれる中で、大幅な輸入超過が継続している状況にある。

医療機器産業界が抱える課題としては、「治療系医療機器の開発力」「診断系医療機器における競争の激化」「技術新興国で生産された医療機器との競争」「技術革新と新しいビジネスモデルへの対応」などが指摘されており、今後の対策として、医工連携や医療機器創出のための人材育成なども言及されている。2015（平成27）年4月のAMED（国立研究開発法人 日本医療研究開発機構）の創設、旧薬事法の改正によるデバイスラグの解消など、新しい医療機器の創出が国策として進められ、医工連携や産学連携が多く地域や機関で進められている。こうした医工連携等においては医学と理工学の双方の知識・技術を有する臨床工学技士の役割が重要とされているところである。

（2）臨床工学技士に係る社会的ニーズ等の動向

① 臨床工学技士に関する数的動向等

本学部は臨床工学技士の養成を主な目的とするが、厚生労働省の病院報告によれば、病院（一般病院）で勤務する臨床工学技士の総数は経年的に増加してきているところである。また、100床当たりの従事者数も同様である。

しかしながら、100床当たりの従事者数について言えば、創設時期が新しい資格とはいえ、他のコメディカルの職種に比べて必ずしも多いとは言えない。（別紙6）

	2002年	2008年	2014年	2016年
総数	7,440人	11,925人	17,915人	20,370人
100床当たり	0.5人	0.9人	1.4人	1.6人

臨床工学技士	理学療法士	言語聴覚士	診療放射線技師	臨床検査技師
1.6人	5.6人	1.2人	3.3人	4.1人

本学部が立地を計画する大阪府についてみると、病院に従事する臨床工学技士の総数及び100床当たり人数はともに増加してきているが、100床当たりの従事者数は全国に比べて若干少ない人数となっている（別紙7）。これは近畿地区の他県に比べても少ないほうである（京都2.1人、滋賀1.9人、兵庫・奈良1.6人、和歌山1.1人）。

これらのことから、臨床工学技士は増加傾向にある一方で、大阪府については他府県に比べてまだまだ増加の余地は大きいと考えられる。

表 病院（一般病院）で従事する臨床工学技士数の推移（大阪府）（厚生労働省「医療施設調査・病院報告」）

	2002年	2008年	2014年	2016年
総数	464人	766人	1,203人	1,403人
100床当たり	0.5人	0.8人	1.3人	1.5人

表 100床当たりの職種ごと病院従事者数（大阪府・2016年）（厚生労働省「医療施設調査・病院報告」）

臨床工学技士	理学療法士	言語聴覚士	診療放射線技師	臨床検査技師
1.5人	6.0人	1.1人	3.6人	4.1人

② 臨床工学技士の業務や役割の増大

臨床工学技士は、生命維持管理装置の操作、保守管理を中心とした医療機器の取扱いが主業務である。医療機器の増大やその高度化等を背景として、臨床工学技士の業務や役割が増大しているといえることができる。

みずほ銀行「みずほ産業調査－日本産業の中期見通し」（2018年）によれば、医療機器の国内需要の見通しは、2018年から2023年にかけて年率2.5%増の予想となっている（表①）。医療機器のうち特に臨床工学技士が関わる部分が多い治療機器については、2018年から2023年にかけて年率4.3%増というかなり高い増加予想となっている（表②）。こうした医療機器の市場規模がそのまま臨床工学技士数の動向に直結するものではないであろうが、医療の現場における臨床工学技士のニーズを推測する一つの指標となりうると考えられる。

表① 医療機器の需給動向と見通し

	指標	2017年 (実績)	2018年 (見込)	2019年 (予想)	2023年 (予想)	CAGR 2018-2023
国内需要	億円	29,950	31,009	31,697	35,026	-
	前年比増減率(%)	+3.7%	+3.5%	+2.2%	-	+2.5%
輸出	億円	5,941	5,991	6,077	6,382	-
	前年比増減率(%)	+1.7%	+0.8%	+1.4%	-	+1.3%
輸入	億円	16,360	17,194	17,988	21,622	-
	前年比増減率(%)	+5.1%	+5.1%	+4.6%	-	+4.7%
国内生産	億円	19,531	19,805	19,786	19,786	-
	前年比増減率(%)	+2.0%	+1.4%	▲0.1%	-	▲0.0%
グローバル需要	百万ドル	358,794	378,014	398,370	489,256	-
	前年比増減率(%)	+5.5%	+5.4%	+5.4%	-	+5.3%

(出所) 厚生労働省「薬事工業生産動態統計」、Fitch Solutions, *Worldwide Medical Devices Market Forecasts* ~ December2017 よりみずほ銀行産業調査部作成
(注1) 国内需要(国内生産－輸出＋輸入)、輸出、輸入、国内生産の2017年の数値は月報値の合計、2018年以降の数値はみずほ銀行産業調査部による予測
(注2) グローバル需要は検体検査機器を含まない

出典：みずほ銀行産業調査部「みずほ産業調査－日本産業の中期見通し」（2018年）

表② 医療機器の国内需要の内訳

(億円)	指標	2017年 (実績)	2018年 (見込)	2019年 (予想)	2023年 (予想)	CAGR 2018-2023
国内需要	治療機器	17,556	18,697	19,277	23,077	-
	前年比増減率(%)	+5.5%	+6.5%	+3.1%	-	+4.3%
	診断機器	5,697	5,783	5,938	5,485	-
	前年比増減率(%)	▲4.4%	+1.5%	+2.7%	-	▲1.1%
	その他	6,696	6,529	6,482	6,464	-
	前年比増減率(%)	+6.8%	▲2.5%	▲0.7%	-	▲0.2%
	合計	29,950	31,009	31,697	35,026	-
	前年比増減率(%)	+3.7%	+3.5%	+2.2%	-	+2.5%

(出所)厚生労働省「薬事工業生産動態統計」よりみずほ銀行産業調査部作成
(注1)国内需要=生産+輸入-輸出
(注2)2017年は月報の合計値、2018年以降はみずほ銀行産業調査部による予測値

出典：みずほ銀行産業調査部「みずほ産業調査－日本産業の中期見通し」（2018年）

また、次のような調査結果からも、臨床工学技士の量的な拡大が求められている状況がうかがえる。

「平成24年度日本外科学会会員の労働環境に関するアンケート調査」（日本外科学会）では、外科医として希望する待遇改善措置として、「給与上昇」（60.6%）に続き「メディカルスタッフ（看護師、臨床工学技士等）の充実と医師雑務の軽減」（52.4%）が挙げられている。（別紙8）

「看護業務の役割分担に関する実態調査」（2015年、日本病院会）では、看護師が担っている役割に関して、内視鏡室における役割については、「現状」は看護師が担っている割合が高いが、「今後」は臨床工学技士にその役割を移譲したいとする割合が高くなっている。手術室における役割分担にも同様の傾向がみられる。また、透析室における役割や、病棟における役割のうち「診療機器・器具の点検・管理」については、「現状」も臨床工学技士が役割を担う割合が比較的に高いが、「今後」はさらに高くなっている。（別紙9）

また、2024年4月からの医師に対する時間外労働の上限規制の適用に向けて、医師の働き方改革が進められており、その中で徹底的な取組の必要があるとされた項目の一つに、医療従事者の合意形成のもとでの業務の移管や共同化（タスク・シフティング、タスク・シェアリング）が掲げられ、これらの取組の推進が急務とされている。これについては、厚生労働省の検討会において現在も検討が進められているが、その中で臨床工学技士へのタスク・シフトについても大きく重要視されているところである。例えば、四病院団体協議会が厚生労働省医政局長へ提出した要望書（「医師のタスク・シフティング／シェアリングについて」別紙10）では、具体的なタスク・シフト等を要望する業務として、特に7職種（薬剤師、看護師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、医師事務作業補助者、救急救命士）を対象として列挙している。臨床工学技士に関しては、次のとおり手術や処置における具体的な業務が挙げられている。

- ・全身麻酔装置に伴う麻酔作動薬や循環作動薬等の、輸液ポンプを用いた静脈ライン確保と静脈ラインからの薬剤投与、硬性鏡の保持および術野確保のための操作

- ・内視鏡（軟性鏡）検査・治療時、心臓・血管カテーテル検査・治療時の医療機器操作の補助
- ・血液浄化施行時、動脈表在化を含むバスキュラーアクセスへの穿刺、カニューレ留置および不要カニューレの抜去、等

このタスク・シフトの動きはまだ検討段階ではあるが、このような点からも将来的な臨床工学技士の業務・役割の増大が想定されるところである。

以上のような動向等を踏まえれば、今後に向けた長期的な観点からみて、臨床工学技士に対する社会的ニーズは増大していくものと考えられる。

臨床工学技士のニーズ増大は学生確保にとってもプラスの要因になるものであり、かつ、ニーズの増大に伴い臨床工学技士の知名度が高まれば、より一層学生確保に資するものと考えられる。

（３）人材需要に関するアンケート調査

臨床工学技士の人材需要に関する客観的なデータを確保するため、本学部を卒業した場合の主な進路と考えられる病院及び医療機器関連企業等に対して、「受容性調査（人材需要に関するアンケート調査）」を実施した。主な結果は次のとおりである。

アンケート依頼数 615 件（病院 465 件、医療機器関連企業等 150 件）に対し、147 件（医療施設 119 件、医療機器関連企業 25 件、その他 3 件）の回答があった。

個別の設問の回答をみると、まず「過去 3 ヶ年の平均的な臨床工学技士の採用数」を尋ねる設問では、1 名が 39 件、2 名が 40 件、3 名が 8 件、4 名が 10 件、5 名以上が 10 件、採用なしが 40 件との回答であった。回答のあった施設・企業の大半が毎年コンスタントに臨床工学技士を採用していることが伺える。

また、「本学で学んだ卒業生の採用についてどう考えるか」との主旨の設問に対し回答があったのは 139 件、そのうちの 89.9%を占める 125 件が「採用したいと思う」との回答であった。

採用意向を示した施設・企業に対する「毎年何名程度の採用を想定されますか」との設問に対し回答があったのは 123 件、このうち「1 名」との回答数が 22 件、「2 名」が 10 件、「3 名以上」が 2 件、「1 名以上だが人数は未定」が 10 件、「わからない」が 79 件であった。「3 名以上」との回答を 3 名、「1 名以上だが人数は未定」を 1 名とし、「わからない」を算入しないことと仮定した場合、これらの採用予定人数を積算合計すると 58 名であり、入学定員の 80 名には到達していないものの、回答していただいた施設・企業の数が多いことや、実際の卒業時期がかなり先であるため「わからない」との回答が多いものの、実際には過去 3 ヶ年において臨床工学技士がコンスタントに採用されていることなどを併せて勘案すれば、卒業生の進路先は十分に確保できるものと考えられる。

これらの結果からみて、本学養成人材に対する人材ニーズは十分にあり、卒業生の採用は継続して定員 80 名以上の数字が見込まれると考えうる。

調査結果の概要及び調査の概要は次表及び次々表のとおりである。調査票様式及び調査に際し添付した設置構想資料は、それぞれ別添資料 14、別添資料 15 のとおりである。また、調査結果の報告書（高校生に対する「進学需要に関するアンケート調査」と同じ調査に含まれる。）は別添資料 16 のとおりである。

【調査結果の概要】（主な項目のみ抽出）

		回答数(件)	割合
過去3か年の臨床工学技士の平均採用数	回答総数	147	100.0%
	採用なし	40	27.2%
	1名	39	26.5%
	2名	40	27.2%
	3名	8	5.4%
	4名	10	6.8%
	5名以上	10	6.8%
卒業生の採用意向	回答総数	139	100.0%
	採用したいと思う	125	89.9%
	採用したいと思わない	14	10.1%
卒業生の採用人数想定	回答総数	123	100.0%
	1名	22	13.3%
	2名	10	6.1%
	3名以上	2	1.2%
	1名以上だが人数は未定	10	6.1%
	わからない	79	47.9%

注:「割合」の欄は、各設問項目の回答総数に対する割合である。

【調査の概要】

調査目的	学校法人大阪滋慶学園が2021年度に学部設置を構想中の「滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科(仮称)」に関して、主な進路となる医療施設・医療機器関連企業における臨床工学技士のニーズや採用に関する意向を把握すること。
調査対象	対象学科の設置予定地が大阪府であることから、大阪府をはじめとする近畿圏及びその近隣県を中心に、計615か所の医療施設及び医療機器関連企業を対象とした。(うち医療施設465か所、医療機器関連企業150か所) なお、特に医療機器関連企業については、本社が東京などにある場合も多いため、送付先は必ずしも近畿圏やその近隣というわけではない。
調査内容	調査の設問については、基礎情報に関する項目から、人材需要全般に関する項目、および設置予定学科に関する事項を問う流れとし、設問の表現は、正確な人材需要を把握できるよう配慮した。設問数は全9問とした。 問1～3 施設等の基礎情報 問4～6 臨床工学技士の人材需要全般に関する質問 問7～9 設置予定学科に関する質問等
調査時期	2019年11月～2020年1月にかけて実施した。
調査方法	調査対象先の人事・採用担当者あてに、依頼状・アンケート調査用紙を送付した。ご協力いただける場合、回答済みのアンケート調査用紙をFAXでご返送いただいた。 なお、調査実施に際して、新設学科に関する設置計画の内容を理解していただくため、設置計画の概要を記載した書類を添付した。
回収状況	有効回答数 147件 (回収率23.9%) (うち医療施設119件、医療機器関連企業25件、その他3件) 依頼施設数 615施設 (うち医療施設465件、医療機器関連企業150件)
調査委託先	調査の客観性を担保する観点から、本調査は第三者機関に委託して実施した。委託先は、株式会社日本ドリコム(本社:東京都豊島区)である。

(4) 就職先確保に向けた取組

本学部の就職先確保に関する直接の根拠データとなるわけではないが、既設専門学校の卒業生の就職動向をみると、過去10年間平均で1年当たり、117人(昼間部3年制、夜間3年制、専攻科1年制の合計)の就職希望者数に対して443件の求人数があった(令和2年3月卒では、就職希望者数97名、求人数450件)。学部と専門学校での人材養成の違いや教育の違い、進路先が卒業生に求める人材ニーズの違いなどを十分に踏まえつつ、両校が連携して効果的な就職先確保に向けた取組を推進していくことが重要であると考えている。

また、医療施設等との関係を見ると、例えば、本学部の臨床実習病院として予定している49施設は大半が名だたる地域の基幹的と言える大病院であるが、このうち、25施設では既設専門学校の卒業生が実習指導者として指導に当たる予定となっている。このことから分かるように、臨床工学技士制度の創設以来、既設専門学校がこれまで取り組んできた人材養成に依拠した「多くの卒業生が基幹的な大病院を含む様々な医療施設等で活躍しているという実績」は本法人の非常に大きな財産であり、本学部卒業生の就職先確保の面でも大きなメリットであると考えている。

臨床工学技士の今後の人材ニーズは、2-(1)や(2)で上述したこと等を背景として、拡大していくことが見込まれる。人材需要に関するアンケート調査でも、採用人数は不明

とする施設が大半ではあったものの、「本学で学んだ卒業生の採用についてどう考えるか」との主旨の設問に対し89.9%が「採用したいと思う」との回答であり、極めて高い関心が寄せられていることが伺える。

本学としては、就職先確保のために、学生が社会的・職業的自立を図るために必要な能力を身に付けるために、教育課程内での対応はもとより、資格取得・就活対策等のための課外講座、就職フェア等の行事開催など教育課程外の取組にも尽力していくこと、こうした取組を学生・就職委員会を中心とする教学組織及び事務局が連携し全学一体となって進めていくことなど、まず基本的な人材養成の対応を適切に講じていく。

さらに、既設専門学校の「多くの卒業生が基幹的な大病院を含む様々な医療施設等で活躍しているという実績」を本学部としても有効に活用し、臨床実習をはじめ医療施設、さらには医療機器関連企業との連携を従来以上に密接に構築していくことなどにより、確実に学生の就職先を確保していく。

以 上

別紙資料目次

別紙1	18歳人口予測（全国、近畿各県）
別紙2	大学進学者の地元残留率等（大阪府）
別紙3	大学進学時の都道府県別流入・流出者数
別紙4	大学の学校数、志願倍率、入学定員充足率の推移（全国、大阪）
別紙5	臨床工学技士を養成する大学の志願状況（一般入試のみ）
別紙6	①病院（一般病院）における職種別従事者数（実数） ②病院（一般病院）における職種別従事者数（100床当たり）
別紙7	①病院（一般病院）における臨床工学技士の従事者数（全国、大阪） ②病院（一般病院）における職種別従事者数（100床当たり、大阪）
別紙8	外科医として希望する支援事項（アンケート調査）
別紙9	看護業務の役割分担に関する実態調査より（抜粋）
別紙10	四病院団体協議会 厚生労働省医政局長あて要望書 ～医師のタスク・シフティング／シェアリングについて～
別添資料11	受容性調査（高校2年生対象）に係るアンケート調査票
別添資料12	受容性調査（高校2年生対象）に添付したリーフレット
別添資料13	受容性調査結果報告書（高校2年生対象）
別添資料14	受容性調査（医療施設・企業対象）に係るアンケート調査票
別添資料15	受容性調査（医療施設・企業対象）に添付したリーフレット
別添資料16	受容性調査結果報告書（医療施設・企業対象）

別紙1 18歳人口予測(近畿各県、全国)

		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
近畿	人数	199,747	197,547	195,001	189,786	185,555	181,453	175,469	179,758	179,609	178,376	174,494	174,161	171,661
	割合	100.0	98.9	97.6	95.0	92.9	90.8	87.8	90.0	89.9	89.3	87.4	87.2	85.9
滋賀	人数	14,411	14,350	14,535	14,299	14,013	13,769	13,322	13,878	13,797	13,875	13,669	13,664	13,486
	割合	100.0	99.6	100.9	99.2	97.2	95.5	92.4	96.3	95.7	96.3	94.9	94.8	93.6
京都	人数	24,120	24,095	23,646	23,146	22,654	22,292	22,222	22,002	21,802	21,601	21,144	21,083	20,714
	割合	100.0	99.9	98.0	96.0	93.9	92.4	92.1	91.2	90.4	89.6	87.7	87.4	85.9
大阪	人数	83,780	83,004	81,797	79,457	77,445	75,810	72,723	74,656	74,713	74,111	72,708	72,562	71,415
	割合	100.0	99.1	97.6	94.8	92.4	90.5	86.8	89.1	89.2	88.5	86.8	86.6	85.2
兵庫	人数	53,848	53,233	52,305	51,267	49,982	49,030	47,243	49,243	49,327	49,254	47,898	48,166	47,397
	割合	100.0	98.9	97.1	95.2	92.8	91.1	87.7	91.4	91.6	91.5	89.0	89.4	88.0
奈良	人数	13,893	13,375	13,435	12,808	12,855	12,417	12,017	12,053	12,026	11,582	11,450	11,191	11,067
	割合	100.0	96.3	96.7	92.2	92.5	89.4	86.5	86.8	86.6	83.4	82.4	80.6	79.7
和歌山	人数	9,695	9,490	9,283	8,809	8,606	8,135	7,942	7,926	7,944	7,953	7,625	7,495	7,582
	割合	100.0	97.9	95.8	90.9	88.8	83.9	81.9	81.8	81.9	82.0	78.6	77.3	78.2
全国	人数	1,179,808	1,174,801	1,167,348	1,136,822	1,120,783	1,096,654	1,061,763	1,091,093	1,092,747	1,084,391	1,068,454	1,066,320	1,048,163
	割合	100.0	99.6	98.9	96.4	95.0	93.0	90.0	92.5	92.6	91.9	90.6	90.4	88.8

① 18歳人口概算は、文部科学省学校基本調査より、以下のとおり定義して算出した。

※全体：平成30年度（2018年）速報値、男女：平成29年度（2017年）確報値

- ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業生および中等教育学校前期課程修了者数
- ・ 中学校卒業生数 = 高校生 + フリーター + 就職者 すべて含む

② 表内の「年度」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。

③ 表内の「割合」とは、グラフ開始年度の値を100とおいた際の増減を示す。

出典先：リクルート進学総研 マーケットレポート2020年1月号「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向 近畿版」より

別紙2 大学進学者の地元残留率等(大阪府)

【大阪府】

年度		2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
卒業生数		67,689	67,072	67,901	69,770	68,709	72,621	71,537	73,971	74,542	75,967	75,146
進学者数	大学	33,169	33,812	34,918	35,936	35,406	37,004	37,040	39,169	40,561	40,882	40,461
	短期大学	5,439	5,238	5,187	5,040	5,040	4,799	4,640	4,657	4,385	4,368	4,139
	専門学校	8,862	8,385	8,964	9,925	10,294	10,852	10,770	11,155	10,953	11,413	10,978
進学率	大学	49.0	50.4	51.4	51.5	51.5	51.0	51.8	53.0	54.4	53.8	53.8
	短期大学	8.0	7.8	7.6	7.2	7.3	6.6	6.5	6.3	5.9	5.7	5.5
	専門学校	13.1	12.5	13.2	14.2	15.0	14.9	15.1	15.1	14.7	15.0	14.6
残留率	大学	54.3	54.2	55.1	54.6	54.6	55.2	54.8	55.5	56.3	57.1	56.4
	短期大学	75.1	74.0	73.3	75.9	75.3	76.1	75.1	74.9	74.6	76.1	74.7

資料：文部科学省「学校基本調査」により作成

注：①卒業生数＝高等学校全日制・定時制の卒業生数＋中等教育学校後期課程の修了者数

②進学者数＝卒業生数(①)のうち、大学・短期大学・専門学校に進学した数

③進学率＝進学者数(②)÷卒業生数(①)×100

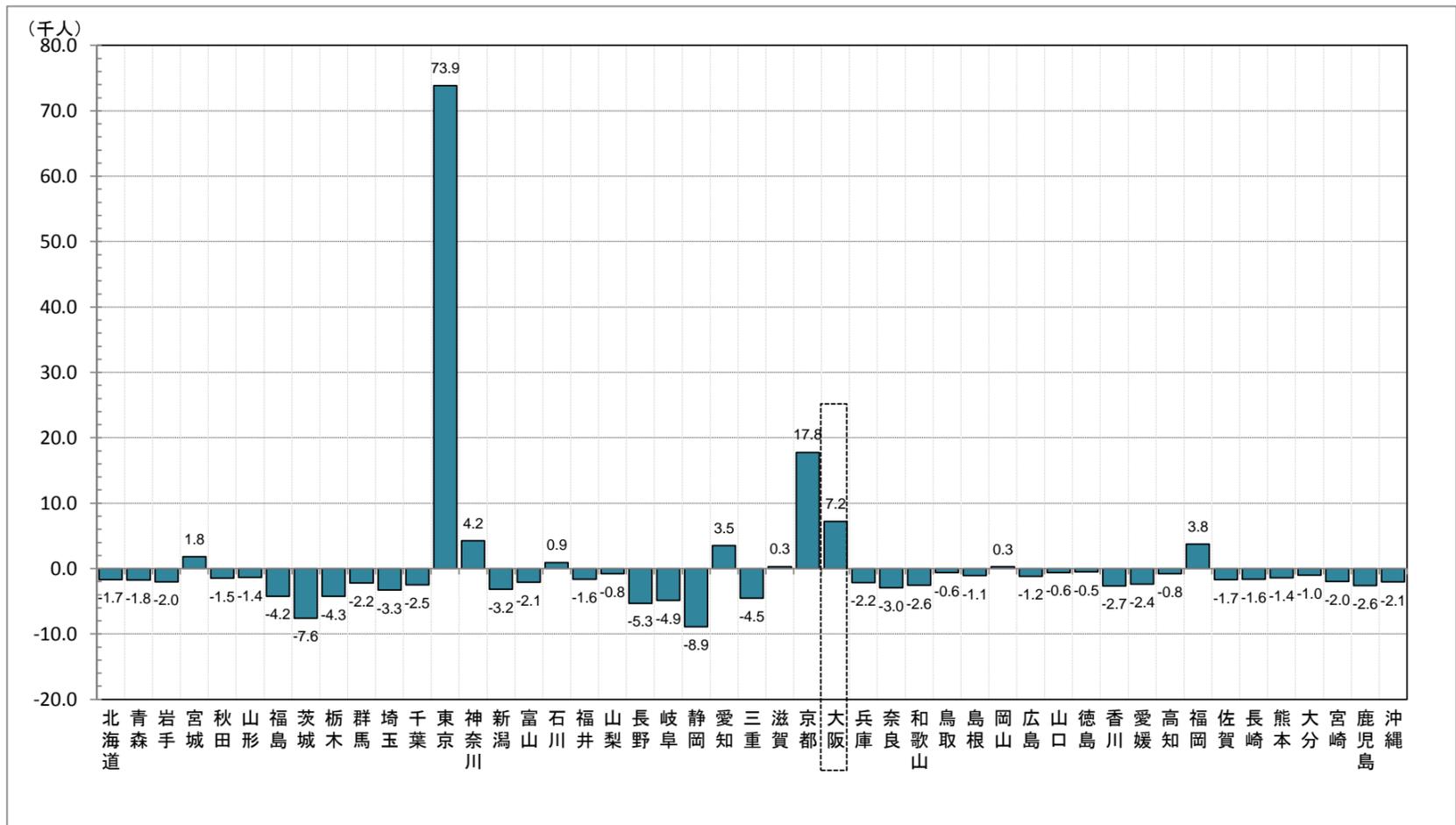
④残留率＝各都道府県の高等学校(全日制・定時制)と中等教育学校後期課程修了者が地元の大学・短期大学に入学した割合

⑤専門学校＝専修学校専門課程

【(参考)全国の進学率、残留率】

年度	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
進学率(大学)	46.0	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	-
残留率(大学)	42.4	42.8	43.4	43.2	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4

別紙3 大学進学時の都道府県別流入・流出者数の差(2018年)

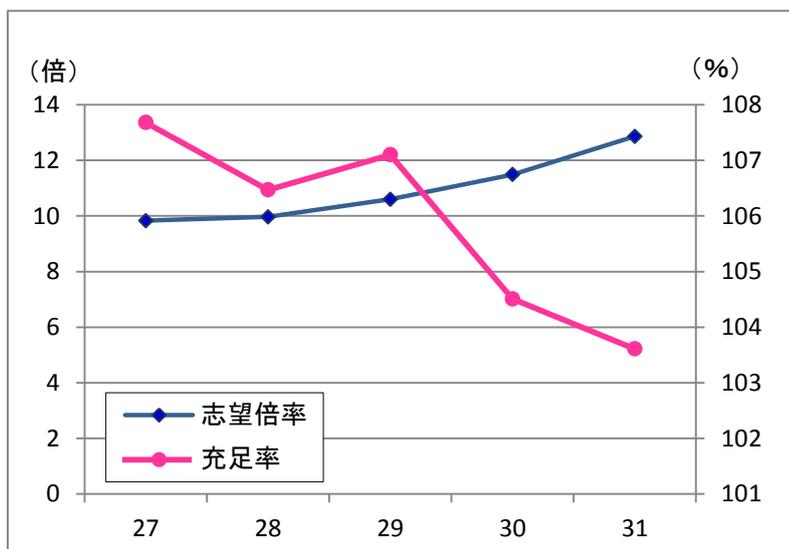


資料: 文部科学省「学校基本調査」により作成

別紙4 大学の学校数、志願倍率、入学定員充足率の推移(大阪、全国)

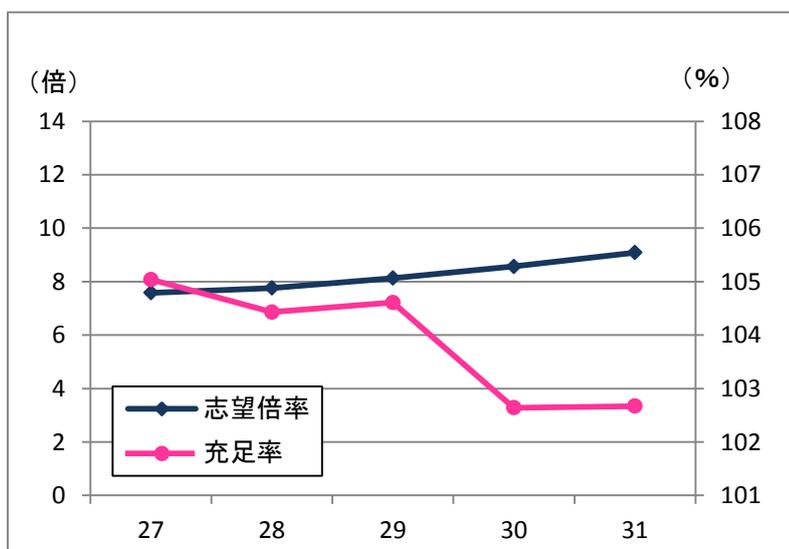
大阪

年 度	27	28	29	30	31
学 校 数	50	50	50	50	50
志 望 倍 率	9.83	9.97	10.60	11.49	12.86
充 足 率	107.68	106.47	107.10	104.51	103.61



全国

年 度	27	28	29	30	31
学 校 数	579	577	581	582	587
志 望 倍 率	7.58	7.76	8.13	8.57	9.09
充 足 率	105.04	104.43	104.61	102.64	102.67



出典：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター
「平成31年度 私立大学・短期大学等入学志願動向」から抜粋し作成

別紙5-① 臨床工学技士を養成する大学の志願状況(一般入試のみ)

No.	都道府県	大学名	学部名	学科名	専攻等名	2015年度					2016年度					備考
						募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	
1	北海道	北海道科学大学	保健医療	臨床工		24	691	658	181	28.8	24	582	560	190	24.3	
2	北海道	北海道情報大学	医療情報	臨床工学専攻	臨床工学専攻											2017年度専攻設置
3	宮城	東北化学工業大学	科学技術	臨床工							20	83	80	47	4.2	2016年度設置
4	茨城	つくば国際大学	医療保健	医療技術							26	31	31	19	1.2	2016年度設置
5	群馬	群馬パーソンズ大学	保健科	臨床工												2017年度設置
6	埼玉	埼玉医科大学	保健医療	臨床工		23	63	59	37	2.7	23	63	63	40	2.7	
7	埼玉	日本医療科学大学	保健医療	臨床工		19	209	206	71	11.0	19	236	236	35	12.4	
8	東京	東京工科大学	医療保健	臨床工		57	499	486	197	8.8	57	552	533	208	9.7	
9	東京	帝京平成大学	健康メディカル	医療科学	臨床工学コース	44	436	415	181	9.9	44	316	293	126	7.2	
10	東京	帝京科学大学	生命環境	生命科	臨床工学コース	10	334	321	27	33.4	12	233	220	25	19.4	
11	東京	杏林大学	保健	臨床工		35	439	416	102	12.5	36	481	474	142	13.4	
12	神奈川	桐蔭横浜大学	医用工	臨床工		30	237	210	114	7.9	30	161	146	121	5.4	
13	神奈川	北里大学	医療衛生	医療工	臨床工学専攻	33	271	260	55	8.2	33	250	239	55	7.6	
14	神奈川	神奈川工科大学	工	臨床工		25	225	218	83	9.0	25	134	130	50	5.4	
15	神奈川	東海大学	工	医用生体工		37	466	449	140	12.6	40	297	273	122	7.4	
16	新潟	新潟医療福祉大学	医療技術	臨床技術		50	446	439	146	8.9	50	418	403	164	8.4	
17	石川	北陸大学	医療保健	医療技術												2017年度設置
18	石川	公立小松大学	保健医療	臨床工												2018年度設置
19	愛知	藤田医科大学	医療科学	臨床工		32	270	269	113	8.4	43	391	390	211	9.1	2019年データなし
20	愛知	中部大学	生命健康科学	臨床工		27	433	430	76	16.0	27	301	300	87	11.1	
21	三重	鈴鹿医療科学大学	医用工	臨床工		21	325	321	68	15.5	22	233	230	93	10.6	
22	大阪	藍野大学	医療保健	臨床工		20	107	100	65	5.4	21	83	81	57	4.0	
23	大阪	大阪電気通信大学	医療福祉工	医療福祉工		30	84	80	31	2.8	30	90	89	32	3.0	
24	大阪	森ノ宮医療大学	保健医療	臨床工												2018年度設置
25	和歌山	近畿大学	生物理工	医用工		34	554	369	158	16.3	34	455	284	154	13.4	
26	兵庫	姫路獨協大学	医療保健	臨床工		25	95	78	67	3.8	25	48	43	43	1.9	
27	岡山	岡山理科大学	理	応用物理学	臨床工学専攻	16	21	10	19	1.3	16	64	35	52	4.0	
			工	生命医療工	臨床工学コース	31	129	69	101	4.2	31	117	70	88	3.8	
29	岡山	川崎医療福祉大学	医療技術	臨床工		35	192	190	105	5.5	35	202	125	85	5.8	
30	広島	広島国際大学	保健医療	医療技術	臨床工学専攻	33	316	270	118	9.6	33	301	263	99	9.1	
31	広島	広島工業大学	生命	生体医工		27	209	205	139	7.7	27	222	210	141	8.2	
32	福岡	純真学園大学	保健医療	医療工		28	65	59	60	2.3	28	43	40	70	1.5	
33	福岡	帝京大学	福岡医療技術	医療技術	臨床工学コース	20	69	67	35	3.5	24	71	67	46	3.0	
34	長崎	長崎総合科学大学	工	工	医療工学コース	14	66	66	46	4.7	14	75	75	65	5.4	
35	熊本	東海大学	基盤工	医療福祉工		29	130	125	67	4.5	29	94	85	63	3.2	
36	熊本	九州保健福祉大学	保健科学	臨床工		30	64	62	44	2.1	30	42	41	26	1.4	
全体						合計	839	7445	6907	2646	8.9	908	6669	6109	2756	7.3
						平均	28.9	256.7	238.2	91.2	8.9	29.3	215.1	197.1	88.9	7.3
近畿5大学 (No.22~No.26)						合計	109	840	627	321	7.7	110	676	497	286	6.1
						平均	27.3	210.0	156.8	80.3	7.7	27.5	169.0	124.3	71.5	6.1

注: 1)一般入試のみのデータであり、推薦入試等の数値は含まない。

2)「都道府県」は該当学科等のキャンパスの所在地による。

3)志願倍率=志願者数/募集人員

出典: 進学者による調査データに基づき本学が表を作成。募集人員の一部は進学者の推測値。

別紙5-② 臨床工学技士を養成する大学の志願状況(一般入試のみ)

No.	都道府県	大学名	学部名	学科名	専攻等名	2017年度					2018年度					2019年度				
						募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率
1	北海道	北海道科学大学	保健医療	臨床工		24	474	465	255	19.8	33	465	451	334	14.1	33	675	659	299	20.5
2	北海道	北海道情報大学	医療情報	医療情報	臨床工学専攻	22	46	45	45	2.1	22	31	29	29	1.4	22	31	31	30	1.4
3	宮城	東北化学工業大学	科学技術	臨床工		20	76	75	48	3.8	20	85	81	64	4.3	20	88	88	44	4.4
4	茨城	つくば国際大学	医療保健	医療技術		20	38	37	23	1.9	20	61	58	37	3.1	20	64	64	30	3.2
5	群馬	群馬パース大学	保健科	臨床工		25	0	264	109	0.0	25	0	194	60	0.0	25	0	237	68	0.0
6	埼玉	埼玉医科大学	保健医療	臨床工		23	45	45	31	2.0	23	44	44	28	1.9	23	55	50	28	2.4
7	埼玉	日本医療科学大学	保健医療	臨床工		16	192	192	101	12.0	16	213	210	33	13.3	16	228	225	54	14.3
8	東京	東京工科大学	医療保健	臨床工		47	651	635	211	13.9	47	909	847	200	19.3	47	674	590	220	14.3
9	東京	帝京平成大学	健康メディカル	医療科学	臨床工学コース	44	371	358	71	8.4	44	278	259	70	6.3	44	234	221	105	5.3
10	東京	帝京科学大学	生命環境	生命科	臨床工学コース	10	230	225	37	23.0	10	212	204	45	21.2	10	322	309	22	32.2
11	東京	杏林大学	保健	臨床工		48	559	543	160	11.6	48	478	462	167	10.0	43	451	430	101	10.5
12	神奈川	桐蔭横浜大学	医用工	臨床工		30	158	144	128	5.3	30	164	145	131	5.5	30	207	185	108	6.9
13	神奈川	北里大学	医療衛生	医療工	臨床工学専攻	38	179	174	50	4.7	38	217	201	65	5.7	38	191	173	57	5.0
14	神奈川	神奈川工科大学	工	臨床工		25	174	161	37	7.0	25	216	211	92	8.6	25	269	261	110	10.8
15	神奈川	東海大学	工	医用生体工		40	362	350	120	9.1	40	308	288	102	7.7	40	321	311	131	8.0
16	新潟	新潟医療福祉大学	医療技術	臨床技術		50	511	391	145	10.2	59	470	364	112	8.0	59	484	374	111	8.2
17	石川	北陸大学	医療保健	医療技術		47	370	368	123	7.9	47	205	199	154	4.4	47	301	296	178	6.4
18	石川	公立小松大学	保健医療	臨床工							22	215	138	43	9.8	22	195	110	37	8.9
19	愛知	藤田医科大学	医療科学	臨床工		43	327	325	141	7.6	42	353	351	141	8.4					
20	愛知	中部大学	生命健康科学	臨床工		26	271	266	87	10.4	26	414	408	66	15.9	26	376	365	65	14.5
21	三重	鈴鹿医療科学大学	医用工	臨床工		22	260	259	110	11.8	22	238	237	98	10.8	22	254	253	75	11.5
22	大阪	藍野大学	医療保健	臨床工		25	68	64	52	2.7	25	72	68	57	2.9	25	125	124	75	5.0
23	大阪	大阪電気通信大学	医療福祉工	医療福祉工		30	76	74	55	2.5	30	110	105	69	3.7	29	181	181	35	6.2
24	大阪	森ノ宮医療大学	保健医療	臨床工							28	61	60	23	2.2	28	52	50	22	1.9
25	和歌山	近畿大学	生物理工	医用工		37	736	562	156	19.9	38	563	412	141	14.8	38	488	310	160	12.8
26	兵庫	姫路獨協大学	医療保健	臨床工		25	44	43	38	1.8	25	44	0	37	1.8	22	55	0	44	2.5
27	岡山	岡山理科大学	理	応用物理学科	臨床工学専攻	16	38	21	31	2.4	16	33	23	26	2.1	16	18	10	15	1.1
			工	生命医療工	臨床工学コース	31	96	46	63	3.1	31	38	18	33	1.2	31	42	25	36	1.4
29	岡山	川崎医療福祉大学	医療技術	臨床工		37	170	165	69	4.6	35	197	193	101	5.6	35	177	176	73	5.1
30	広島	広島国際大学	保健医療	医療技術	臨床工学専攻	33	236	200	92	7.2	31	240	175	109	7.7	31	170	170	127	5.5
31	広島	広島工業大学	生命	生体医工		28	254	248	178	9.1	28	271	267	189	9.7	28	222	219	157	7.9
32	福岡	純真学園大学	保健医療	医療工		28	44	41	67	1.6	30	57	57	61	1.9	30	39	38	70	1.3
33	福岡	帝京大学	福岡医療技術	医療技術	臨床工学コース	24	71	64	38	3.0	24	56	53	32	2.3	24	79	76	55	3.3
34	長崎	長崎総合科学大学	工	工	医療工学コース	14	60	60	48	4.3	14	74	72	61	5.3	14	47	46	33	3.4
35	熊本	東海大学	基盤工	医療福祉工		29	69	61	42	2.4	29	84	78	54	2.9	27	98	95	61	3.6
36	熊本	九州保健福祉大学	保健科学	臨床工		30	36	33	22	1.2	28	51	51	37	1.8	22	31	31	25	1.4
		全体		合計		1007	7292	7004	2983	7.2	1071	7527	7013	3101	7.0	1012	7244	6783	2861	7.2
				平均		29.6	214.5	206.0	87.7	7.2	29.8	209.1	194.8	86.1	7.0	28.9	207.0	193.8	81.7	7.2
		近畿5大学 (No.22~No.26)		合計		117	924	743	301	7.9	146	850	645	327	5.8	142	901	665	336	6.3
				平均		29.3	231.0	185.8	75.3	7.9	29.2	170.0	129.0	65.4	5.8	28.4	180.2	133.0	67.2	6.3

注：1)一般入試のみのデータであり、推薦入試等の数値は含まない。

2)「都道府県」は該当学科等のキャンパスの所在地による。

3)志願倍率=志願者数/募集人員

出典：進学業者による調査データに基づき本学が表を作成。募集人員の一部は進学業者の推測値。

別紙6-1 病院(一般病院)における職種別従事者数(実数)

一般病院	2002年	2005年	2008年	2011年	2014年	2015年	2016年	2017年
総数	1,485,344	1,514,230	1,605,591	1,738,934	1,871,713	1,906,999	1,936,709	1,923,820
医師	166,291	171,876	179,366	190,662	201,139	205,497	208,650	208,481
歯科医師	9,194	9,406	9,846	9,981	9,883	9,921	10,128	9,692
薬剤師	36,173	37,233	38,760	39,735	43,659	44,987	46,638	46,846
保健師	2,187	2,730	3,927	4,679	5,212	5,232	5,018	5,544
助産師	17,267	17,067	18,128	20,120	22,222	22,613	22,880	22,880
看護師	497,259	525,694	590,333	654,397	714,605	733,038	751,196	750,037
准看護師	164,584	144,592	134,823	120,551	105,979	100,992	95,780	87,461
看護業務補助者	173,778	170,798	160,563	166,220	167,005	163,535	158,303	149,477
理学療法士(PT)	21,857	28,366	38,564	51,634	65,982	70,301	74,058	78,205
作業療法士(OT)	9,112	13,551	19,778	27,312	33,414	34,791	37,084	38,389
視能訓練士	2,197	2,565	2,956	3,436	3,964	4,103	4,227	4,309
言語聴覚士	3,358	5,178	7,842	10,625	13,464	14,229	15,090	15,722
義肢装具士	57	65	61	64	61	66	66	62
歯科衛生士	3,614	3,871	4,145	4,514	5,229	5,482	5,670	5,823
歯科技工士	880	813	777	746	707	678	657	657
診療放射線技師	33,130	35,032	36,965	39,119	41,707	42,694	43,811	44,192
診療エックス線技師	531	417	286	223	166	138	138	100
臨床検査技師	44,018	44,764	46,451	48,822	52,005	53,184	54,096	54,007
衛生検査技師	319	231	193	139	110	94	89	76
臨床工学技士	7,440	9,402	11,925	14,577	17,915	19,251	20,370	21,172
あん摩マッサージ指圧師	4,354	3,608	2,717	2,082	1,628	1,505	1,376	1,213
柔道整復師	722	688	627	562	521	492	486	484
管理栄養士	13,439	13,999	15,698	16,853	19,026	19,676	20,190	20,199
栄養士	6,383	5,486	4,876	4,490	3,985	3,813	3,772	3,881
精神保健福祉士	749	1,466	1,887	2,130	2,520	2,582	2,718	2,930
社会福祉士	1,546	2,649	4,510	6,705	9,179	10,014	10,832	12,900
介護福祉士	13,636	19,162	25,565	32,649	40,244	42,428	43,588	42,072
保育士								6,870
その他の技術員	16,097	14,870	13,667	14,339	14,104	14,084	13,837	16,551
医療社会事業従事者	6,764	7,842	8,340	8,075	8,834	8,760	8,801	4,517
事務職員	141,781	144,613	152,522	175,140	198,753	204,940	209,829	206,386
その他の職員	86,631	76,196	69,492	68,355	68,492	67,879	67,331	62,687

対前回調査比						
2005年	2008年	2011年	2014年	2015年	2016年	2017年
1.9%	6.0%	8.3%	7.6%	1.9%	1.6%	-0.7%
3.4%	4.4%	6.3%	5.5%	2.2%	1.5%	-0.1%
2.3%	4.7%	1.4%	-1.0%	0.4%	2.1%	-4.3%
2.9%	4.1%	2.5%	9.9%	3.0%	3.7%	0.4%
24.8%	43.9%	19.2%	11.4%	0.4%	-4.1%	10.5%
-1.2%	6.2%	11.0%	10.5%	1.8%	1.2%	0.0%
5.7%	12.3%	10.9%	9.2%	2.6%	2.5%	-0.2%
-12.2%	-6.8%	-10.6%	-12.1%	-4.7%	-5.2%	-8.7%
-1.7%	-6.0%	3.5%	0.5%	-2.1%	-3.2%	-5.6%
29.8%	36.0%	33.9%	27.8%	6.6%	5.3%	5.6%
48.7%	46.0%	38.1%	22.3%	4.1%	6.6%	3.5%
16.7%	15.3%	16.2%	15.4%	3.5%	3.0%	1.9%
54.2%	51.4%	35.5%	26.7%	5.7%	6.1%	4.2%
13.7%	-6.2%	5.1%	-5.0%	9.8%	-0.6%	-6.7%
7.1%	7.1%	8.9%	15.8%	4.8%	3.4%	2.7%
-7.6%	-4.4%	-4.0%	-5.2%	-4.2%	-3.1%	0.0%
5.7%	5.5%	5.8%	6.6%	2.4%	2.6%	0.9%
-21.4%	-31.3%	-22.1%	-25.6%	-16.8%	-0.5%	-27.6%
1.7%	3.8%	5.1%	6.5%	2.3%	1.7%	-0.2%
-27.6%	-16.4%	-28.3%	-20.4%	-15.1%	-5.3%	-14.0%
26.4%	26.8%	22.2%	22.9%	7.5%	5.8%	3.9%
-17.1%	-24.7%	-23.4%	-21.8%	-7.6%	-8.6%	-11.9%
-4.7%	-8.8%	-10.4%	-7.3%	-5.6%	-1.2%	-0.3%
4.2%	12.1%	7.4%	12.9%	3.4%	2.6%	0.0%
-14.1%	-11.1%	-7.9%	-11.2%	-4.3%	-1.1%	2.9%
95.8%	28.7%	12.9%	18.4%	2.4%	5.3%	7.8%
71.4%	70.3%	48.7%	36.9%	9.1%	8.2%	19.1%
40.5%	33.4%	27.7%	23.3%	5.4%	2.7%	-3.5%
-7.6%	-8.1%	4.9%	-1.6%	-0.2%	-1.8%	19.6%
15.9%	6.4%	-3.2%	9.4%	-0.8%	0.5%	-48.7%
2.0%	5.5%	14.8%	13.5%	3.1%	2.4%	-1.6%
-12.1%	-8.8%	-1.6%	0.2%	-0.9%	-0.8%	-6.9%

出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」より作成

各年10月1日現在

注：すべての職種は常勤換算の数値である。

別紙6-2 病院(一般病院)における職種別従事者数(100床当たり)

一般病院	2002年	2005年	2008年	2011年	2014年	2015年	2016年	2017年
総数	107.6	110.6	118.8	131.1	142.2	145.1	147.7	148.4
医師	12.0	12.5	13.3	14.4	15.3	15.6	15.9	16.1
歯科医師	0.7	0.7	0.7	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7
薬剤師	2.6	2.7	2.9	3.0	3.3	3.4	3.6	3.6
保健師	0.2	0.2	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
助産師	1.3	1.2	1.3	1.5	1.7	1.7	1.7	1.8
看護師	36.0	38.4	43.7	49.3	54.3	55.8	57.3	57.9
准看護師	11.9	10.6	10.0	9.1	8.1	7.7	7.3	6.7
看護業務補助者	12.6	12.5	11.9	12.5	12.7	12.4	12.1	11.5
理学療法士(PT)	1.6	2.1	2.9	3.9	5.0	5.3	5.6	6.0
作業療法士(OT)	0.7	1.0	1.5	2.1	2.5	2.6	2.8	3.0
視能訓練士	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
言語聴覚士	0.2	0.4	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.2
義肢装具士	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歯科衛生士	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4
歯科技工士	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
診療放射線技師	2.4	2.6	2.7	2.9	3.2	3.2	3.3	3.4
診療エックス線技師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
臨床検査技師	3.2	3.3	3.4	3.7	4.0	4.0	4.1	4.2
衛生検査技師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
臨床工学技士	0.5	0.7	0.9	1.1	1.4	1.5	1.6	1.6
あん摩マッサージ指圧師	0.3	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1
柔道整復師	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
管理栄養士	1.0	1.0	1.2	1.3	1.4	1.5	1.5	1.6
栄養士	0.5	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
精神保健福祉士	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
社会福祉士	0.1	0.2	0.3	0.5	0.7	0.8	0.8	1.0
介護福祉士	1.0	1.4	1.9	2.5	3.1	3.2	3.3	3.2
保育士	-	-	-	-	-	-	-	0.5
その他の技術員	1.2	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.3
医療社会事業従事者	0.5	0.6	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.3
事務職員	10.3	10.6	11.3	13.2	15.1	15.6	16.0	15.9
その他の職員	6.3	5.6	5.1	5.2	5.2	5.2	5.1	4.8

対前回調査比						
2005年	2008年	2011年	2014年	2015年	2016年	2017年
2.8%	7.4%	10.4%	8.5%	2.0%	1.8%	0.5%
4.2%	6.4%	8.3%	6.3%	2.0%	1.9%	1.3%
0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	-12.5%
3.8%	7.4%	3.4%	10.0%	3.0%	5.9%	0.0%
0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
-7.7%	8.3%	15.4%	13.3%	0.0%	0.0%	5.9%
6.7%	13.8%	12.8%	10.1%	2.8%	2.7%	1.0%
-10.9%	-5.7%	-9.0%	-11.0%	-4.9%	-5.2%	-8.2%
-0.8%	-4.8%	5.0%	1.6%	-2.4%	-2.4%	-5.0%
31.3%	38.1%	34.5%	28.2%	6.0%	5.7%	7.1%
42.9%	50.0%	40.0%	19.0%	4.0%	7.7%	7.1%
0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	50.0%	33.3%	25.0%	10.0%	9.1%	0.0%
-	-	-	-	-	-	-
0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8.3%	3.8%	7.4%	10.3%	0.0%	3.1%	3.0%
-	-	-	-	-	-	-
3.1%	3.0%	8.8%	8.1%	0.0%	2.5%	2.4%
-	-	-	-	-	-	-
40.0%	28.6%	22.2%	27.3%	7.1%	6.7%	0.0%
0.0%	-33.3%	0.0%	-50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	-100.0%	-	-	-	-	-
0.0%	20.0%	8.3%	7.7%	7.1%	0.0%	6.7%
-20.0%	0.0%	-25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
100.0%	50.0%	66.7%	40.0%	14.3%	0.0%	25.0%
40.0%	35.7%	31.6%	24.0%	3.2%	3.1%	-3.0%
-	-	-	-	-	-	-
-8.3%	-9.1%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%
20.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	-57.1%
2.9%	6.6%	16.8%	14.4%	3.3%	2.6%	-0.6%
-11.1%	-8.9%	2.0%	0.0%	0.0%	-1.9%	-5.9%

出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」より作成

各年10月1日現在

注：すべての職種は常勤換算の数値である。

別紙7-1 病院(一般病院)における臨床工学技士の従事者数(全国・大阪)

実数	2002年	2005年	2008年	2011年	2014年	2015年	2016年	2017年
全国	7,440	9,402	11,925	14,577	17,915	19,251	20,370	21,172
大阪	464	574	766	916	1,203	1,320	1,403	1,478

100床当たり	2002年	2005年	2008年	2011年	2014年	2015年	2016年	
全国	0.5	0.7	0.9	1.1	1.4	1.5	1.6	-
大阪	0.5	0.6	0.8	1.0	1.3	1.4	1.5	-

別紙7-2 病院(一般病院)における職種別従事者数 (100床当たり、大阪)

	2016年
総数	151.2
医師	17.8
歯科医師	0.8
薬剤師	4.1
保健師	0.2
助産師	2.0
看護師	58.0
准看護師	7.5
看護業務補助者	12.9
理学療法士(PT)	6.0
作業療法士(OT)	2.2
視能訓練士	0.4
言語聴覚士	1.1
義肢装具士	0.0
歯科衛生士	0.4
歯科技工士	0.0
診療放射線技師	3.6
診療エックス線技師	0.0
臨床検査技師	4.1
衛生検査技師	0.0
臨床工学技士	1.5
あん摩マッサージ指圧師	0.1
柔道整復師	0.1
管理栄養士	1.5
栄養士	0.2
精神保健福祉士	0.1
社会福祉士	0.8
介護福祉士	2.2
その他の技術員	0.8
医療社会事業従事者	0.6
事務職員	17.6

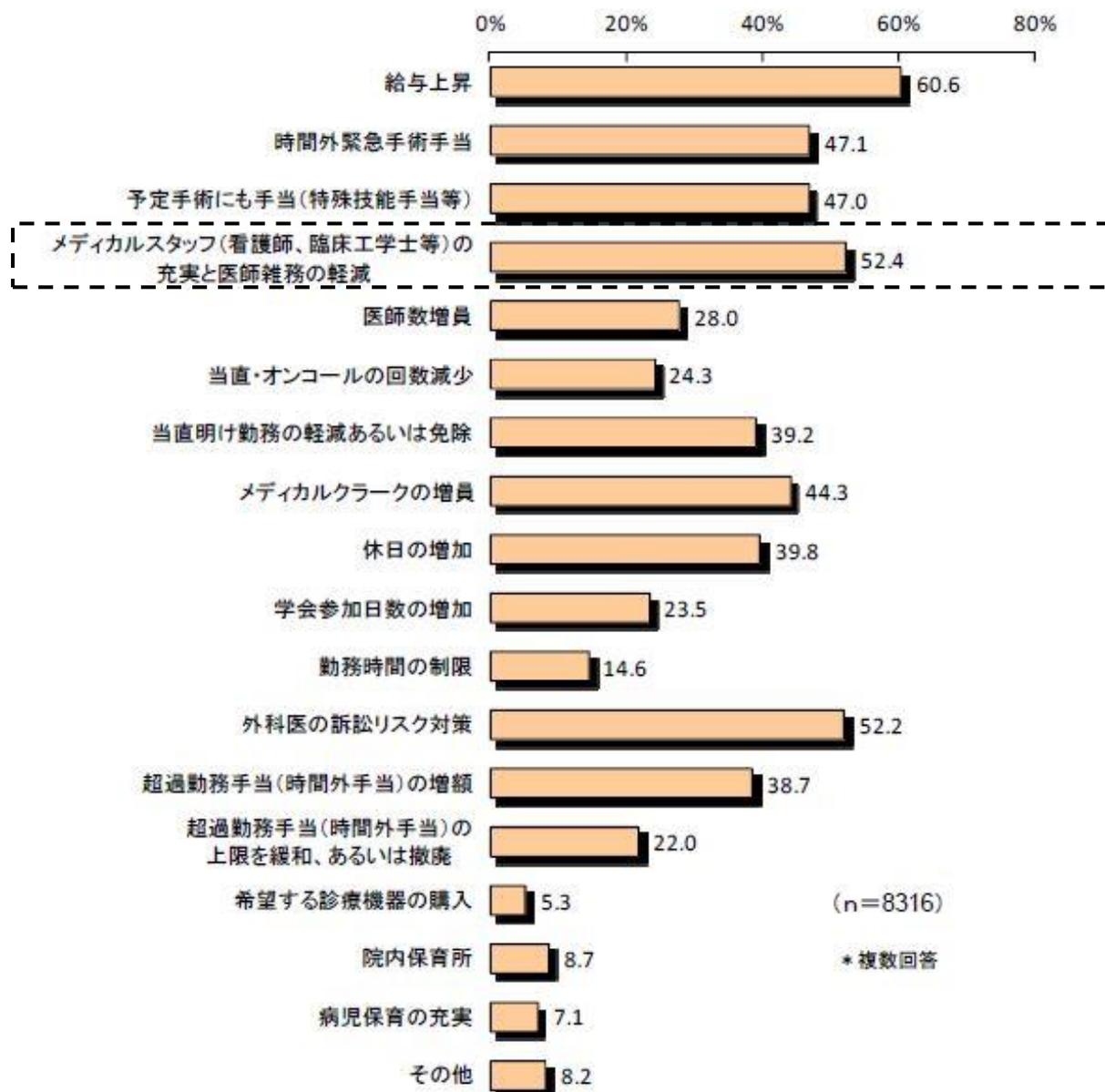
以上出典：厚生労働省「医療施設調査・病院報告」により作成

各年10月1日現在

注：すべての職種は常勤換算の数値である。

別紙8 外科医として希望する支援事項（アンケート調査）

図 32 自身が支援を希望するもの—全体—



出典：「平成 24 年度日本外科学会会員の労働環境に関するアンケート調査および平成 24 年度診療報酬改定結果に対する外科医の労働環境改善反映方法実態調査報告書（要約版）」（平成 25 年 4 月）

（責任編集：日本外科学会外科医労働環境改善委員会）より抜粋

調査対象：日本外科学会会員（メールアドレスが判明している者すべて）

メール配信数 28,000 件、有効回収数 8,316 件

調査期間：平成 24 年 10 月 30 日～12 月 10 日

別紙9 看護業務の役割分担に関する実態調査より（抜粋）

出典：日本病院会 看護職場環境委員会

平成27年度「看護業務の役割分担に関する実態調査」結果報告書（抜粋版）より抜粋
 調査目的：各医療機関の現在（平成27年度）と5年前（平成23年度）を比べ、専門職が働く部門ごと（外来、病棟、手術室、透析室、内視鏡室）に、看護業務に関する役割分担の状況変化の把握等。

対象施設：一般社団法人日本病院会に加盟するすべての会員2,418施設（回収数947施設）

調査期間：平成27年6月2日～8月3日

抜粋方法：臨床工学技士の位置づけが比較的大きい項目のうち数業務を抜粋

2. 内視鏡室における役割分担

・「光源・スコープ準備、点検」

看護師・助産師の『5年前（平成22年度）』と『現在（平成27年6月）』の割合はほとんど減っていないが、『今後』は他職種に移譲したい割合が高い。移譲したい職種は臨床工学技士が47.1%と一番多く、次に看護業務補助者、検査技師と続いている。『今後』の割合では臨床工学技士が看護師・助産師を上回り、逆に、看護業務補助者は低くなっている。自由意見でも「準備・片付け・点検、器械だしは臨床工学技士などに委ねたい」「看護業務が移譲できる業務課の検討をしている」「今後の臨床工学技士の活用では院内教育が必要」とあった。

「光源・スコープ準備・点検」では、臨床工学技士の専門的なスキルへ委ねたいという期待が大きいと思われる。

	5年前		現在		今後	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
a.医師	71	7.5%	67	7.1%	36	3.8%
b.看護師・助産師	834	88.1%	811	85.6%	316	33.4%
c.看護業務補助者（看護事務補助者・介護職員含）	96	10.1%	147	15.5%	127	13.4%
d.薬剤師	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
e.その他薬剤部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
f.検査技師	58	6.1%	71	7.5%	107	11.3%
g.その他検査部門職員	7	0.7%	12	1.3%	41	4.3%
h.理学・作業療法士（PT・OT）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
i.その他リハビリ部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
j.管理栄養士（栄養士含）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
k.その他栄養部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
l.歯科衛生士	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
m.臨床工学技士	52	5.5%	133	14.0%	446	47.1%
n.介護福祉士	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
o.精神保健福祉士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
p.心理療法士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
q.その他医療技術員（有資格者）	12	1.3%	13	1.4%	68	7.2%
r.医療社会事業従事者（社会福祉士等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
s.診療情報管理士（診療録管理士）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
t.一般事務担当職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
u.医師事務作業補助者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
v.保育士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
w.ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
x.委託（看護業務補助者及び医師事務作業補助者は除く）	25	2.6%	33	3.5%	53	5.6%
y.その他職員	8	0.8%	8	0.8%	10	1.1%
業務自体なし	63	6.7%	66	7.0%	61	6.4%
無回答	12	1.3%	8	0.8%	90	9.5%

・「内視鏡処置・治療介助」

看護師・助産師の割合は『5年前（平成22年度）』と『現在（平成27年6月）』の看護師の割合はほとんど減っていない。『今後』、他職種に移譲したい割合は「スコープの準備・点検」「スコープ洗浄」より少ない。移譲したい職種は臨床工学技士が一番多く、次に検査技師、その他の医療技術員と続く。自由意見では「準備・片付け・点検、器械だしは臨床工学技士などに委ねたい」「看護業務が移譲できる業務かの検討をしている」とあった。また、「今後の臨床工学技士の活用では院内教育が必要」とあり、「内視鏡処置・治療介助」を移譲する場合は特に必要であると思われる。以上のことから、「内視鏡処置・治療介助」は看護師の業務と捉えている施設が多いと考える。

	5年前		現在		今後	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
a.医師	232	24.5%	236	24.9%	192	20.3%
b.看護師・助産師	855	90.3%	852	90.0%	573	60.5%
c.看護業務補助者（看護事務補助者・介護職員含）	20	2.1%	27	2.9%	42	4.4%
d.薬剤師	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
e.その他薬剤部門職員	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
f.検査技師	58	6.1%	68	7.2%	164	17.3%
g.その他検査部門職員	9	1.0%	8	0.8%	34	3.6%
h.理学・作業療法士（PT・OT）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
i.その他リハビリ部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
j.管理栄養士（栄養士含）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
k.その他栄養部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
l.歯科衛生士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
m.臨床工学技士	35	3.7%	83	8.8%	211	22.3%
n.介護福祉士	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%
o.精神保健福祉士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
p.心理療法士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
q.その他医療技術員（有資格者）	9	1.0%	11	1.2%	73	7.7%
r.医療社会事業従事者（社会福祉士等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
s.診療情報管理士（診療録管理士）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
t.一般事務担当職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
u.医師事務作業補助者	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%
v.保育士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
w.ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
x.委託（看護業務補助者及び医師事務作業補助者は除く）	0	0.0%	0	0.0%	4	0.4%
y.その他職員	2	0.2%	0	0.0%	3	0.3%
業務自体なし	64	6.8%	67	7.1%	62	6.5%
無回答	13	1.4%	9	1.0%	127	13.4%

3. 透析室における役割分担

・「穿刺・回収」

『5年前（平成22年度）』と『現在（平成27年6月）』では、医師、看護師・助産師の割合に変化はなく、臨床工学技士が『5年前』50.1%から『現在』56.2%と6.1%高い割合となっている。検査技師が0.6%と少数であるが役割を担っている。『今後』は看護師・助産師の割合が39.7%と減っているが、医師、臨床工学技士の割合も減っており、役割分担できない現状が伺える。穿刺・回収については、それぞれの職種の役割分担が明確ではなく、共通業務として両者が行っているとの自由意見があった。また、穿刺は医師・看護師・助産師、回収は看護師、臨床工学技士、検査技師等に業務分担を行っている施設があり、その他の職種へ委譲することは困難であるが、看護師配置の割合を減らすことは可能であると考えられる。

	5年前		現在		今後	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
a.医師	243	25.7%	235	24.8%	199	21.0%
b.看護師・助産師	522	55.1%	544	57.4%	376	39.7%
c.看護業務補助者（看護事務補助者・介護職員含）	2	0.2%	1	0.1%	5	0.5%
d.薬剤師	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
e.その他薬剤部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
f.検査技師	5	0.5%	6	0.6%	7	0.7%
g.その他検査部門職員	1	0.1%	1	0.1%	3	0.3%
h.理学・作業療法士（PT・OT）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
i.その他リハビリ部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
j.管理栄養士（栄養士含）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
k.その他栄養部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
l.歯科衛生士	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
m.臨床工学技士	474	50.1%	532	56.2%	470	49.6%
n.介護福祉士	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
o.精神保健福祉士	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
p.心理療法士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
q.その他医療技術員（有資格者）	2	0.2%	3	0.3%	12	1.3%
r.医療社会事業従事者（社会福祉士等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
s.診療情報管理士（診療録管理士）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
t.一般事務担当職員	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
u.医師事務作業補助者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
v.保育士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
w.ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
x.委託（看護業務補助者及び医師事務作業補助者は除く）	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%
y.その他職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
業務自体なし	315	33.3%	300	31.7%	278	29.4%
無回答	27	2.9%	25	2.6%	143	15.1%

4. 病棟における役割分担

・「診療機器・器具の点検、管理」

『5年前（平成22年度）』から『現在（平成26年7月）』まで看護師・助産師、臨床工学技士で行われることが多かった。『今後』、臨床工学技士の割合に変化がないにもかかわらず、看護師・助産師の割合も減っている。他職種に委譲したい要望はあるが、どの職種に役割分担すればいいのかははっきりしない。臨床工学技士がいない、あるいは少ない施設も少なからずあるためと考えられる。

	5年前		現在		今後	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
a.医師	26	2.7%	27	2.9%	13	1.4%
b.看護師・助産師	847	89.4%	818	86.4%	273	28.8%
c.看護業務補助者（看護事務補助者・介護職員含）	155	16.4%	190	20.1%	131	13.8%
d.薬剤師	1	0.1%	1	0.1%	0	0.0%
e.その他薬剤部門職員	2	0.2%	2	0.2%	1	0.1%
f.検査技師	19	2.0%	24	2.5%	27	2.9%
g.その他検査部門職員	6	0.6%	8	0.8%	19	2.0%
h.理学・作業療法士（PT・OT）	3	0.3%	3	0.3%	4	0.4%
i.その他リハビリ部門職員	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
j.管理栄養士（栄養士含）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
k.その他栄養部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
l.歯科衛生士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
m.臨床工学技士	454	47.9%	616	65.0%	631	66.6%
n.介護福祉士	3	0.3%	6	0.6%	6	0.6%
o.精神保健福祉士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
p.心理療法士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
q.その他医療技術員（有資格者）	10	1.1%	19	2.0%	44	4.6%
r.医療社会事業従事者（社会福祉士等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
s.診療情報管理士（診療録管理士）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
t.一般事務担当職員	5	0.5%	4	0.4%	1	0.1%
u.医師事務作業補助者	0	0.0%	0	0.0%	3	0.3%
v.保育士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
w.ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
x.委託（看護業務補助者及び医師事務作業補助者は除く）	19	2.0%	22	2.3%	56	5.9%
y.その他職員	7	0.7%	7	0.7%	20	2.1%
業務自体なし	3	0.3%	1	0.1%	2	0.2%
無回答	12	1.3%	5	0.5%	137	14.5%

5. 手術室における役割分担

・「手術部屋準備」

看護師が、手術部屋の準備に関わる状況は、『5年前（平成22年度）』（88.5%）も『現在（平成26年7月）』（87.0%）もほぼ変わっていない。しかしながら、看護業務補助者（14.1%→21.1%）や臨床工学技士（2.5%→8.1%）にも役割分担が進んでいる状況がみられる。委託の割合も、微増（3.3%→8.4%）している。将来的には、看護業務補助者、臨床工学技士、委託への役割分担が一層望まれている。

	5年前		現在		今後	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
a.医師	13	1.4%	13	1.4%	7	0.7%
b.看護師・助産師	838	88.5%	824	87.0%	418	44.1%
c.看護業務補助者（看護事務補助者・介護職員含）	134	14.1%	200	21.1%	346	36.5%
d.薬剤師	2	0.2%	2	0.2%	15	1.6%
e.その他薬剤部門職員	1	0.1%	1	0.1%	2	0.2%
f.検査技師	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
g.その他検査部門職員	0	0.0%	1	0.1%	5	0.5%
h.理学・作業療法士（PT・OT）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
i.その他リハビリ部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
j.管理栄養士（栄養士含）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
k.その他栄養部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
l.歯科衛生士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
m.臨床工学技士	24	2.5%	77	8.1%	163	17.2%
n.介護福祉士	0	0.0%	0	0.0%	2	0.2%
o.精神保健福祉士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
p.心理療法士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
q.その他医療技術員（有資格者）	0	0.0%	0	0.0%	25	2.6%
r.医療社会事業従事者（社会福祉士等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
s.診療情報管理士（診療録管理士）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
t.一般事務担当職員	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
u.医師事務作業補助者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
v.保育士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
w.ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
x.委託（看護業務補助者及び医師事務作業補助者は除く）	31	3.3%	80	8.4%	194	20.5%
y.その他職員	4	0.4%	8	0.8%	12	1.3%
業務自体なし	94	9.9%	98	10.3%	88	9.3%
無回答	9	1.0%	7	0.7%	122	12.9%

・「器械出し（直接介助）」

看護師が、器械だしに関わる状況は、『5年前（平成22年度）』（88.8%）も『現在（平成26年7月）』（88.2%）もほぼ変わっていない。しかしながら、臨床工学技士との役割分担は1.3%→4.6%と進んできている状況があり、将来的には、より一層の分担（18.4%）が望まれている。

	5年前		現在		今後	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
a.医師	32	3.4%	39	4.1%	39	4.1%
b.看護師・助産師	841	88.8%	835	88.2%	595	62.8%
c.看護業務補助者（看護事務補助者・介護職員含）	5	0.5%	9	1.0%	41	4.3%
d.薬剤師	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
e.その他薬剤部門職員	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
f.検査技師	1	0.1%	1	0.1%	2	0.2%
g.その他検査部門職員	0	0.0%	0	0.0%	4	0.4%
h.理学・作業療法士（PT・OT）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
i.その他リハビリ部門職員	0	0.0%	1	0.1%	1	0.1%
j.管理栄養士（栄養士含）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
k.その他栄養部門職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
l.歯科衛生士	1	0.1%	3	0.3%	1	0.1%
m.臨床工学技士	12	1.3%	44	4.6%	174	18.4%
n.介護福祉士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
o.精神保健福祉士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
p.心理療法士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
q.その他医療技術員（有資格者）	2	0.2%	4	0.4%	59	6.2%
r.医療社会事業従事者（社会福祉士等）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
s.診療情報管理士（診療録管理士）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
t.一般事務担当職員	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
u.医師事務作業補助者	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%
v.保育士	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
w.ボランティア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
x.委託（看護業務補助者及び医師事務作業補助者は除く）	0	0.0%	0	0.0%	20	2.1%
y.その他職員	1	0.1%	3	0.3%	18	1.9%
業務自体なし	94	9.9%	98	10.3%	88	9.3%
無回答	9	1.0%	9	1.0%	157	16.6%

2020年1月15日

厚生労働省医政局長 吉田 学 殿

四病院団体協議会
一般社団法人日本病院会
会長 相澤 孝夫
公益社団法人全日本病院協会
会長 猪口 雄二
一般社団法人日本医療法人協会
会長 加納 繁照
公益社団法人日本精神科病院協会
会長 山崎 學



要望書

～医師のタスク・シフティング/シェアリングについて～

現在、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会」において様々な議論がされている。

四病院団体協議会は、医師の働き方改革対象となる診療従事勤務医を多数抱える病院から構成される団体として、医師の働き方改革を推進するにはタスク・シフティング/シェアリングは必要不可欠と考え、提案を行ってきた。

今後、医師の働き方改革を推進するため、下記の業務についてタスク・シフティング/シェアリングが可能となることを要望する。

- **薬剤師へのタスク・シフト**

医師等との協働により作成した包括的指示に基づいた投薬の実施、持参薬の継続提案、多剤併用薬に対する処方提案等、現行法の下で可能なタスク・シフトを確認し、医療機関内において薬剤師が主体的に業務を行えるようにすること。

- **看護師へのタスク・シフト**

特定行為研修修了者はもとより、病棟、介護施設等の一般看護師においても臨床現場における医師の包括的指示のもとに、看護師が患者の状態に応じて柔軟に対応ができるようにすること。

- 診療放射線技師へのタスク・シフト**
放射線部門の検査における静脈ルート確保、医療機関外でのマンモグラフィの単独撮影、等。
- 臨床検査技師へのタスク・シフト**
採血のための静脈ルート確保およびロック、血液培養を含む検体採取、等。
- 臨床工学技士へのタスク・シフト**
全身麻酔装置に伴う麻酔作動薬や循環作動薬等の、輸液ポンプを用いた静脈ライン確保と静脈ラインからの薬剤投与、硬性鏡の保持および術野確保のための操作
内視鏡（軟性鏡）検査・治療時、心臓・血管カテーテル検査・治療時の医療機器操作の補助
血液浄化施行時、動脈表在化を含むバスキュラーアクセスへの穿刺、カニューレ留置および不要カニューレの抜去、等。
- 医師事務作業補助者について**
患者への説明（検査手順説明、入院説明、同意書の取得等）、電子カルテの記載（診断書、入退院サマリー、各種パスの代行入力等）各種書類作成等事務業務（申請書等の草案作成、診療データ入力・解析、統計作成、当直表作成等）
多くのタスク・シフティングが可能となる医師事務作業補助者を適切に配置できるよう診療報酬上の改定。
- 救急救命士について**
医師の指示に基づく、医療機関内での救急外来、病棟急変時、等における救急救命処置および診療補助。

医師の働き方改革を推進するためには、医療安全等を確保しつつも既存の役割分担にとらわれない業務移管を行う必要がある。今後、安全性を担保するための研修システム確立（シミュレーターによるトレーニング等も含む）、養成カリキュラム作成、資格者のアドバンス研修等、が必要となる。病院団体として、関係諸団体と連携し、協力していく。

滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の 設置計画に係るアンケート調査（高校2年生対象）

このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の設置計画に関する基礎資料とするためのものです。なお、このアンケートの結果は、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。
以下の質問に、別紙のリーフレットをご覧くださいの上お答えくださいますよう、ご協力お願いいたします。

問1 あなたの、高校名について教えてください。
右の解答欄にご記入ください。

高等学校

問2 あなたの、性別について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 男性 2 女性

問3 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 大学進学（4年制・6年制） 4 就 職
2 短期大学進学 5 その他（具体的に ）
3 専門学校進学

問4以降は、問3で1、2、3のいずれかを選択した方におたずねします。
問3で4、5を選択した方は、これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問4 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。
次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 文学・史学・哲学関係 8 看護学関係
2 教育学・保育学関係 9 医療技術学関係
3 法学・政治学関係 10 健康科学関係
4 社会学・福祉学関係 11 芸術学関係
5 経済学・経営学関係 12 生活科学関係
6 工学・理学関係 13 その他（具体的に ）
7 医学・歯学関係

問5 あなたは、進学先を決定する際に「教育面」で重視する条件について、
次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 目指す資格や免許が取得できる 6 実践力と理論が共に身につく
2 学びたい分野の学部・学科がある 7 自分の学力に合っている
3 専門分野について深く学べる 8 資格試験の合格率が高い
4 自分の興味にあわせて幅広く学べる 9 その他（具体的に ）
5 教授陣が充実している

問6 あなたは、進学先を決定する際に「環境・支援面」で重視する条件について、
次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 キャンパスが充実している 6 学生への指導が親身で丁寧
2 交通の便が良い 7 奨学金制度が充実している
3 在校生の雰囲気自分がにあって 8 学費が安い
4 歴史・伝統があり、知名度が高い 9 その他（具体的に ）
5 就職支援が充実し、就職率が高い

～次の設問からは、別紙リーフレットもあわせてご覧になって、ご回答してください～

問7 あなたは、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）が設置された場合、受験を希望しますか。
次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

1 受験を希望する
2 受験を希望しない
3 わからない

問8以降は、問7で1を選択した方におたずねします。
問7で2、3を選択した方はこれでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問8 あなたは、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に合格した場合、進学を希望しますか。
次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

1 進学を希望する
2 進学先の一つとして考える
3 進学を希望しない
4 わからない

問9 あなたが、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の
受験・入学に関心を持った理由について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

1 臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから
2 教育内容に興味があるから
3 臨床工学技士の学修だけでなく、データサイエンスなどの発展的なことも学べるから
4 長年の専門学校教育の実績がある大阪滋慶学園が設置する学科だから
5 大学の立地が駅から近く、通学に便利だから
6 自宅から通えるから
7 その他（具体的に ）

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

大阪滋慶学園のDNAを継いで
医療科学部 臨床工学科(仮称)
 滋慶医療科学大学(改称予定)

2021年4月 学部設置予定(構想中)

／ 設置の理念 ／

滋慶医療科学大学では、様々な変化が予想される我が国の今後の医療、地域社会の発展に貢献するため、確かな専門分野の能力を備えるとともに、未来の多様な変化に対応していく素養・スピリットを備えた医療人の養成を目的として、新たな学部を設置します。

※現在の「滋慶医療科学大学大学院」を「滋慶医療科学大学」に改称予定。

／ 養成する人物像 ／

- ▷ 社会に貢献する意欲を持つとともに、いのちの尊厳を理解し、豊かな人間性、倫理観、責任感を備えた人材
- ▷ 医療職として必要な知識・技能を身につけ、保健・医療・福祉チームの一員として専門能力を発揮できる人材
- ▷ 学びの意欲を持つとともに、様々な変化に対応した改善・革新や新たな価値を開発・創造する力を備えた人材

入学定員・修業年限

80名
 (男女共学)・4年 ※予定

募集学部・学科 下記金額は予定であり、変更になる場合があります。

学部・学科	入学金	授業料等	初年度納付金合計
医療科学部 臨床工学科(仮称)	200,000円	1,400,000円	1,600,000円

近隣の類似する大学

大学名	学部・学科名	入学金	授業料等	初年度納付金合計
森ノ宮医療大学(大阪府)	保健医療学部 臨床工学科	250,000円	1,550,000円	1,800,000円
藍野大学(大阪府)	医療保健学部 臨床工学科	250,000円	1,600,000円	1,850,000円
姫路獨協大学(兵庫県)	医療保健学部 臨床工学科	300,000円	1,500,000円	1,800,000円

※他大学の掲載内容は、2019年7月時点において、各大学のホームページで確認できた金額であり、変更となる場合があります。



通学に便利な、
新大阪“駅チカ”
 キャンパス

- JR「新大阪駅」から1階正面口を出て徒歩3分
- 大阪メトロ「新大阪」駅から2番出口を出て徒歩2分

TEL:06-6394-1617 URL <https://www.jmpu.ac.jp>
 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-8(新大阪駅前)



CLINICAL ENGINEER
 いのちのエンジニア
 臨床工学技士

学校法人 大阪滋慶学園
 滋慶医療科学大学(改称予定)
医療科学部 臨床工学科(仮称)
 2021年4月 学部設置予定(構想中)

いのちを守るスペシャリスト 未来の医療を変えるエンジニア

Check.01

あなたもなれる いのちのエンジニア

臨床工学技士に求められるのは、専門的な知識・技術に精通していることはもちろん、社会に貢献する意欲を持ち、命の尊厳が理解できる豊かな人間性の持ち主です。チーム医療の一員として、機器の先にある「いのち」としっかり向き合える人材が必要とされています。あなたの「**医療に貢献したい**」という思いがあれば、**文系・理系に関係なく活躍できる仕事**です。

\\ 文系・理系ともに活躍できる /



文系

理系

Check.03

滋慶医療科学大学(改称予定)なら、 0からのスタートで 臨床工学技士を目指せます。

臨床工学技士になるためには、医学と工学分野の知識が必要となります。滋慶医療科学大学(改称予定)では数学・物理・化学など理系科目の入門授業を設けているので、入学後は段階的に、そして着実に臨床工学技士としての知識を身につけることができます。

/ 学びの特徴 /

- 1 「臨床工学技士」の国家試験受験資格が取得できる
- 2 医学と工学の基礎から体系的に学べるカリキュラム
- 3 病院や医療機器メーカーなどでの計画的な実習を受けられる
- 4 実経験が豊富な教員から学び、現場に必要な実践力を育める
- 5 データサイエンスなどの関連分野を学び、変化への対応力を養う

/ 就職サポート /

独自のきめ細やかな就職サポート

大阪滋慶学園グループ独自の業界ネットワークを活用し、臨床工学技士として大学病院や総合病院へ、医療機器開発エンジニアとして医療機器関連メーカーなどへの就職を目指します。長年にかけて構築してきた就職指導システムの下、一人ひとりへの丁寧な就職指導を展開。学生の希望する就職の実現までをサポートしていきます。

\\ 独自の業界ネットワークを活用 /



※設置構想中のため掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

医療機器の操作・メンテナンス



医療機器の開発・研究



Check.02

臨床工学技士って、どんな職業? 活躍のフィールドは?

医療スタッフの職業の一つで、透析クリニックや手術室で医師や看護師と連携し、生命維持装置の操作や保守・点検などを行う医療機器のスペシャリスト。医療技術の発展や超高齢社会に伴い、今後ますます活躍が期待されている職業です。大学病院や総合病院などの**医療機関**をはじめ、**医療機器関連企業**や**研究所**などへ幅広く活躍の場が広がっており、機器開発・研究などの仕事も増加しています。

手術の現場での 機器操作

手術室や集中治療室で、人工心肺装置など生命維持に関わる様々な医療機器の操作に携わります。



人工透析

腎不全により低下した腎臓の機能を人工的に補う「人工透析」も臨床工学技士の代表的な業務。



医療機器の管理

病院内の医療機器の点検やメンテナンスを行い、安全性の確保と有効性の維持に貢献します。



医療機器の開発

医療と工学の高度な専門知識を生かして、新たな医療機器の製品開発に携わり、医療技術の発展に貢献しています。



滋慶医療科学大学
医療科学部 臨床工学科(仮称)
受容性調査結果報告書
<高校2年生対象>

株式会社日本ドリコム
2020年2月

目次

1. 学生確保に関する調査概要	2
(1) 調査・目的.....	2
(2) 調査期間.....	2
(3) 調査対象及び調査方法.....	2
(4) 回収状況.....	2
(5) 本報告書について.....	2
2. 回答者属性	3
(1) 通っている高校の所在地（都道府県）.....	3
(2) 性別.....	3
3. 高校卒業後の進路選択や興味・関心	4
(1) 高校卒業後の進路として検討しているもの.....	4
(2) 進学希望分野.....	6
(3) 進学先決定の際、「教育面」で重視する条件.....	9
(4) 進学先決定の際、「環境・支援面」で重視する条件.....	12
4. 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）について	15
(1) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）への受験意向.....	15
(2) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）への進学意向.....	17
(3) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）受験・入学へ関心を持った理由.....	19
5. まとめ	22
6. 実施高校別回収一覧表	23
7. 調査用リーフレット・調査票	27

1. 学生確保に関する調査概要

(1) 調査・目的

本調査は、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科(仮称)の設置計画に伴い、具体的に受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行うことで入学志願者の分析を行い、新設構想の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査期間

2019年11月～2020年1月

(3) 調査対象及び調査方法

近畿・中四国エリアの高等学校に在籍する現役2年生(2021年3月卒業予定者)を対象に、定量調査(留め置きアンケート調査)を実施。あらかじめ調査実施に同意していただいた高校へ、アンケート用紙を郵送又は持参し、HR等の時間における実施をお願いした。その際、設置構想説明用のリーフレットも配布していただいた。

結果として、高等学校95校にご協力いただいた。(※なお、最初に協力を打診した高校数は729校である。)

また、京都府・大阪府・岡山県・広島県・香川県・鳥取県・島根県で実施した、株式会社日本ドリコム主催の進学ガイダンスに来場した、現役高校2年生に対しても定量調査を実施した(高校数50校)。なお、進学ガイダンスで回答のあった高校2年生の所属高校と高校留め置きアンケート調査校が重複しないよう、留意している。

(4) 回収状況

8,775件

なお、無効回答を含む総回収数は8,793件であり、その各都道府県の高校ごとの回収状況は、P.23の実施高校別回収一覧表のとおりである。

(5) 本報告書について

次ページより、大学のことは滋慶医療科学大学もしくは「本学」と表記している。なお、無回答は集計対象外とした。

2. 回答者属性

(1) 通っている高校の所在地（都道府県）

問1 あなたの高校名について教えて教えてください。右の回答欄にご記入ください。

	件数	%
全 体	8,775	100.0
大阪府	5,179	59.0
京都府	807	9.2
兵庫県	792	9.0
広島県	630	7.2
和歌山県	541	6.2
奈良県	319	3.6
岡山県	209	2.4
鳥取県	155	1.8
香川県	120	1.4
滋賀県	21	0.2
島根県	2	0.0

※具体的な高校名と回収件数については、P.23 の実施高校別回収一覧表のとおりである。

(2) 性別

問2 あなたの性別についてを教えてください。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	8,775	100.0
男子	4,469	50.9
女子	4,304	49.0
無回答	2	0.0

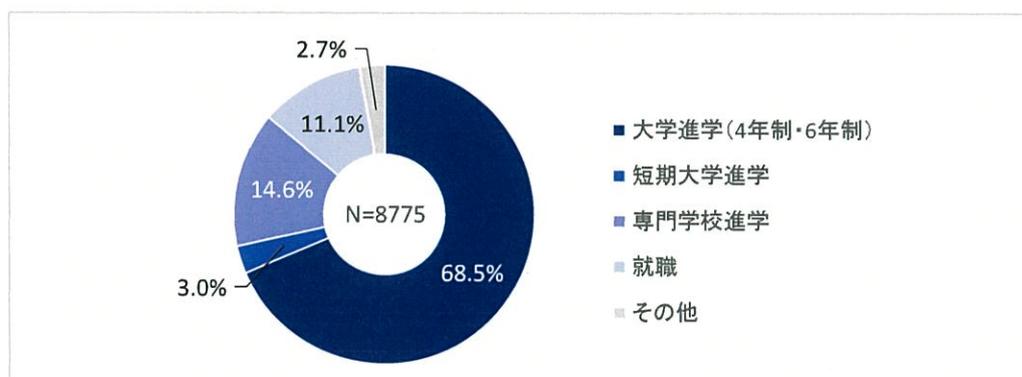
3. 高校卒業後の進路選択や興味・関心

(1) 高校卒業後の進路として検討しているもの

現高校2年生に対し、卒業後の進路を尋ねたところ、最も割合が高かったのは「大学進学（4年制・6年制）」で68.5%を占めた。次が「専門学校進学」で14.6%。

	件数	%
全体	8,775	100.0
大学進学（4年制・6年制）	6,012	68.5
短期大学進学	267	3.0
専門学校進学	1,283	14.6
就職	975	11.1
その他	238	2.7

※「その他」・・・「留学」「未定」「悩んでいる」など。



● 参考：高等学校卒業者の進路状況 高等学校卒業後の状況 一部抜粋

令和元年度学校基本調査より 高等学校卒業者の進路状況 高等学校卒業後の状況（一部抜粋）	人数	%
全体	1,056,494	100.0
大学（学部）進学者	527,776	50.0
短期大学進学者	50,993	4.8
専門学校進学者	172,376	16.3
就職者	185,667	17.6

※短期大学入学者＝大学・短期大学進学者のうち大学(学部)進学者で算出した。いずれにも当てはまらない者がいるため、割合合計は100%にはならない。他結果は文部科学省「令和元年度学校基本調査」を参照のこと。

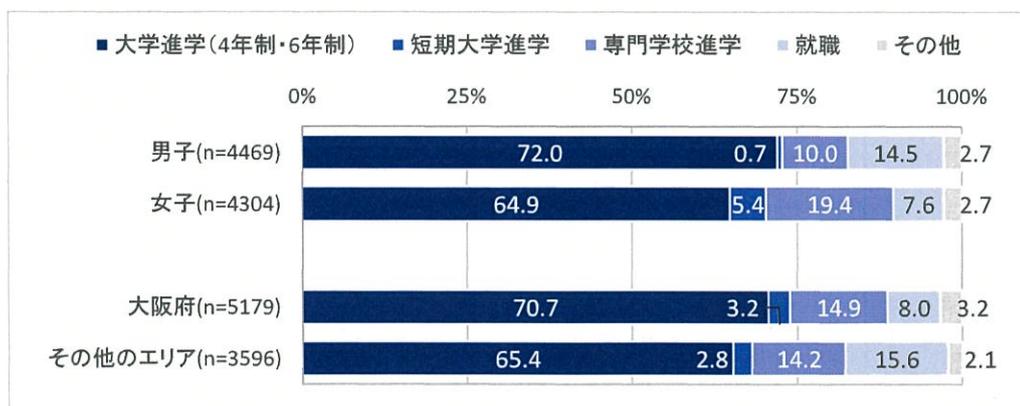
● クロス集計（男女別・エリア別）

男女別にみると、男子で「大学進学（4年制・6年制）」割合が非常に高く、72.0%となった。また、女子では「専門学校進学」が19.4%と男子より高い。

エリア別では、大阪府での「大学進学（4年制・6年制）」が高く70.7%と、その他のエリアより約5ポイント高い。

		全 体	大学 進学 (4 年 制 ・ 6 年 制)	短 期 大 学 進 学	専 門 学 校 進 学	就 職	そ の 他	
男 女 別	男子	件	4,469	3,219	33	448	647	122
		%	100.0	72.0	0.7	10.0	14.5	2.7
	女子	件	4,304	2,793	234	834	327	116
		%	100.0	64.9	5.4	19.4	7.6	2.7
エ リ ア 別	大阪府	件	5,179	3,660	168	773	414	164
		%	100.0	70.7	3.2	14.9	8.0	3.2
	その他のエリア	件	3,596	2,352	99	510	561	74
		%	100.0	65.4	2.8	14.2	15.6	2.1

※男女別の回答は、2件が性別無回答のため、全体数が少なくなっている。



(2) 進学希望分野

問3において、大学・短期大学・専門学校への進学を検討していると回答した高校2年生（計7,562件）に対し、希望する分野を2つまで尋ねたところ、「工学・理学関係」が最も高く、20.2%。次が「経済学・経営学関係」19.9%、「教育学・保育学関係」19.3%となった。

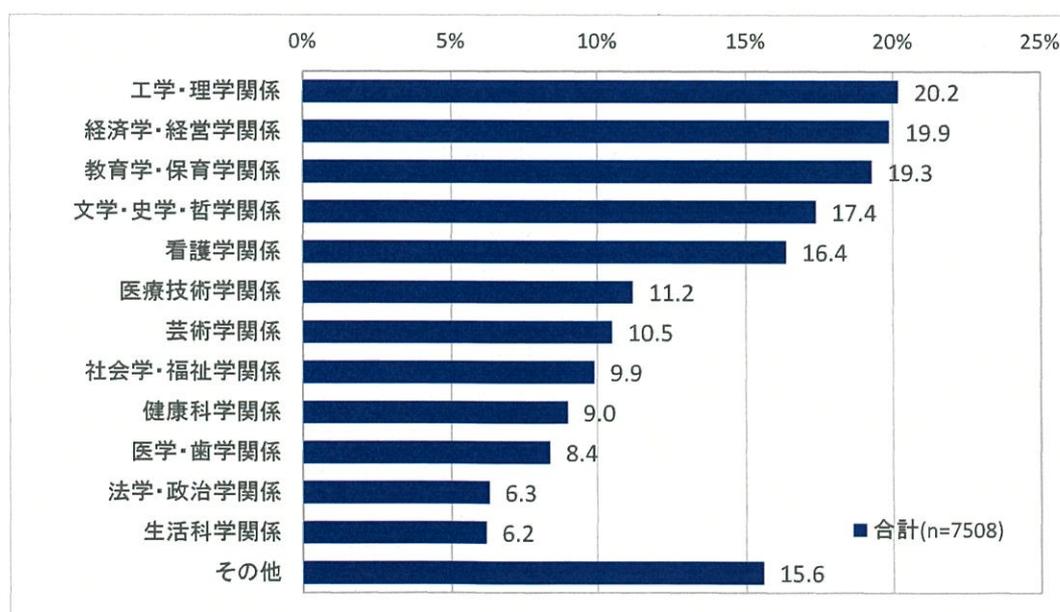
以降は、問3で「1.大学」「2.短期大学」「3.専門学校」進学のいずれかを選択した方におたずねします。

問4 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全体	7,508	100.0
工学・理学関係	1,515	20.2
経済学・経営学関係	1,497	19.9
教育学・保育学関係	1,446	19.3
文学・史学・哲学関係	1,305	17.4
看護学関係	1,229	16.4
医療技術学関係	841	11.2
芸術学関係	790	10.5
社会学・福祉学関係	740	9.9
健康科学関係	679	9.0
医学・歯学関係	628	8.4
法学・政治学関係	475	6.3
生活科学関係	466	6.2
その他	1,170	15.6

※「その他」・・・「国際関係」「心理学」「農学」「コンピューター・情報・IT系」「美容・メイク・ファッション系」「未定」など。

※54件が無回答である。

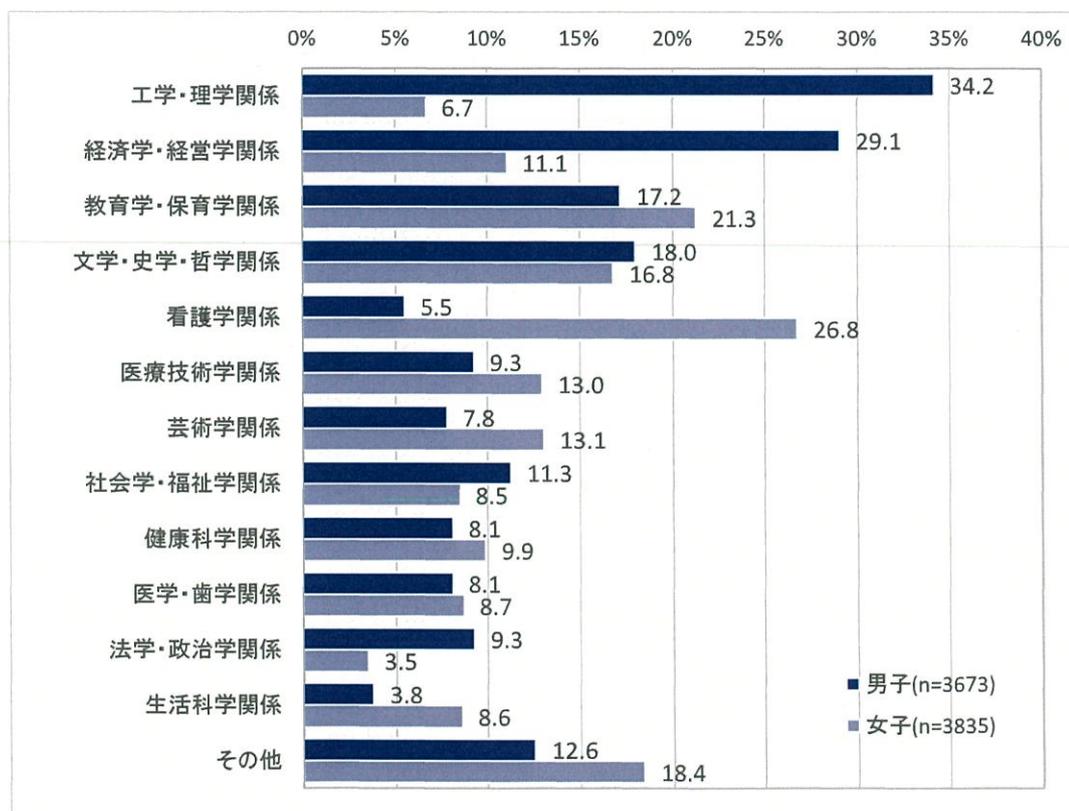


● クロス集計（男女別）

希望分野は男女で大きな差があり、男子では「工学・理学関係」「経済学・経営学関係」が約30%と高いのに対し、女子では「看護学関係」が30%弱と高い。

		全体	工学・理学関係	経済学・経営学関係	教育学・保育学関係	文学・史学・哲学関係	看護学関係	医療技術学関係	芸術学関係
男子	件	3,673	1,258	1,070	631	661	202	342	288
	%	100.0	34.2	29.1	17.2	18.0	5.5	9.3	7.8
女子	件	3,835	257	427	815	644	1,027	499	502
	%	100.0	6.7	11.1	21.3	16.8	26.8	13.0	13.1

社会学・福祉学関係	健康科学関係	医学・歯学関係	法学・政治学関係	生活科学関係	その他
414	299	296	342	138	463
11.3	8.1	8.1	9.3	3.8	12.6
326	380	332	133	328	707
8.5	9.9	8.7	3.5	8.6	18.4



● クロス集計（エリア別）

参考までに、高校所在エリア別のクロス集計結果を以下に示す。

		全 体	工 学 ・ 理 学 関 係	経 済 学 ・ 経 営 学 関 係	教 育 学 ・ 保 育 学 関 係	文 学 ・ 史 学 ・ 哲 学 関 係	看 護 学 関 係	医 療 技 術 学 関 係	芸 術 学 関 係
大阪府	件	4,559	884	910	850	807	745	486	470
	%	100.0	19.4	20.0	18.6	17.7	16.3	10.7	10.3
その他の エリア	件	2,949	631	587	596	498	484	355	320
	%	100.0	21.4	19.9	20.2	16.9	16.4	12.0	10.9

社 会 学 関 係	社 会 学 ・ 福 祉 学 関 係	健 康 科 学 関 係	医 学 ・ 歯 学 関 係	法 学 ・ 政 治 学 関 係	生 活 科 学 関 係	そ の 他
	446	415	395	295	274	746
	9.8	9.1	8.7	6.5	6.0	16.4
	294	264	233	180	192	424
	10.0	9.0	7.9	6.1	6.5	14.4

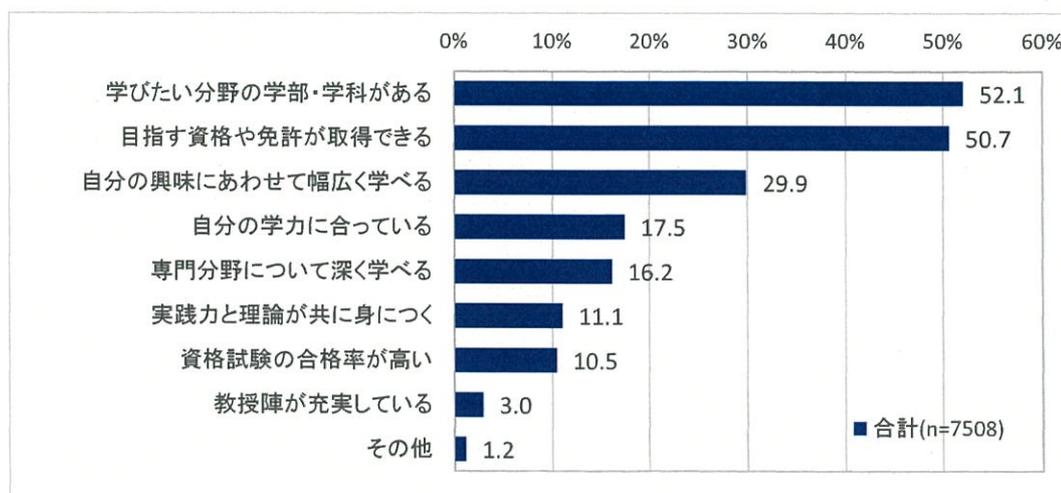
(3) 進学先決定の際、「教育面」で重視する条件

大学・短期大学・専門学校への進学を検討している高校2年生に対し、進学先を決定する際に「教育面」で重視する条件を2つまで尋ねた。すると、「学びたい分野の学部・学科がある」「目指す資格や免許が取得できる」の2つが特に高く、50%以上に上った。

条件	件数	%
全体	7,508	100.0
学びたい分野の学部・学科がある	3,908	52.1
目指す資格や免許が取得できる	3,810	50.7
自分の興味にあわせて幅広く学べる	2,245	29.9
自分の学力に合っている	1,316	17.5
専門分野について深く学べる	1,219	16.2
実践力と理論が共に身につく	833	11.1
資格試験の合格率が高い	785	10.5
教授陣が充実している	225	3.0
その他	91	1.2

※「その他」・・・「教員のレベルの高さ」など。

※54件が無回答である。

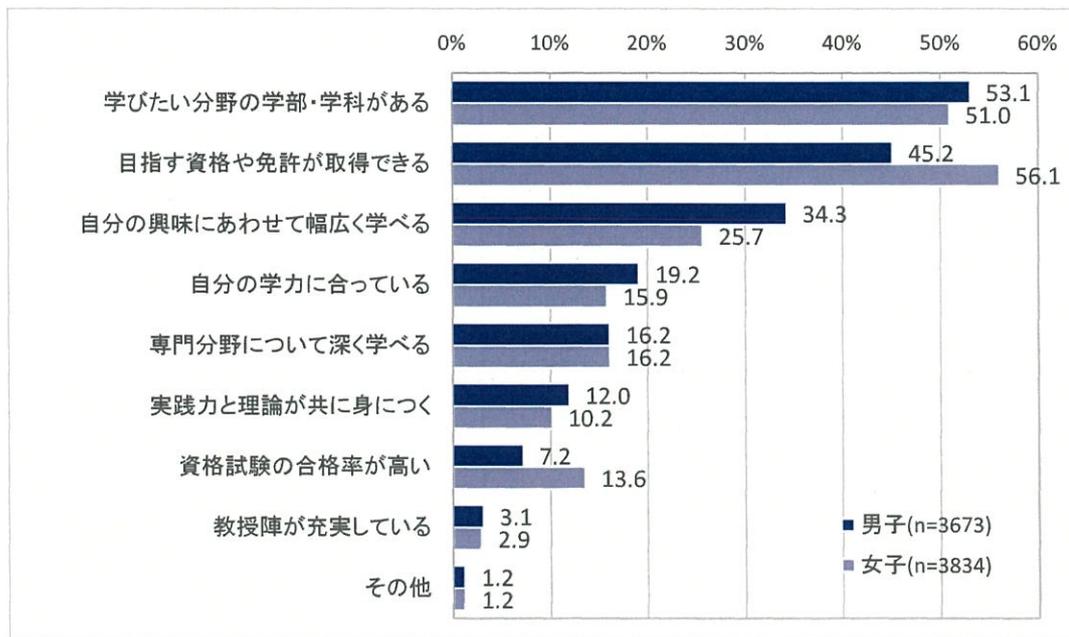


● クロス集計（男女別）

男女別にみると、男子で最も高いのは「学びたい分野の学部・学科がある」に対し、女子では「目指す資格や免許が取得できる」となっている。同じく女子では「資格試験の合格率が高い」も男子より6ポイント以上高く、資格取得志向の高さがうかがえる。

	全体	学びたい分野の学部・学科がある	目指す資格や免許が取得できる	自分の興味にあわせて幅広く学べる	自分の学力に合っている	専門分野について深く学べる	実践力と理論が共に身につく	資格試験の合格率が高い	教授陣が充実している	その他
男子	件 3,673 % 100.0	1,950 53.1	1,660 45.2	1,261 34.3	705 19.2	596 16.2	442 12.0	263 7.2	115 3.1	45 1.2
女子	件 3,834 % 100.0	1,957 51.0	2,150 56.1	984 25.7	611 15.9	623 16.2	391 10.2	522 13.6	110 2.9	46 1.2

※男女別の回答は、1件が性別無回答のため、全体数が少なくなっている。



● クロス集計（エリア別）

参考までに、高校所在エリア別のクロス集計結果を以下に示す。

		全 体	学 び たい 分 野 の 学 部 ・ 学 科 が あ る	目 指 す 資 格 や 免 許 が 取 得 で き る	自 分 の 興 味 に あ わ せ て 幅 広 く 学 べ る	自 分 の 学 力 に 合 っ て い る	専 門 分 野 に つ い て 深 く 学 べ る	実 践 力 と 理 論 が 共 に 身 に つ く	資 格 試 験 の 合 格 率 が 高 い	教 授 陣 が 充 実 し て い る	そ の 他
大阪府	件	4,560	2,323	2,309	1,399	776	735	507	497	109	64
	%	100.0	50.9	50.6	30.7	17.0	16.1	11.1	10.9	2.4	1.4
その他の エリア	件	2,948	1,585	1,501	846	540	484	326	288	116	27
	%	100.0	53.8	50.9	28.7	18.3	16.4	11.1	9.8	3.9	0.9

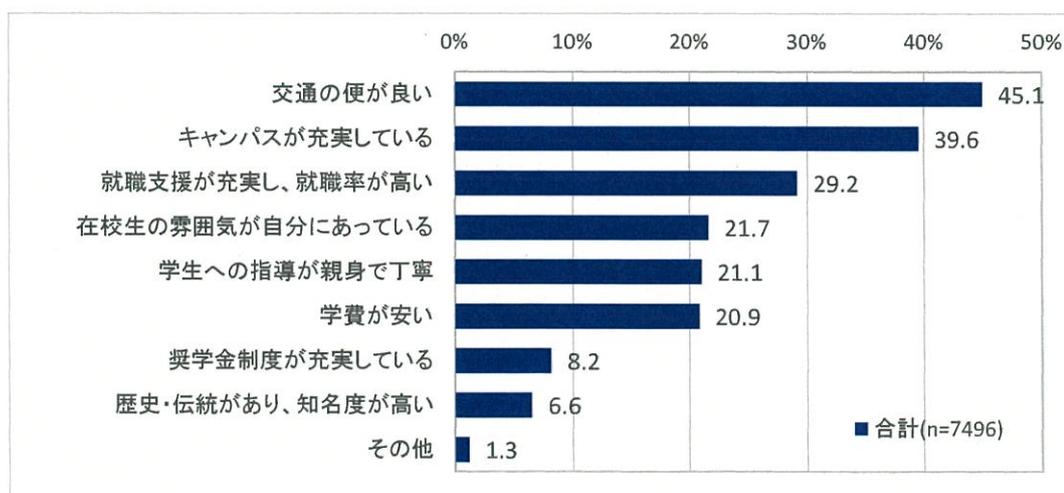
(4) 進学先決定の際、「環境・支援面」で重視する条件

大学・短期大学・専門学校への進学を検討している高校2年生に対し、進学先を決定する際に「環境・支援面」で重視する条件を2つまで尋ねた。すると、最も高いのは「交通の便が良い」であった(45.1%)。次が「キャンパスが充実している」39.6%である。

問6 あなたは、進学先を決定する際に「環境・支援面」で重視する条件について、次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。	件数	%
全 体	7,496	100.0
交通の便が良い	3,377	45.1
キャンパスが充実している	2,969	39.6
就職支援が充実し、就職率が高い	2,186	29.2
在校生の雰囲気自分が自分にあっている	1,628	21.7
学生への指導が親身で丁寧	1,583	21.1
学費が安い	1,565	20.9
奨学金制度が充実している	612	8.2
歴史・伝統があり、知名度が高い	491	6.6
その他	94	1.3

※「その他」・・・「実習をしっかり受けられる」「設備が綺麗」など。

※66件が無回答である。

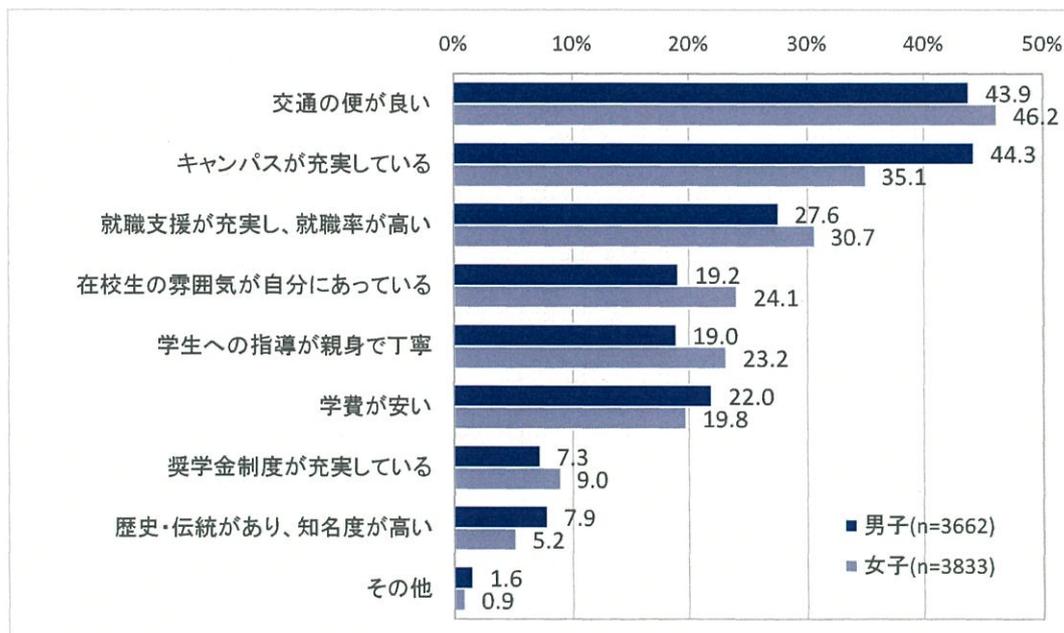


● クロス集計（男女別）

男女別にみると、男子では「交通の便が良い」「キャンパスが充実している」の2つが40%強と高いのに対し、女子では「交通の便が良い」が特に高かった（46.2%）。

	全体	交通の便が良い	キャンパスが充実している	就職支援が充実し、就職率が高い	在校生の雰囲気自分にあってる	学生への指導が親身で丁寧	学費が安い	奨学金制度が充実している	歴史・伝統があり、知名度が高い	その他
男子	件 3,662 % 100.0	1,608 43.9	1,623 44.3	1,010 27.6	704 19.2	695 19.0	806 22.0	266 7.3	291 7.9	60 1.6
女子	件 3,833 % 100.0	1,769 46.2	1,345 35.1	1,176 30.7	924 24.1	888 23.2	759 19.8	346 9.0	200 5.2	34 0.9

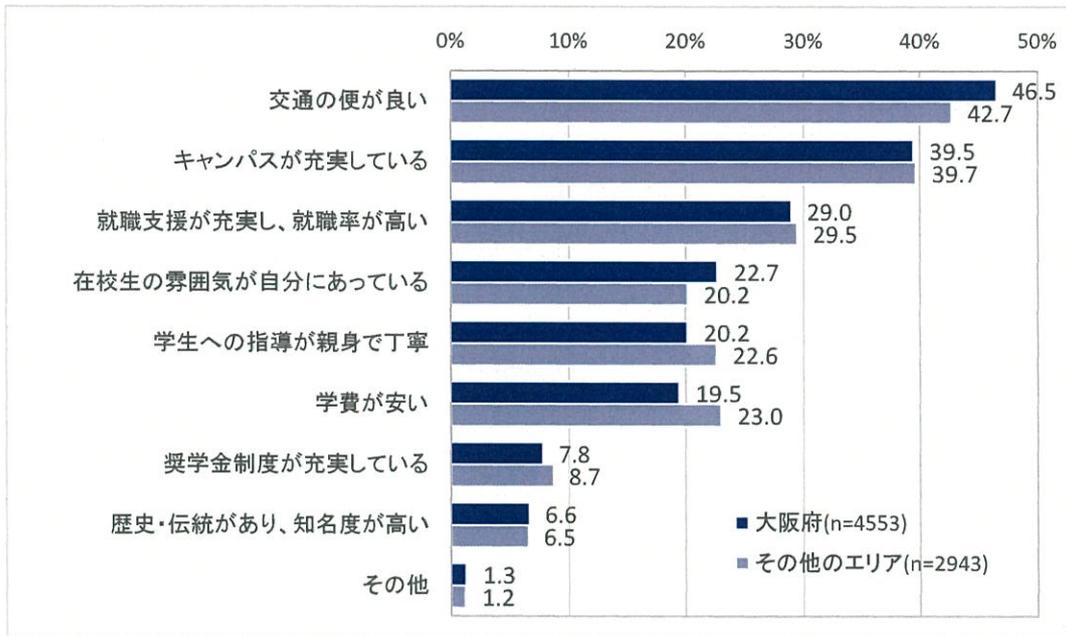
※男女別の回答は、1件が性別無回答のため、全体数が少なくなっている。



● クロス集計（エリア別）

大阪府では「交通の便が良い」がその他のエリアより約4ポイント高かった。

	全体	交通の便が良い	キャンパスが充実している	就職支援が充実し、就職率が高い	在校生の雰囲気自分にあっている	学生への指導が親身で丁寧	学費が安い	奨学金制度が充実している	歴史・伝統があり、知名度が高い	その他
大阪府	件 4,553	2,119	1,800	1,319	1,034	919	888	357	299	60
	% 100.0	46.5	39.5	29.0	22.7	20.2	19.5	7.8	6.6	1.3
その他のエリア	件 2,943	1,258	1,169	867	594	664	677	255	192	34
	% 100.0	42.7	39.7	29.5	20.2	22.6	23.0	8.7	6.5	1.2



4. 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）について

(1) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）への受験意向

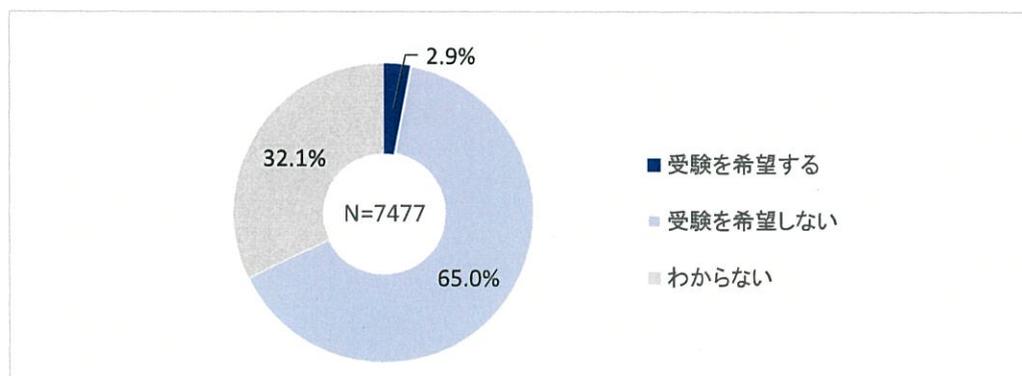
大学・短期大学・専門学校への進学を検討している高校2年生に対し、本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）への受験意向を尋ねた。すると、「受験を希望する」が214名 2.9%であった。

次の設問からは、別紙リーフレットもあわせてご覧になって、ご回答してください。

問7 あなたは、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）が設置された場合、受験を希望しますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	7,477	100.0
受験を希望する	214	2.9
受験を希望しない	4,860	65.0
わからない	2,403	32.1

※85件が無回答である。



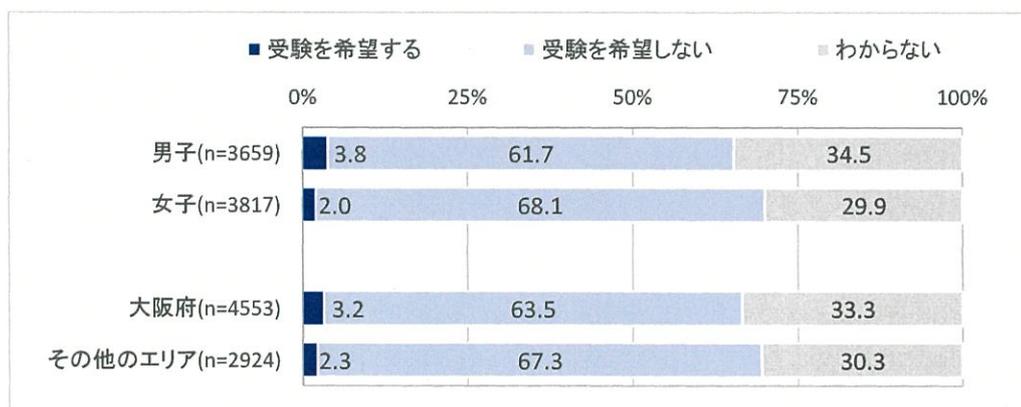
● クロス集計（男女別・エリア別）

「受験を希望する」は、男子では139名 3.8%、女子では75名 2.0%である。

また、高校所在エリア別にみると、大阪府では146名 3.2%、その他のエリアで68名 2.3%。

		全 体	受 験 を 希 望 す る	受 験 を 希 望 し ない	わ か ら な い
男 女 別	男子	件	139	2,258	1,262
		%	3.8	61.7	34.5
	女子	件	75	2,601	1,141
		%	2.0	68.1	29.9
エ リ ア 別	大阪府		146	2,891	1,516
			3.2	63.5	33.3
	その他のエリア		68	1,969	887
			2.3	67.3	30.3

※男女別の回答は、1件が性別無回答のため、全体数が少なくなっている。



(2) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）への進学意向

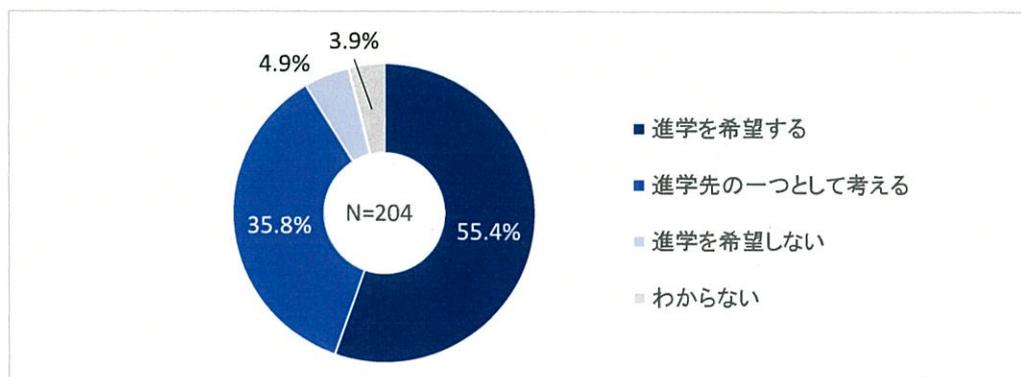
大学・短期大学・専門学校へ進学を検討しており、問7で本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）への「受験を希望する」と回答した高校2年生に対し、本学への進学意向を尋ねた。すると「進学を希望する」が113名55.4%であった。「進学先の一つとして考える」は73名35.8%であり、計186名91.2%の高校2年生が本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）へ進学したい・進学先の一つとして考えるという意向を持っていることがわかった。

以降では、問7で「1.受験を希望する」を選択した方におたずねします。

問8 あなたは、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に進学を希望しますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	204	100.0
進学を希望する	113	55.4
進学先の一つとして考える	73	35.8
進学を希望しない	10	4.9
わからない	8	3.9

※10件が無回答である。

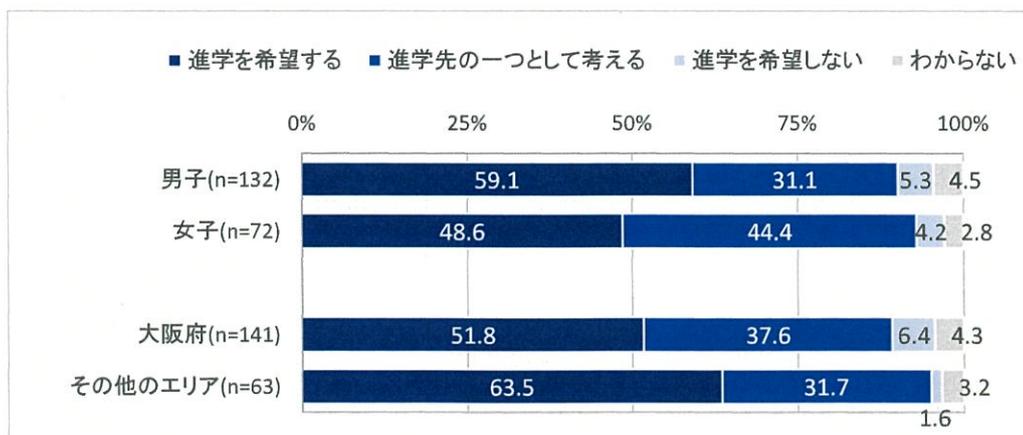


● クロス集計（男女別・エリア別）

男女別では、男子の方が「進学を希望する」割合が高く、59.1%。ただし、女子も48.6%とほぼ半数が本学への進学を希望しており、「進学先の一つとして考える」（44.4%）を合わせた割合は、男子よりも高い。

また高校所在エリア別では、その他のエリアの方が「進学を希望する」割合が高く、63.5%に上った。

		全体	進学を希望する	進学先の一つとして考える	進学を希望しない	わからない
男女別	男子	件 132	78	41	7	6
		% 100.0	59.1	31.1	5.3	4.5
	女子	件 72	35	32	3	2
		% 100.0	48.6	44.4	4.2	2.8
エリア別	大阪府	件 141	73	53	9	6
		% 100.0	51.8	37.6	6.4	4.3
	その他のエリア	件 63	40	20	1	2
		% 100.0	63.5	31.7	1.6	3.2



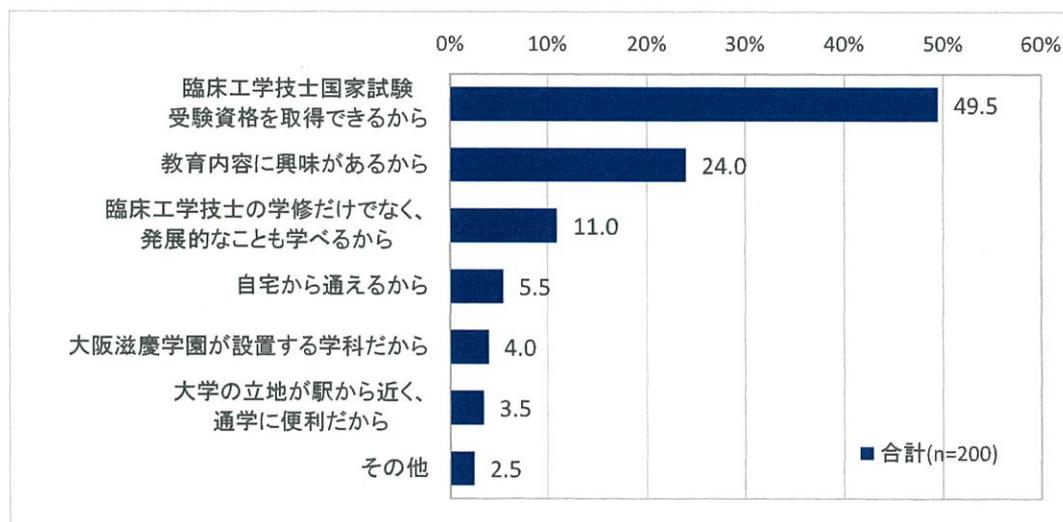
(3) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）受験・入学へ関心を持った理由

本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に「受験を希望する」と回答した高校2年生に対して、本学の受験・入学に関心を持った理由を尋ねた。すると「臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから」が特に高く、約50%であった。次に「教育内容に興味があるから」「臨床工学技士の学修だけでなく、発展的なことも学べるから」と続く。

	件数	%
全体	200	100.0
臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから	99	49.5
教育内容に興味があるから	48	24.0
臨床工学技士の学修だけでなく、発展的なことも学べるから	22	11.0
自宅から通えるから	11	5.5
大阪滋慶学園が設置する学科だから	8	4.0
大学の立地が駅から近く、通学に便利だから	7	3.5
その他	5	2.5

※「その他」…「文系でも受験ができるから」など。

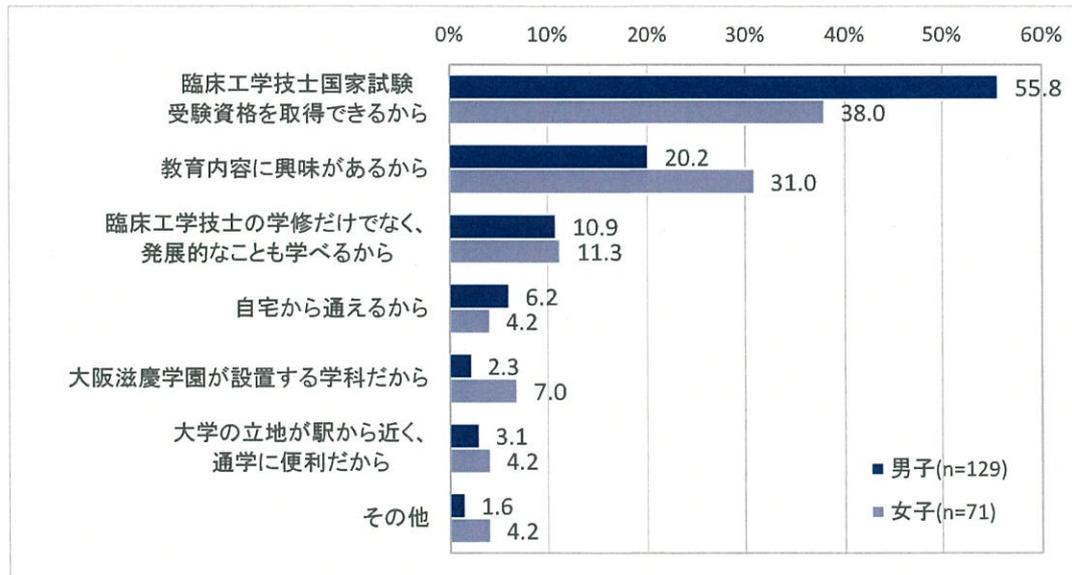
※14件が無回答である。



● クロス集計（男女別）

男子では「臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから」が非常に高く、50%以上に上る。一方女子は、「臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから」と「教育内容に興味があるから」の2つが、30%以上と高い。

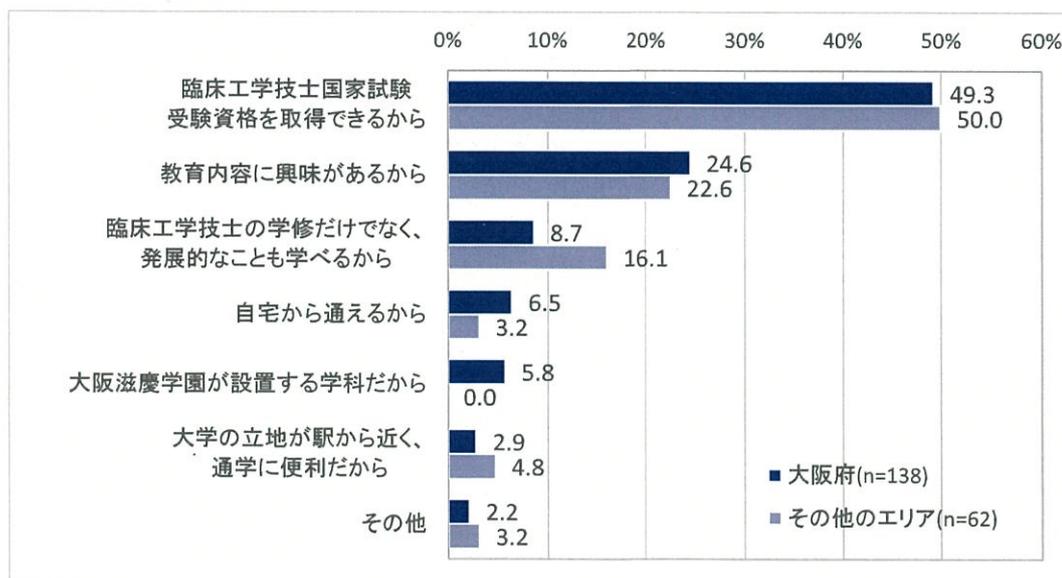
	全体	臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから	教育内容に興味があるから	臨床工学技士の学修だけでなく、発展的なことも学べるから	自宅から通えるから	大阪滋慶学園が設置する学科だから	大学の立地が駅から近く、通学に便利だから	その他
男子	件 129 % 100.0	72 55.8	26 20.2	14 10.9	8 6.2	3 2.3	4 3.1	2 1.6
女子	件 71 % 100.0	27 38.0	22 31.0	8 11.3	3 4.2	5 7.0	3 4.2	3 4.2



● クロス集計（エリア別）

高校所在エリア別にみると、「臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから」の突出した高さには差異がないが、大阪府では「大阪滋慶学園が設置する学科だから」がその他のエリアより約6ポイント高くなっていた。一方、その他のエリアでは、「臨床工学技士の学修だけでなく、発展的なことも学べるから」が大阪府より7ポイント以上高かった。

	全体	臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから	教育内容に興味があるから	臨床工学技士の学修だけでなく、発展的なことも学べるから	自宅から通えるから	大阪滋慶学園が設置する学科だから	大学の立地が駅から近く、通学に便利だから	その他
大阪府	件 138 % 100.0	68 49.3	34 24.6	12 8.7	9 6.5	8 5.8	4 2.9	3 2.2
その他のエリア	件 62 % 100.0	31 50.0	14 22.6	10 16.1	2 3.2	0 0.0	3 4.8	2 3.2



5. まとめ

以上のアンケート調査結果から、本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に対する高校生への入学意向者数を算出し、以下にまとめた。

今回有効な回答を得た全 8,775 件のうち、問 3 で「大学進学（4 年制・6 年制）」「短期大学進学」「専門学校進学」のいずれかに回答した現高校 2 年生は、7,562 名。そのうち、問 7 で本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）が設置された場合「受験を希望する」と回答したのが、214 名。そのうち、問 8 で「進学を希望する」と回答したのは 113 名、「進学先の一つとして考える」と回答したのは 73 名である。

問 3 で「大学進学（4 年制・6 年制）」「短期大学進学」「専門学校進学」のいずれかに回答	
7,562 名	
↓	
問 7 で本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の「受験を希望する」と回答	
214 名	
↓	
問 8 で「進学を希望する」と回答	問 8 で「進学先の一つとして考える」と回答
113 名	73 名

6. 実施高校別回収一覧表

今回、調査協力を得られた高校と回収した件数は下記の通り。(件数には無効回答分を含む)

● 滋賀県 (1校 22件)

留め置き調査 高校名	件数
MIHO美学院中等教育学校	22

● 京都府 (14校 810件)

留め置き調査 高校名	件数
京都精華学園高等学校	72
京都文教高等学校	275
大谷高等学校	139

留め置き調査 高校名	件数
京都明德高等学校	58
京都翔英高等学校	238

ガイダンス会場調査 高校名	件数
京都学園高等学校	2
花園高等学校	2
龍谷大学付属平安高等学校	1
京都市立塔南高等学校	7
洛南高等学校	5

ガイダンス会場調査 高校名	件数
京都西山高等学校	2
北桑田高等学校	5
クラーク記念国際高等学校<京都キャンパス>	1
神村学園高等部 京都学習センター	3

● 大阪府 (63 校 5,187 件)

留め置き調査 高校名	件数
平野高等学校	24
大阪学芸高等学校	680
あべの翔学高等学校	247
大阪信愛学院高等学校	22
常翔学園高等学校	33
プール学院高等学校	36
好文学園女子高等学校	34
明星高等学校	138
興國高等学校	64
今宮工科高等学校	40
英真学園高等学校	63
柴島高等学校	38
大阪高等学校	89
金蘭会高等学校	121
賢明学院高等学校	30
近畿大学泉州高等学校	224
桜塚高等学校	37
梅花高等学校	49
大商学園高等学校	110
北千里高等学校	79
花園高等学校	104
東大阪市立日新高等学校	35
樟蔭高等学校	36
アナン学園高等学校	63
大冠高等学校	69

ガイダンス会場調査 高校名	件数
大阪市立工芸高等学校	1
東大谷高等学校	3
桃山学院高等学校	1
大阪夕陽丘学園高等学校	6
大阪市立南高等学校	4
堺西高等学校	3
泉北高等学校	1

留め置き調査 高校名	件数
守口東高等学校	136
大阪国際滝井高等学校	76
大阪国際大和田高等学校	66
香里丘高等学校	76
春日丘高等学校	153
茨木西高等学校	68
大阪体育大学浪商高等学校	53
八尾高等学校	150
香里ヌヴェール学院高等学校	220
大塚高等学校	115
阪南大学高等学校	191
四條畷学園高等学校	224
太成学院大学高等学校	43
箕面高等学校	54
大阪緑涼高等学校	16
羽衣学園中学・高等学校	343
星翔高等学校	253
りんくう翔南高等学校	115
四天王寺学園高等学校	91
美原高等学校	72
向陽台高等学校	58
クラーク記念国際高等学校 大阪 天王寺キャンパス	79
ルネサンス大阪高等学校	17
星槎国際高等学校<大阪学習セン ター>	17
鹿島朝日高等学校 大阪梅田校	4

ガイダンス会場調査 高校名	件数
大阪商業大学堺高等学校	1
金光大阪高等学校	3
東大阪大学柏原高等学校	2
島本高等学校	1
天王寺学館高等学校	5
八洲学園高等学校 梅田キャンパ ス<通信制>	1

● 兵庫県 (13校 797件)

留め置き調査 高校名	件数
神戸北高等学校	33
神戸弘陵学園高等学校	23
神戸常盤女子高等学校	50
育英高等学校	68
神戸村野工業高等学校	176
神戸星城高等学校	39
神戸商業高等学校	39

留め置き調査 高校名	件数
兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校	40
東洋大学附属姫路高等学校	27
明石南高等学校	31
西宮市立西宮東高等学校	226
鹿島朝日高等学校 姫路校	40
鹿島朝日高等学校 神戸駅前校	5

● 奈良県 (5校 319件)

留め置き調査 高校名	件数
奈良朱雀高等学校	64
西の京高等学校	78
奈良大学附属高等学校	31

留め置き調査 高校名	件数
育英西高等学校	80
磯城野高等学校	66

● 和歌山県 (4校 541件)

留め置き調査 高校名	件数
和歌山商業高等学校	149
和歌山北高等学校 北校舎	72

留め置き調査 高校名	件数
海南市立海南下津高等学校	25
那賀高等学校	295

● 鳥取県 (5校 155件)

留め置き調査 高校名	件数
米子北高等学校	150

ガイダンス会場調査 高校名	件数
鳥取城北高等学校	1
米子南高等学校	1

ガイダンス会場調査 高校名	件数
米子西高等学校	1
米子松蔭高等学校	2

● 島根県 (1校 2件)

ガイダンス会場調査 高校名	件数
松江農林高等学校	2

● 岡山県 (10校 209件)

留め置き調査 高校名	件数
倉敷鷺羽高等学校	32
倉敷翠松高等学校	48
新見高等学校<北校地>	57
備前緑陽高等学校	35

留め置き調査 高校名	件数
鳥城高等学校<定時制>	6
岡山操山高等学校<通信制課程>	12
並木学院高等学校 英数学館 岡山校【サポート校】	6

ガイダンス会場調査 高校名	件数
山陽女子高等学校	5
岡山理科大学附属高等学校	6

ガイダンス会場調査 高校名	件数
明誠学院高等学校	2

● 広島県 (21校 631件)

留め置き調査 高校名	件数
広島県立広島工業高等学校	57
広島市立舟入高等学校	153
福山葦陽高等学校	77
安芸府中高等学校	67

留め置き調査 高校名	件数
山陽女学園高等部	37
広島新庄高等学校	76
世羅高等学校	56

ガイダンス会場調査 高校名	件数
崇徳高等学校	16
広島市立広島工業高等学校	6
広島市立基町高等学校	1
広島商業高等学校	1
福山工業高等学校	1
福山明王台高等学校	6
銀河学院高等学校	1

ガイダンス会場調査 高校名	件数
三原高等学校	13
如水館高等学校	4
尾道商業高等学校	9
賀茂高等学校	34
海田高等学校	6
吉田高等学校	9
戸手高等学校	1

● 香川県 (8校 120件)

留め置き調査 高校名	件数
香川県藤井高等学校	40

留め置き調査 高校名	件数
志度高等学校	55

ガイダンス会場調査 高校名	件数
高松工芸高等学校	3
高松西高等学校	1
英明高等学校	1

ガイダンス会場調査 高校名	件数
坂出第一高等学校	12
飯山高等学校	4
琴平高等学校	4

7. 調査用リーフレット・調査票

大阪滋慶学園のDNAを継いで 医療科学部 臨床工学科(仮称) 滋慶医療科学大学(改称予定)

2021年4月 学部設置予定(編入中)

設置の理念
滋慶医療科学大学では、様々な変化が予測される我が国の今後の医療、地域社会の発展に貢献するため、豊かな専門分野の能力を養い、かつ、次世代の医療に必要とされる「実習・スピリット」を備えた医師の養成を目的として、新たな学部を創設します。
※現在の「滋慶医療科学大学大学院」は「滋慶医療科学大学」に改称予定。

養成する人物像
社会に貢献する姿勢を持つとともに、いのちの健康を担い、患者と人間、医療機器を橋渡しする人財
① 基礎として医学と工学・情報・福祉チームの一員として専門能力を磨ける人財
② 学びの領域を持つとともに、様々な変化に対応した医療・研究や新たな課題を解決・創造する力を育いた人財

入学定員・修業年限 **募集学部・学科** 1学年定員(予定)より、定定による場合があります。

学部/学科	入学	修業年	卒業修得単位数
医療科学部 臨床工学科(仮称)	200,000円	1,400,000円	1,500,000円

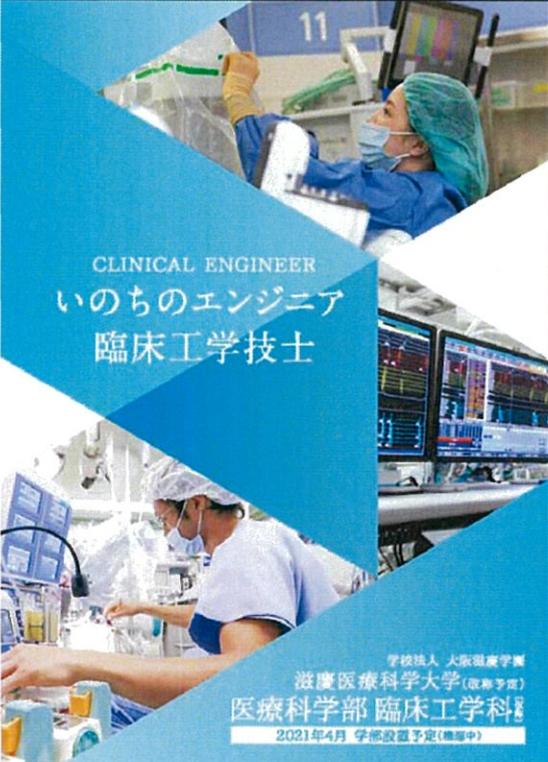
近隣の類似する大学

大学/学部	入学	修業年	卒業修得単位数
山形大学(大宮校)	250,000円	1,550,000円	1,800,000円
京都大学(大宮校)	250,000円	1,600,000円	1,850,000円
群馬大学(大宮校)	300,000円	1,500,000円	1,800,000円

**通学に便利な、
新大阪「駅チカ」
キャンパス**

- 近鉄大塚駅より徒歩10分(徒歩10分)
- 大塚駅より徒歩10分(徒歩10分)

TEL: 06-6394-1617 URL: <https://www.jpjac.ac.jp>
〒533-0003 大阪府吹田市大塚1-1-1(新大阪駅前)



CLINICAL ENGINEER いのちのエンジニア 臨床工学技士

学校法人 大阪滋慶学園
滋慶医療科学大学(改称予定)
医療科学部 臨床工学科
2021年4月 学部設置予定(編入中)

いのちを守るスペシャリスト 未来の医療を変えるエンジニア

Check 01
**あなたもなれる
いのちのエンジニア**
臨床工学技士になるためには、専門的な知識・技術を習得していることに加え、社会に貢献する姿勢を持つ、物の価値を理解できる豊かな人間性が必要です。チーム医療の一員として、患者の命を守る「いのち」にしっかりと向き合える人材が求められています。あなたも「いのちを守るスペシャリスト」として活躍する機会が広がります。

Check 02
**臨床工学技士って、どんな職業
活躍のフィールドは?**
医療スタッフの職業の一つで、最新クリニックや手術室で医師や看護師と連携し、患者の手術の場内や術中・術後などを行う医療機器のスペシャリスト。医療現場の現場で活躍し、患者の命を守るスペシャリストとして活躍する機会が広がります。また、医療機器メーカーや研究開発機関などへ転職する機会も広がっています。

Check 03
**手術の現場での
機器操作**
手術室や手術室で、人工心臓や人工呼吸器などの医療機器を操作し、患者の命を守るスペシャリストとして活躍する機会が広がります。

Check 04
医療機器の開発
最新の医療機器の開発や、患者の命を守るスペシャリストとして活躍する機会が広がります。

Check 05
**滋慶医療科学大学(改称予定)なら、
0からのスタートで
臨床工学技士を目指せます。**
臨床工学技士になるためには、医学と工学分野の知識が必要となります。滋慶医療科学大学(改称予定)では、医学・化学・工学など幅広い分野の専門知識を習得しているため、入学後は短期間で、安心して臨床工学技士としての活躍を目指せることができます。

学びの特徴

- 1 「臨床工学技士」の国家試験受験資格が取得できる
- 2 医学と工学の基礎から体系的に学べるカリキュラム
- 3 病院や医療機器メーカーなどでの計画的な実習を受けられる
- 4 実経験が豊富な教員から学び、現場に必要な実践力を育める
- 5 データサイエンスなどの関連分野を学び、変化への対応力を養う

就職サポート

独自のきめ細やかな就職サポート
大阪滋慶学園グループ独自のネットワークを活用し、臨床工学技士として大活躍の機会を創出。医療機器メーカーや研究機関などへの就職をサポート。また、医療機器メーカーの下へ一人ひとりの丁寧な就職指導を実施。学生の希望や状況に合わせてサポートしています。

※設置構想中のため掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

**滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の
設置計画に係るアンケート調査（高校2年生対象）**

このアンケート調査は、高校生の皆さんに、高等学校卒業後の進路等についてお聞きし、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の設置計画に関する基礎資料とするためのものです。なお、このアンケートの結果は、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。
以下の質問に、別紙のリーフレットをご覧の上お答えくださいますよう、ご協力お願いいたします。

問1 あなたの、高校名について教えてください。
右の解答欄にご記入ください。

高等学校

問2 あなたの、性別について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。.....▶

- 1 男性 2 女性

--

問3 あなたは、高校卒業後、どのような進路をお考えですか。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。.....▶

- | | |
|-----------------|-----------------------------------|
| 1 大学進学（4年制・6年制） | 4 就職 |
| 2 短期大学進学 | 5 その他（具体的に ） |
| 3 専門学校進学 | |

--

問4以降は、問3で1、2、3のいずれかを選択した方におたずねします。
問3で4、5を選択した方は、これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問4 あなたが、高校卒業後に進学をする場合、どの分野を希望されますか。
次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。.....▶

- | | |
|--------------|------------------------------------|
| 1 文学・史学・哲学関係 | 8 看護学関係 |
| 2 教育学・保育学関係 | 9 医療技術学関係 |
| 3 法学・政治学関係 | 10 健康科学関係 |
| 4 社会学・福祉学関係 | 11 芸術学関係 |
| 5 経済学・経営学関係 | 12 生活科学関係 |
| 6 工学・理学関係 | 13 その他（具体的に ） |
| 7 医学・歯学関係 | |

問5 あなたは、進学先を決定する際に「教育面」で重視する条件について、
次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。.....▶

- | | |
|--------------------|-----------------------------------|
| 1 目指す資格や免許が取得できる | 6 実践力と理論が共に身につく |
| 2 学びたい分野の学部・学科がある | 7 自分の学力に合っている |
| 3 専門分野について深く学べる | 8 資格試験の合格率が高い |
| 4 自分の興味にあわせて幅広く学べる | 9 その他（具体的に ） |
| 5 教授陣が充実している | |

問6 あなたは、進学先を決定する際に「環境・支度面」で重視する条件について、次の中から、二つまで選んで、回答欄に番号を記入してください。.....▶

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 キャンパスが充実している | 6 学生への指導が親身で丁寧 |
| 2 交通の便が良い | 7 奨学金制度が充実している |
| 3 在校生の雰囲気自分があっている | 8 学費が安い |
| 4 歴史・伝統があり、知名度が高い | 9 その他（具体的に) |
| 5 就職支援が充実し、就職率が高い | |

～次の設問からは、別紙リーフレットもあわせてご覧になって、ご回答してください～

問7 あなたは、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）が設置された場合、受験を希望しますか。次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。.....▶

- 1 受験を希望する
- 2 受験を希望しない
- 3 わからない

問8以降は、問7で1を選択した方におたずねします。
問7で2、3を選択した方はこれでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

問8 あなたは、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に合格した場合、進学を希望しますか。次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。.....▶

- 1 進学を希望する
- 2 進学先の一つとして考える
- 3 進学を希望しない
- 4 わからない

問9 あなたが、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の受験・入学に関心を持った理由について教えてください。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。.....▶

- 1 臨床工学技士国家試験受験資格を取得できるから
- 2 教育内容に興味があるから
- 3 臨床工学技士の学修だけでなく、データサイエンスなどの発展的なことも学べるから
- 4 長年の専門学校教育の実績がある大阪滋慶学園が設置する学科だから
- 5 大学の立地が駅から近く、通学に便利だから
- 6 自宅から通えるから
- 7 その他（具体的に)

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の 人材需要に関するアンケート調査

このアンケート調査は、採用のご責任者・ご担当者様からご意見をお伺いし、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の設置計画に関する基礎資料とするためのものです。なお、このアンケートの結果は、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。以下の質問に、別紙の概要及びリーフレットをご覧になってお答えくださいますようお願いいたします。

(注) このアンケート用紙は、医療施設様、医療機器等関連企業様で共通の様式となっており、設問では「貴施設、貴社」と並列で表現させていただいております。医療施設等を有する「法人」様において回答される場合、法人様で複数の医療施設等を有されるときは、回答の対象は法人全体あるいは特定の病院等のいずれでもかまいません。
医療機器等関連企業様におかれても、同様にお考えください（企業全体あるいは事業所等の単位）

問1 はじめに、貴施設又は貴社（支社、事業所等を含む）の事業内容を教えてください。
次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

- 1 医療施設（病院、診療所・クリニック）
- 2 医療機器関連企業（製造・流通等）
- 3 その他（具体的に： _____）

問2 貴施設・貴社の所在地の都道府県について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

- | | | | |
|-------|--------|--------|----------------|
| 1 滋賀県 | 5 奈良県 | 9 岡山県 | 13 香川県 |
| 2 京都府 | 6 和歌山県 | 10 広島県 | 14 愛媛県 |
| 3 大阪府 | 7 鳥取県 | 11 山口県 | 15 高知県 |
| 4 兵庫県 | 8 島根県 | 12 徳島県 | 16 その他（ _____） |

問3 貴施設・貴社の職員数・従業員数について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 50名未満
- 2 50名～99名
- 3 100名～499名
- 4 500名～999名
- 5 1,000名～4,999名
- 6 5,000名以上

問4 貴施設・貴社の過去3カ年の平均的な臨床工学技士の採用数について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用なし
- 2 1名
- 3 2名
- 4 3名
- 5 4名
- 6 5名以上（具体的に： _____ 名程度）

問5 貴施設・貴社における臨床工学技士の充足状況について、お尋ねいたします。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 充足している
- 2 現行の業務量に対して不足している
- 3 現状は不足ではないが、増員等を図りたい
- 4 現状は不足ではないが、しばしば欠員等の補充が発生する
- 5 特に臨床工学技士は必要としていない
- 6 その他（具体的に： _____）

お手数ですが、ご回答後、下記まで FAX で送信ください。

FAX 送信先：06-6399-0666

株式会社日本ドリコム 関西支社 担当：藤谷

問6 貴施設・貴社において、新卒の臨床工学技士の採用をする場合、重視する点を教えてください。
次の中から、優先順位の高いものを二つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 学校の学修の成果として臨床工学技士としての専門的知識・技術をしっかりと身につけている
- 2 潜在力・成長性に優れていると見込まれ、将来的に伸び代が大きいと見込まれる
- 3 専門分野以外のことにも広く知識を有し、柔軟な思考を有している
- 4 医療分野の仕事、臨床工学技士の仕事に対し意欲や熱意を持っている
- 5 協調性があり、常識的な振る舞いができ、チームの中での確に働く能力を有している
- 6 仕事に対して、粘り強く、まじめかつ意欲的に取り組むことが期待できる
- 7 その他（具体的に： _____）

問7 滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生の採用について、
どのようにお考えになりますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したいと思う
- 2 採用したいと思わない

問8 問7で「1 採用したいと思う」とお答えになった方にお伺いします。
滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生の採用人数について、
毎年何名程度の採用を想定されますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1名
- 2 2名
- 3 3名以上
- 4 1名以上だが人数は未定
- 5 わからない

問9 滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に対するご意見・ご要望などをご自由にお書きください。

◇差し支えなければ、貴施設又は貴社の名称をお教えてください。（任意）

ご協力ありがとうございました。

大阪滋慶学園のDNAを継いで
医療科学部 臨床工学科(仮称)
 滋慶医療科学大学(改称予定)

2021年4月 学部設置予定(構想中)

／ 設置の理念 ／

滋慶医療科学大学では、様々な変化が予想される我が国の今後の医療、地域社会の発展に貢献するため、確かな専門分野の能力を備えるとともに、未来の多様な変化に対応していく素養・スピリットを備えた医療人の養成を目的として、新たな学部を設置します。

※現在の「滋慶医療科学大学大学院」を「滋慶医療科学大学」に改称予定。

／ 養成する人物像 ／

- ▷ 社会に貢献する意欲を持つとともに、いのちの尊厳を理解し、豊かな人間性、倫理観、責任感を備えた人材
- ▷ 医療職として必要な知識・技能を身につけ、保健・医療・福祉チームの一員として専門能力を発揮できる人材
- ▷ 学びの意欲を持つとともに、様々な変化に対応した改善・革新や新たな価値を開発・創造する力を備えた人材

入学定員・修業年限

80名
 (男女共学)・4年 ※予定

募集学部・学科 下記金額は予定であり、変更になる場合があります。

学部・学科	入学金	授業料等	初年度納付金合計
医療科学部 臨床工学科(仮称)	200,000円	1,400,000円	1,600,000円

近隣の類似する大学

大学名	学部・学科名	入学金	授業料等	初年度納付金合計
森ノ宮医療大学(大阪府)	保健医療学部 臨床工学科	250,000円	1,550,000円	1,800,000円
藍野大学(大阪府)	医療保健学部 臨床工学科	250,000円	1,600,000円	1,850,000円
姫路獨協大学(兵庫県)	医療保健学部 臨床工学科	300,000円	1,500,000円	1,800,000円

※他大学の掲載内容は、2019年7月時点において、各大学のホームページで確認できた金額であり、変更となる場合があります。



通学に便利な、
新大阪“駅チカ”
 キャンパス

- JR「新大阪駅」から1階正面口を出て徒歩3分
- 大阪メトロ「新大阪」駅から2番出口を出て徒歩2分

TEL:06-6394-1617 URL <https://www.jmpu.ac.jp>
 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-8(新大阪駅前)

CLINICAL ENGINEER
 いのちのエンジニア
臨床工学技士



学校法人 大阪滋慶学園
 滋慶医療科学大学(改称予定)
医療科学部 臨床工学科(仮称)
 2021年4月 学部設置予定(構想中)

いのちを守るスペシャリスト 未来の医療を変えるエンジニア

Check.01

あなたもなれる いのちのエンジニア

臨床工学技士に求められるのは、専門的な知識・技術に精通していることはもちろん、社会に貢献する意欲を持ち、命の尊厳が理解できる豊かな人間性の持ち主です。チーム医療の一員として、機器の先にある「いのち」としっかり向き合える人材が必要とされています。あなたの「**医療に貢献したい**」という思いがあれば、**文系・理系に関係なく活躍できる仕事**です。

\ 文系・理系ともに活躍できる /



文系

理系

Check.03

滋慶医療科学大学(改称予定)なら、 0からのスタートで 臨床工学技士を目指せます。

臨床工学技士になるためには、医学と工学分野の知識が必要となります。滋慶医療科学大学(改称予定)では数学・物理・化学など理系科目の入門授業を設けているので、入学後は段階的に、そして着実に臨床工学技士としての知識を身につけることができます。

/ 学びの特徴 /

- 1 「臨床工学技士」の国家試験受験資格が取得できる
- 2 医学と工学の基礎から体系的に学べるカリキュラム
- 3 病院や医療機器メーカーなどでの計画的な実習を受けられる
- 4 実経験が豊富な教員から学び、現場に必要な実践力を育める
- 5 データサイエンスなどの関連分野を学び、変化への対応力を養う

/ 就職サポート /

独自のきめ細やかな就職サポート

大阪滋慶学園グループ独自の業界ネットワークを活用し、臨床工学技士として大学病院や総合病院へ、医療機器開発エンジニアとして医療機器関連メーカーなどへの就職を目指します。長年にかけて構築してきた就職指導システムの下、一人ひとりへの丁寧な就職指導を展開。学生の希望する就職の実現までをサポートしていきます。

\ 独自の業界ネットワークを活用 /



※設置構想中のため掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

医療機器の操作・メンテナンス



大学病院



透析クリニック



総合病院

医療機器の開発・研究



医療機器メーカー

Check.02

臨床工学技士って、どんな職業？ 活躍のフィールドは？

医療スタッフの職業の一つで、透析クリニックや手術室で医師や看護師と連携し、生命維持装置の操作や保守・点検などを行う医療機器のスペシャリスト。医療技術の発展や超高齢社会に伴い、今後ますます活躍が期待されている職業です。大学病院や総合病院などの**医療機関**をはじめ、**医療機器関連企業**や**研究所**などへ幅広く活躍の場が広がっており、機器開発・研究などの仕事も増加しています。

手術の現場での 機器操作

手術室や集中治療室で、人工心肺装置など生命維持に関わる様々な医療機器の操作に携わります。



人工透析

腎不全により低下した腎臓の機能を人工的に補う「人工透析」も臨床工学技士の代表的な業務。



医療機器の管理

病院内の医療機器の点検やメンテナンスを行い、安全性の確保と有効性の維持に貢献します。



医療機器の開発

医療と工学の高度な専門知識を生かして、新たな医療機器の製品開発に携わり、医療技術の発展に貢献しています。



滋慶医療科学大学
医療科学部 臨床工学科(仮称)
受容性調査結果報告書
<医療施設・企業対象>

株式会社日本ドリコム

2020年2月

目次

1. 人材需要に関する調査概要	2
(1) 調査・目的.....	2
(2) 調査期間.....	2
(3) 調査対象及び調査方法.....	2
(4) 回収状況.....	2
(5) 本報告書について.....	2
2. 回答があった施設の属性	3
(1) 業種.....	3
(2) 所在地（都道府県）.....	3
(3) 従業員数・職員数の規模.....	5
3. 臨床工学技士の採用状況	6
(1) 過去3ヵ年の臨床工学技士の平均採用数.....	6
(2) 臨床工学技士の人材充足状況.....	9
(3) 採用の際、重視する点.....	12
4. 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）について	14
(1) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の採用について.....	14
(2) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）卒業生の採用人数想定.....	16
(3) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）へのご意見・ご要望.....	18
(4) まとめ.....	19
5. 調査用リーフレット・調査票	20

1. 人材需要に関する調査概要

(1) 調査・目的

本調査は、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科(仮称)の設置計画に伴い、該当学科の卒業生の就職先として想定される医療施設とともに、今後の就職の増大が期待される医療機器関連企業へ本計画に対する関心度及び現在の採用状況を尋ね社会的ニーズを把握し、新設構想の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査期間

2019年11月～2020年1月

(3) 調査対象及び調査方法

調査対象は、医療施設については、大阪を中心として近畿地域、さらには中四国、中京・北陸地域まで含め、地域ごとに病床規模等により選定した。医療機器関連企業については、医療機器に関連する団体等の会員等を参照とし、近畿圏に事業所等のある企業を中心に選定したが、本社の所在地が東京である場合が多いため、住所は東京が多くなっている。

以上により、医療施設 465 施設、医療機器関連企業 150 社、合わせて 615 箇所を選定し、調査を依頼した。

調査方法は、調査対象先の人事・採用担当者宛に、依頼状及びアンケート用紙を送付した。ご協力いただける場合の回答は、FAX による返送とした。

なお、調査実施に際して、新設学科に関する設置計画の概要を記載したリーフレットを添付した。

(4) 回収状況

147 件 (回収率 23.9%)

(5) 本報告書について

次ページより、大学のことは、滋慶医療科学大学もしくは「本学」と表記している。

なお、無回答は集計対象外とした。

2. 回答があった施設の属性

(1) 業種

問1 はじめに、貴施設又は貴社（支社、事業所等を含む）の事業内容を教えてください。次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	147	100.0
医療施設（病院・診療所・クリニック）	119	81.0
医療機器関連企業（製造・流通等）	25	17.0
その他	3	2.0

※「その他」・・・「製造業（自動車部品、建設機械部品、産業機械向け油圧部品の製造）」「機器メンテナンス」「認証審査、QMS他」

(2) 所在地（都道府県）

問2 貴施設・貴社の所在地の都道府県について教えてください。次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	147	100.0
大阪府	52	35.4
兵庫県	18	12.2
京都府	15	10.2
滋賀県	12	8.2
奈良県	5	3.4
和歌山県	5	3.4
広島県	3	2.0
島根県	2	1.4
岡山県	2	1.4
徳島県	2	1.4
愛媛県	2	1.4
高知県	2	1.4
鳥取県	1	0.7
山口県	1	0.7
香川県	1	0.7
その他	24	16.3

※「その他」・・・「北海道」「東京都」「神奈川県」「埼玉県」「長野県」「愛知県」「岐阜県」「三重県」「富山県」「福井県」

● クロス集計（業種別）

業種別にクロス集計を行ったところ、下記の結果となった。

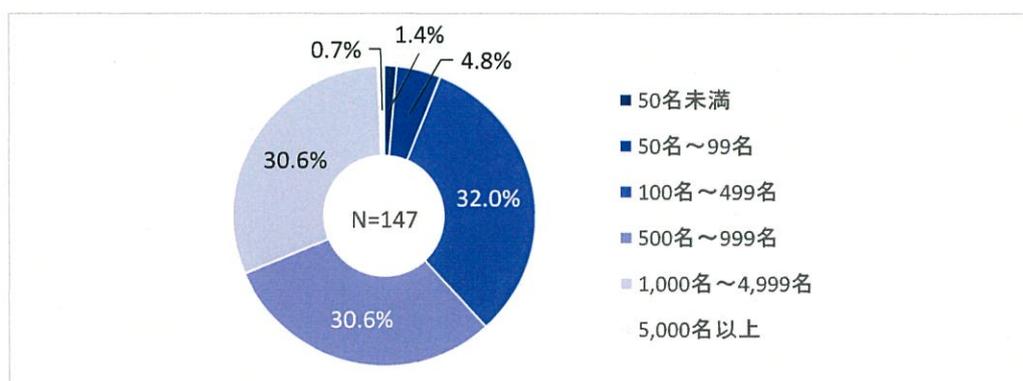
		全 体	大 阪 府	兵 庫 県	京 都 府	滋 賀 県	奈 良 県	和 歌 山 県	広 島 県	島 根 県
医療施設	件	119	41	16	14	11	4	5	2	2
	%	100.0	34.5	13.4	11.8	9.2	3.4	4.2	1.7	1.7
医療機器関連 企業・他	件	28	11	2	1	1	1	0	1	0
	%	100.0	39.3	7.1	3.6	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0

岡 山 県	徳 島 県	愛 媛 県	高 知 県	鳥 取 県	山 口 県	香 川 県	そ の 他
1	2	2	2	1	1	1	14
0.8	1.7	1.7	1.7	0.8	0.8	0.8	11.8
1	0	0	0	0	0	0	10
3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.7

(3) 従業員数・職員数の規模

問3 貴施設・貴社の従業員数、職員数について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	147	100.0
50名未満	2	1.4
50名～99名	7	4.8
100名～499名	47	32.0
500名～999名	45	30.6
1,000名～4,999名	45	30.6
5,000名以上	1	0.7



● クロス集計（エリア別・業種別）

エリア別及び業種別にクロス集計を行ったところ、下記の結果となった。

		全 体	5 0 名 未 満	5 0 名 ～ 9 9 名	1 0 0 名 ～ 4 9 9 名	5 0 0 名 ～ 9 9 9 名	1 ,0 0 0 名 ～ 4 ,9 9 9 名	5 ,0 0 0 名 以 上
エリア別	大阪府	件 52	2	3	11	21	15	0
	%	100.0	3.8	5.8	21.2	40.4	28.8	0.0
その他の エリア	件	95	0	4	36	24	30	1
	%	100.0	0.0	4.2	37.9	25.3	31.6	1.1
業種別	医療施設	件 119	1	3	33	44	37	1
	%	100.0	0.8	2.5	27.7	37.0	31.1	0.8
医療機器 関連企業・他	件	28	1	4	14	1	8	0
	%	100.0	3.6	14.3	50.0	3.6	28.6	0.0

3. 臨床工学技士の採用状況

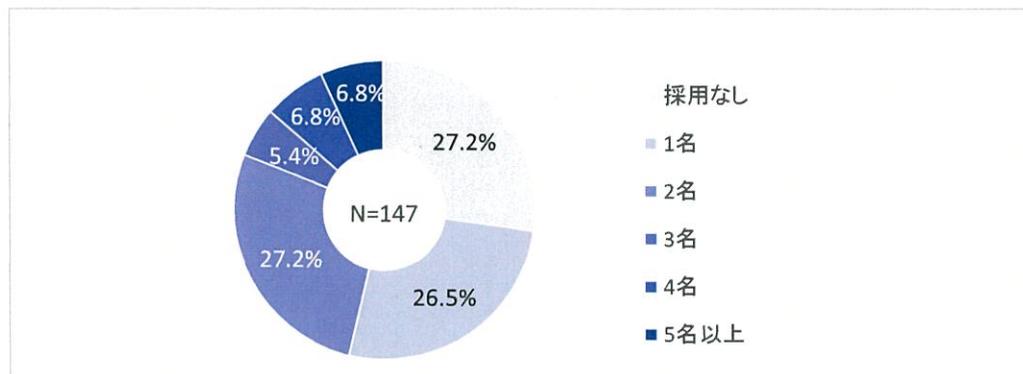
(1) 過去3カ年の臨床工学技士の平均採用数

過去3カ年における、平均的な臨床工学技士の採用数を尋ねた。すると、「採用なし」が27.2%、「1名」が26.5%、「2名」が27.2%だった。

問4 貴施設・貴社の過去3カ年の平均的な臨床工学技士の採用数について教えてください。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	147	100.0
採用なし	40	27.2
1名	39	26.5
2名	40	27.2
3名	8	5.4
4名	10	6.8
5名以上	10	6.8

※「5名以上」の具体的な人数では、「6名」「9名」「10名」「17名」という回答があった。



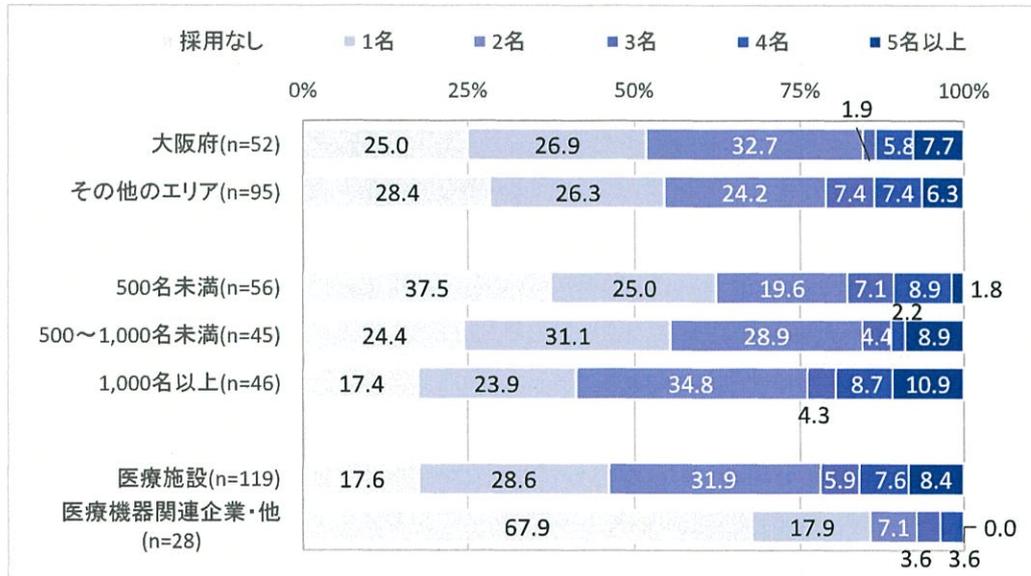
● クロス集計（エリア別・業種別・規模別）

エリア別にみると、大阪府にある施設・会社の方がその他のエリアよりも「採用なし」割合がやや低い（＝採用している割合が高い）。また、「2名」の割合がその他のエリアより8ポイント以上高かった。

施設・会社の規模別では、人数が多くなるほど「採用なし」割合が下がり、1,000名以上の規模では、17.4%にとどまる。施設・会社の規模が500名を超えると、「5名以上」との回答が約10%となった。

また、業種別にみると、医療機器関連企業・他で「採用なし」が67.9%と高い一方、医療施設の「採用なし」は17.6%と低い。医療施設で最も割合が高いのは、「2名」である。

			全 体	採 用 な し	1 名	2 名	3 名	4 名	5 名 以 上
エ リ ア 別	大阪府	件	52	13	14	17	1	3	4
		%	100.0	25.0	26.9	32.7	1.9	5.8	7.7
	その他の エリア	件	95	27	25	23	7	7	6
		%	100.0	28.4	26.3	24.2	7.4	7.4	6.3
規 模 別	500名未満	件	56	21	14	11	4	5	1
		%	100.0	37.5	25.0	19.6	7.1	8.9	1.8
	500～1,000名 未満	件	45	11	14	13	2	1	4
		%	100.0	24.4	31.1	28.9	4.4	2.2	8.9
	1,000名以上	件	46	8	11	16	2	4	5
		%	100.0	17.4	23.9	34.8	4.3	8.7	10.9
業 種 別	医療施設	件	119	21	34	38	7	9	10
		%	100.0	17.6	28.6	31.9	5.9	7.6	8.4
	医療機器関連 企業・他	件	28	19	5	2	1	1	0
		%	100.0	67.9	17.9	7.1	3.6	3.6	0.0



(2) 臨床工学技士の人材充足状況

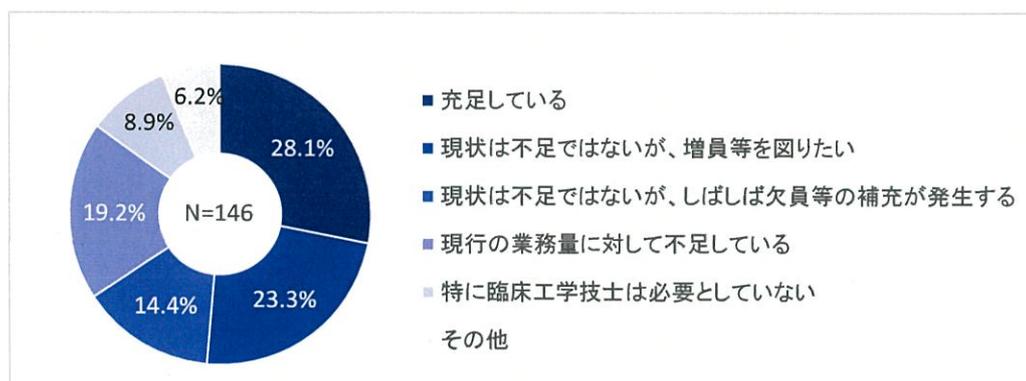
臨床工学技士の充足状況について尋ねると、「充足している」が最も高く、28.1%。次が「現状は不足ではないが、増員等を図りたい」23.3%、「現行の業務量に対して不足している」19.2%となる。一方、「特に臨床工学技士は必要としていない」は8.9%にとどまった。

問5 貴施設・貴社における臨床工学技士の充足状況についてお尋ねいたします。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	146	100.0
充足している	41	28.1
現状は不足ではないが、増員等を図りたい	34	23.3
現状は不足ではないが、しばしば欠員等の補充が発生する	21	14.4
現行の業務量に対して不足している	28	19.2
特に臨床工学技士は必要としていない	13	8.9
その他	9	6.2

※「その他」…「業態的に必要ではないが、その知識を生かし就業することが出来る」「臨床工学技士としての採用は設けていないが、資格や知識のあった方が好まれる職種はある」「臨床工学技士の採用枠を特別に設けていない」など。

※1件が無回答である。



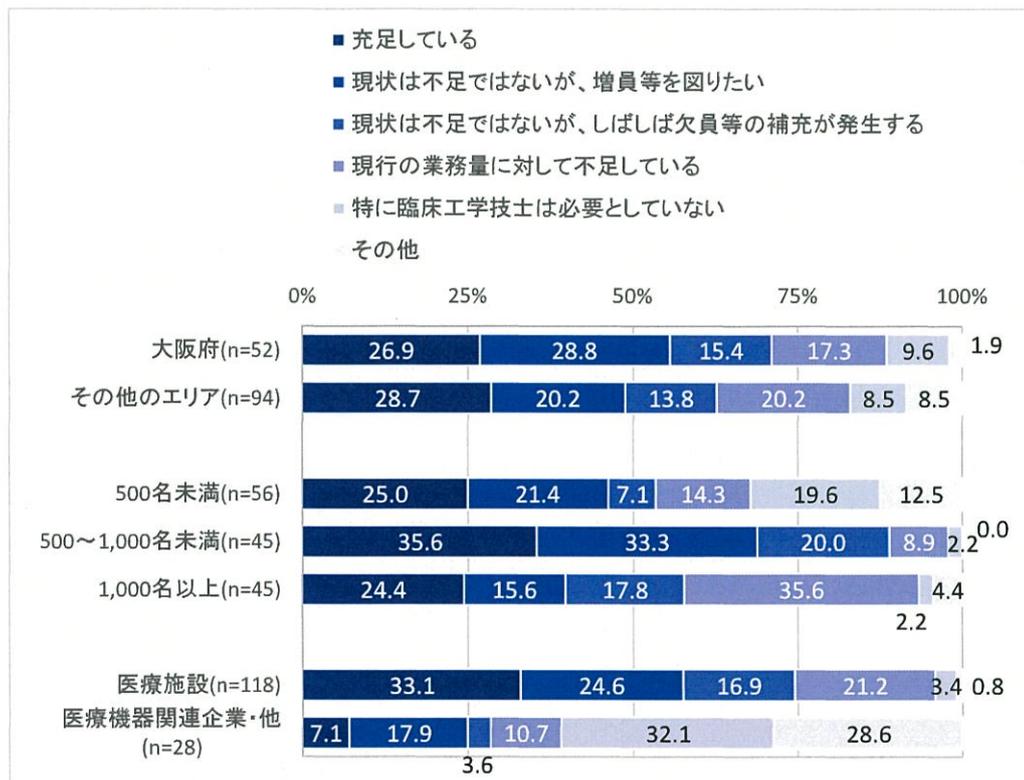
● クロス集計（エリア別・規模別・業種別）

エリア別では、大阪府において「現状は不足ではないが、増員等を図りたい」が最も高い28.8%となっており、臨床工学技士の需要がうかがえた。

また規模別にみると、1,000名以上で「現行の業務量に対して不足している」が高く、35.6%となった。

さらに業種別の医療施設では、「充足している」割合が高く、33.1%。次が「現状は不足ではないが、増員等を図りたい」で24.6%となる。

		全体	充足している	現状は不足ではないが、増員等を図りたい	現状は不足ではないが、しばしば欠員等の補充が発生する	現行の業務量に対して不足している	特に臨床工学技士は必要としていない	その他	
エリア別	大阪府	件 %	52 100.0	14 26.9	15 28.8	8 15.4	9 17.3	5 9.6	1 1.9
	その他のエリア	件 %	94 100.0	27 28.7	19 20.2	13 13.8	19 20.2	8 8.5	8 8.5
規模別	500名未満	件 %	56 100.0	14 25.0	12 21.4	4 7.1	8 14.3	11 19.6	7 12.5
	500～1,000名未満	件 %	45 100.0	16 35.6	15 33.3	9 20.0	4 8.9	1 2.2	0 0.0
	1,000名以上	件 %	45 100.0	11 24.4	7 15.6	8 17.8	16 35.6	1 2.2	2 4.4
業種別	医療施設	件 %	118 100.0	39 33.1	29 24.6	20 16.9	25 21.2	4 3.4	1 0.8
	医療機器関連企業・他	件 %	28 100.0	2 7.1	5 17.9	1 3.6	3 10.7	9 32.1	8 28.6



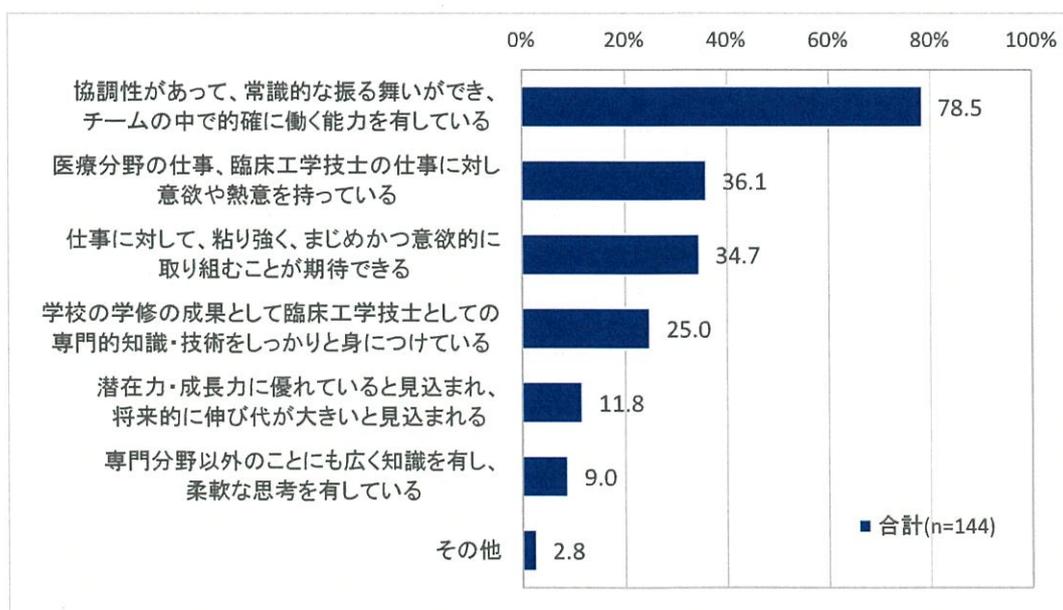
(3) 採用の際、重視する点

新卒の臨床工学技士を採用する場合の重視点として優先順位の高いものを2つまで尋ねたところ、「協調性がある、常識的な振る舞いができ、チームの中での確に働く能力を有している」が圧倒的に高く、78.5%であった。

問6 貴施設・貴社において、新卒の臨床工学技士の採用をする場合、重視する点を教えてください。次の中から、優先順位の高いものを二つ選んで、回答欄に番号を記入してください。	件数	%
全 体	144	100.0
協調性がある、常識的な振る舞いができ、チームの中での確に働く能力を有している	113	78.5
医療分野の仕事、臨床工学技士の仕事に対し意欲や熱意を持っている	52	36.1
仕事に対して、粘り強く、まじめかつ意欲的に取り組むことが期待できる	50	34.7
学校の学修の成果として臨床工学技士としての専門的知識・技術をしっかりと身につけている	36	25.0
潜在力・成長力に優れていると見込まれ、将来的に伸び代が大きいと見込まれる	17	11.8
専門分野以外のことにも広く知識を有し、柔軟な思考を有している	13	9.0
その他	4	2.8

※「その他」…「採用予定なし」など。

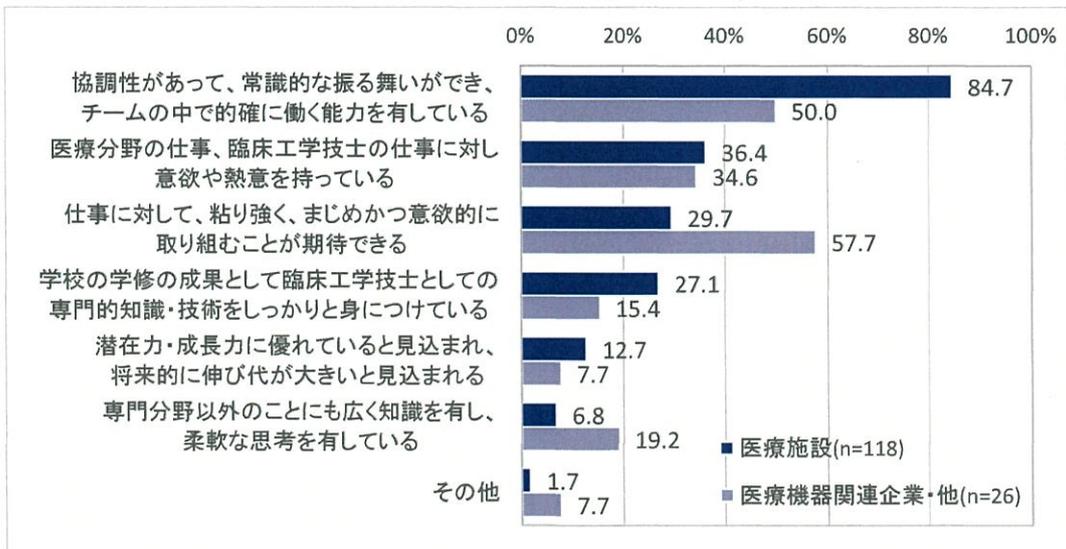
※3件が無回答である。



● クロス集計（業種別）

業種別にみると、医療施設では「協調性がある、常識的な振る舞いができ、チームの中での確に働く能力を有している」が最も高いのに対し、医療機器関連企業・他では「仕事に対して、粘り強く、まじめかつ意欲的に取り組むことが期待できる」が最も高い。業種による違いという点では、医療施設では「学校の学修の成果として臨床工学技士としての専門的知識・技術をしっかりと身につけている」が相対的に高く、医療機器関連企業・他では「専門分野以外のことにも広く知識を有し、柔軟な思考を有している」が相対的に高かった。

	全体	医療施設 件 %	医療機器関連 企業・他 件 %	協調性がある、常識的な振る舞いができ、チームの中での確に働く能力を有している	医療分野の仕事、臨床工学技士の仕事に対し意欲や熱意を持っている	仕事に対して、粘り強く、まじめかつ意欲的に取り組むことが期待できる	学校の学修の成果として臨床工学技士としての専門的知識・技術をしっかりと身につけている	潜在力・成長力に優れていると見込まれ、将来的に伸び代が大きいと見込まれる	専門分野以外のことにも広く知識を有し、柔軟な思考を有している	その他
医療施設	118	100.0	26	100	43	35	32	15	8	2
医療機器関連企業・他	26	100.0	118	13	9	15	4	2	5	2
				84.7	36.4	29.7	27.1	12.7	6.8	1.7
				50.0	34.6	57.7	15.4	7.7	19.2	7.7



4. 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）について

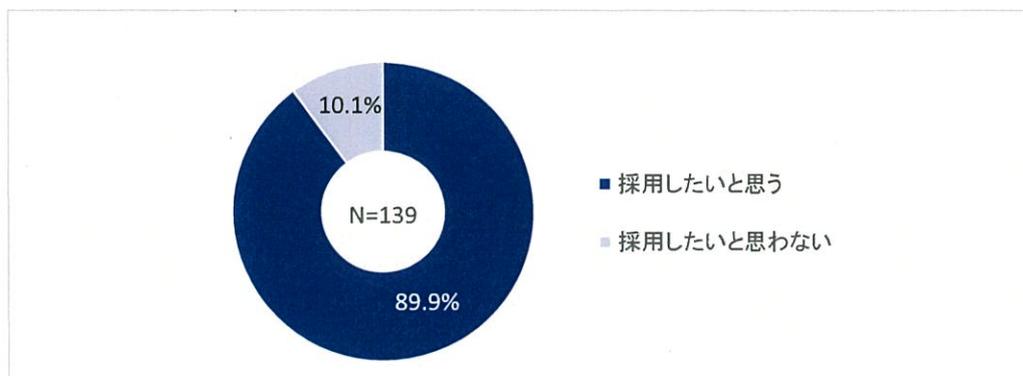
(1) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の採用について

本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生の採用について尋ねたところ、「採用したいと思う」が 89.9%を占めた。

問 7 滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生の採用について、どのようにお考えになりますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	139	100.0
採用したいと思う	125	89.9
採用したいと思わない	14	10.1

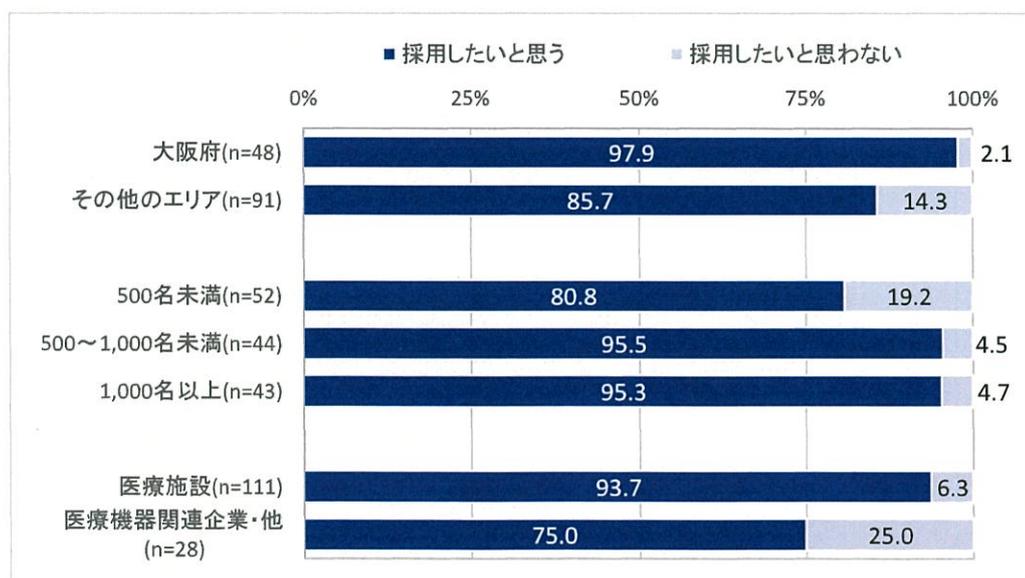
※8件が無回答である。



● クロス集計（エリア別・規模別・業種別）

エリア別で見ると、大阪府で「採用したいと思う」割合が高く、ほぼ 100.0%であった。規模別では、500 名以上で 95%超、業種別では、医療施設で 93.7%であった。

		全 体	と 採 用 し た い と 思 う	と 採 用 し た い と 思 わ な い
エリア別	大阪府	件 48	47	1
	%	100.0	97.9	2.1
その他のエリア	件	91	78	13
	%	100.0	85.7	14.3
規模別	500 名未満	件 52	42	10
	%	100.0	80.8	19.2
	500～1,000 名未満	件 44	42	2
	%	100.0	95.5	4.5
	1,000 名以上	件 43	41	2
	%	100.0	95.3	4.7
業種別	医療施設	件 111	104	7
	%	100.0	93.7	6.3
	医療機器関連企業・他	件 28	21	7
	%	100.0	75.0	25.0



(2) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）卒業生の採用人数想定

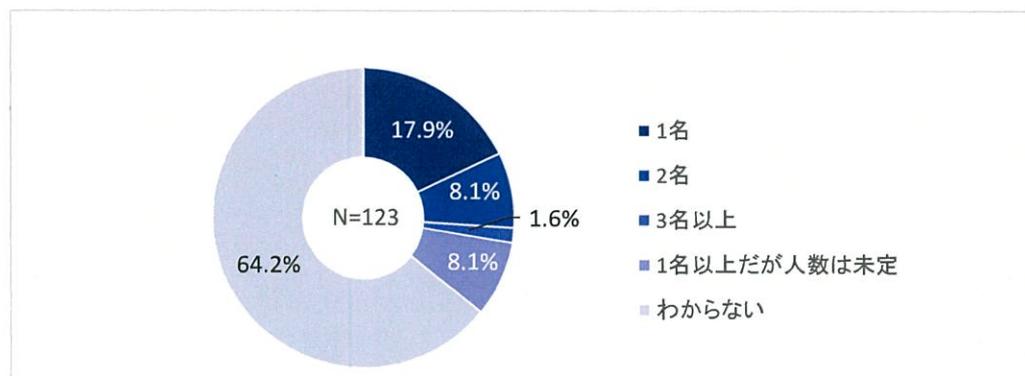
本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生について「採用したいと思う」施設・会社に対し、その採用人数について毎年の想定を尋ねた。すると、具体的な人数回答のうち「1名」が17.9%、「2名」が8.1%などとなったが、「わからない」との回答が64.2%と高かった。

問8 問7で「1 採用したいと思う」とお答えになった方にお伺いします。

滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生の採用人数について、毎年何名程度の採用を想定されますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

	件数	%
全 体	123	100.0
1 名	22	17.9
2 名	10	8.1
3 名以上	2	1.6
1名以上だが人数は未定	10	8.1
わからない	79	64.2

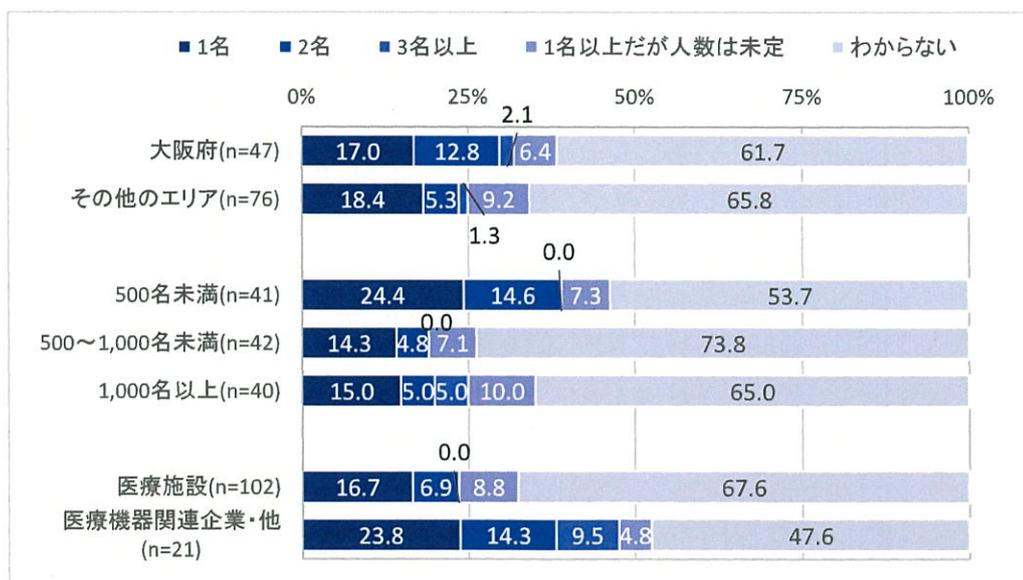
※2件が無回答である。



● クロス集計（エリア別・規模別・業種別）

毎年の採用想定人数については、エリア別・規模別・業種別のそれぞれでバラつきがみられた。

		全 体	1 名	2 名	3 名 以 上	1 名 以 上 だ が 人 数 は 未 定	わ か ら な い
エ リ ア 別	大阪府	件 47	8	6	1	3	29
	%	100.0	17.0	12.8	2.1	6.4	61.7
	その他のエリア	件 76	14	4	1	7	50
	%	100.0	18.4	5.3	1.3	9.2	65.8
規 模 別	500名未満	件 41	10	6	0	3	22
	%	100.0	24.4	14.6	0.0	7.3	53.7
	500～1,000名 未満	件 42	6	2	0	3	31
	%	100.0	14.3	4.8	0.0	7.1	73.8
	1,000名以上	件 40	6	2	2	4	26
	%	100.0	15.0	5.0	5.0	10.0	65.0
業 種 別	医療施設	件 102	17	7	0	9	69
	%	100.0	16.7	6.9	0.0	8.8	67.6
	医療機器関連 企業・他	件 21	5	3	2	1	10
	%	100.0	23.8	14.3	9.5	4.8	47.6



(3) 本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）へのご意見・ご要望

本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に対する意見・要望では、下記のような回答があった。

● 医療施設より

問 9 滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に対するご意見・ご要望などをご自由にお書きください。（自由回答）

・専門学校より専門的に広い知識を持った人材を育成していただきたい。
・専門分野に関する知識はもちろんですが、それ以外のことに関しても広く学べるような教育機関となってほしい。
・臨床工学技士の臨床業務が飽和していく中、在宅・手術室・医療連携など、従来の分野にとらわれない幅広い業務に興味を持った学生の育成に期待する。
・現状では CE としてのテクニカル・スキルにしか関心がない方が技師、学生を含め多数を占めるが、CE あるいは社会人としてのキャリア形成では社会人基礎力などが重要。貴学には、それらを含めた学生の教育を期待したいと思う。
・社会性、人間性の面も教育を。
・知識のある優秀な人材の育成をお願いしたい。
・チーム医療を進める中で協調して行動できる人物・心の折れない人物を育成してほしい。
・病院実習を充実させてほしい。
・病院等での実習を多く経験できるように。
・基本的知識とコミュニケーション能力をしっかりと身につけて病院実習に挑めるように教育してもらいたい。
・立派な大学を設立してほしい。
・養成校数が決して多いわけではなく、新設による優秀な学生様の採用を期待している。
・臨床工学士の採用試験は、ほぼ毎年実施しており、現在のところ合格者は一定の水準を満たしていると思う。ただし、受験者数は毎年減少しており、10年後には人材不足になると考えられる。
・当院では中部圏の学生の採用が多い傾向だが、遠方からの熱意ある学生の受験も歓迎する。
・学生様の学会・講演会参加の実績等データがあれば参考にさせていただきたい。

● 医療機器関連企業・他より

問 9 滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に対するご意見・ご要望などをご自由にお書きください。（自由回答）

・学生が資格を取れなかった場合に、医療機関以外の就職先もあることを指導してあげてほしい。留学生ばかりにならないようにしてほしい。
--

(4) まとめ

以上のアンケート調査結果から、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）卒業生への社会的ニーズを以下にまとめた。

今回回答を得た全 147 件から無回答を除いた 139 件のうち、問 7 で本学 医療科学部 臨床工学科（仮称）卒業生を「採用したいと思う」と回答したのは 125 件(89.9%) であり、採用意向の高さがうかがえた。

また、「採用したいと思う」と回答した施設・企業への採用想定人数に係る設問については、卒業者が出る時期がかなり先であるため、現時点では具体的人数までは「わからない」とする施設・企業が 3 分の 2 を占める結果となった。

5. 調査用リーフレット・調査票

大阪産業学園のDNAを継いで
医療科学部 臨床工学科(仮称)
滋慶医療科学大学(改称予定)

2021年4月 学部設置予定(編成中)

設置の理念

滋慶医療科学大学では、様々な変化が予想される我が国全体の医療、地域社会の発展に貢献するため、様々な専門分野の能力を磨くとともに、大衆の幸福と変化に対応していく産業・スピリットを有した医療人の養成を目的として、新たな学部を創設します。
※現在の「滋慶医療科学大学大学院」は「滋慶医療科学大学」に改称予定。

養成する人物像

▷社会に役立つ実践力を持つとともに、いのかの卓越な能力、豊かな人間性、倫理観、責任感を持った人材
▷企業職として企業に貢献 技術者として、医療・医療現場の一端として専門職力を発揮できる人材
▷学びの過程を持つとともに、様々な変化に対応する応用・応答力と柔軟な発想・判断する力を備えた人材

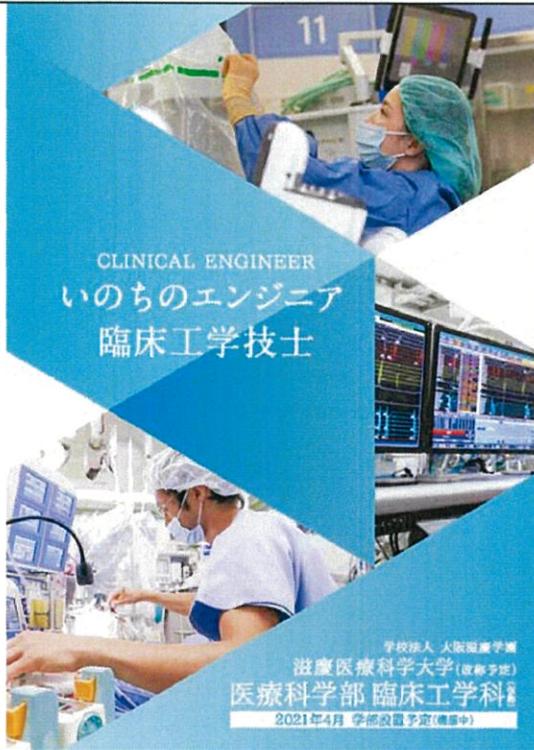
入学定員・修業年限 **80名** 専属学部・学科 1専属科を予定しており、変更になる場合がございます。

臨床工学技士	入学	授業料	修業期間
200,000円	1,400,000円	1,500,000円	3年

近隣の類似する大学

大学名	入学	授業料	修業期間
山ノ内大学(大分県)	250,000円	1,560,000円	3年
鹿児島大学(大分県)	250,000円	1,600,000円	3年
福岡福祉大学(福岡県)	300,000円	1,500,000円	3年

TEL:06-6394-1617 URL: <https://www.jimpc.ac.jp>
〒533-0003 大阪府枚方市箕原1-8-1(新大阪駅前)



CLINICAL ENGINEER
いのちのエンジニア
臨床工学技士

学校法人 大阪産業学園
滋慶医療科学大学(改称予定)
医療科学部 臨床工学科
2021年4月 学部設置予定(編成中)

いのちを守るスペシャリスト 未来の医療を変えるエンジニア

Check 01
あなたもなれる
いのちのエンジニア

臨床工学技士になれるのは、専門的な知識・技能に精通していること以外にも、社会に貢献する意欲を持ち、自ら責任が持てる意気な人財の持ち主です。チーム医療の一員として、患者の命を守る「いのち」としての責任感と人財が重要です。あなたの「**臨床工学技士になりたい**」という思いがあれば、文系・理系に問わず活躍できる仕事です。

\ 文系・理系ともに活躍できる /



文系



理系

Check 02
臨床工学技士って、どんな職業？
活躍のフィールドは？

医療人タッグの職業の一つで、最新クリニックや手術室で医師や看護師と連携し、生命維持装置の操作や保守・点検などを行う高度技術のスペシャリスト。医療技術の発展や高齢化に伴い、今後ますます活躍の期待されている職業です。大学期間中から実習などの**臨床工学技士実習**をはじめ、**臨床工学技士実習**などへ幅広く活躍の場が広がっており、医療現場・研究などの仕事も期待されています。

Check 03
滋慶医療科学大学(改称予定)なら、
0からのスタートで
臨床工学技士を目指せます。

臨床工学技士になるためには、医学と工学分野の知識が必要となります。滋慶医療科学大学(改称予定)では医学・理学・化学など高度科目の理工系も取り入れているので、入学後には院生として、入学後には院生としての知識も身につけることができます。

/ 学びの特徴 /

- 1 「臨床工学技士」の国家試験受験資格が取得できる
- 2 医学と工学の基礎から体系的に学べるカリキュラム
- 3 病院や医療機器メーカーなどでの**計画的な実習**を受けられる
- 4 実経験が豊富な教員から学び、**現場に必要な実践力を育める**
- 5 データサイエンスなどの関連分野を学び、**変化への対応力を養う**

/ 就職サポート /

独自のきめ細やかな就職サポート

大阪臨床工学技士グループ独自の業界ネットワークを活用し、臨床工学技士として大学病院や総合病院へ、医療機器開発エンジニアとして医療機器開発メーカーなどへの就職を支援します。また、これらで活躍する卒業生等スタッフの下、一人ひとりの丁寧な就職指導も実施。学生の希望する就職の企業までサポートしていきます。

※設置構想のため掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。

**滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の
人材需要に関するアンケート調査**

このアンケート調査は、採用のご責任者・ご担当者様からご意見を伺いし、滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）の設置計画に関する基礎資料とするためのものです。なお、このアンケートの結果は、統計資料としてのみ用い、個別の回答内容について公開することはありません。以下の質問に、別紙の概要及びリーフレットをご覧になってお答えくださいますようお願いいたします。

(注) このアンケート用紙は、医療施設様、医療機器等関連企業様で共通の様式となっており、設問では「貴施設、貴社」と並列で表現させていただいております。医療施設等を有する「法人」様において回答される場合、法人様で複数の医療施設等を有されるときは、回答の対象は法人全体あるいは特定の病院等のいずれでもかまいません。
医療機器等関連企業様におかれども、同様にお考えください（企業全体あるいは事業所等の単位）

問1 はじめに、貴施設又は貴社（支社、事業所等を含む）の事業内容を教えてください。
次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

- 1 医療施設（病院、診療所・クリニック）
- 2 医療機器関連企業（製造・流通等）
- 3 その他（具体的に： _____）

▶

問2 貴施設・貴社の所在地の都道府県について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで回答欄に番号を記入してください。

- | | | | |
|-------|--------|--------|-----------------|
| 1 滋賀県 | 5 奈良県 | 9 岡山県 | 13 香川県 |
| 2 京都府 | 6 和歌山県 | 10 広島県 | 14 愛媛県 |
| 3 大阪府 | 7 鳥取県 | 11 山口県 | 15 高知県 |
| 4 兵庫県 | 8 島根県 | 12 徳島県 | 16 その他（ _____ ） |

▶

問3 貴施設・貴社の職員数・従業員数について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 50名未満
- 2 50名～99名
- 3 100名～499名
- 4 500名～999名
- 5 1,000名～4,999名
- 6 5,000名以上

▶

問4 貴施設・貴社の過去3か年の平均的な臨床工学士の採用数について教えてください。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用なし
- 2 1名
- 3 2名
- 4 3名
- 5 4名
- 6 5名以上（具体的に： _____ 名程度）

▶

問5 貴施設・貴社における臨床工学士の充足状況について、お尋ねいたします。
次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 充足している
- 2 現行の業務量に対して不足している
- 3 現状は不足ではないが、増員等を図りたい
- 4 現状は不足ではないが、しばしば欠員等の補充が発生する
- 5 特に臨床工学士は必要としていない
- 6 その他（具体的に： _____）

▶

お手数ですが、ご回答後、下記までFAXで送信ください。

FAX 送信先：06-6399-0666

株式会社日本ドリコム 関西支社 担当：藤谷

問6 貴施設・貴社において、新卒の臨床工学技士の採用をする場合、重視する点を教えてください。
次の中から、優先順位の高いものを二つ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 学校の学修の成果として臨床工学技士としての専門的知識・技術をしっかりと身につけている
- 2 潜在力・成長性に優れていると見込まれ、将来的に伸び代が大きいと見込まれる
- 3 専門分野以外のことにも広く知識を有し、柔軟な思考を有している
- 4 医療分野の仕事、臨床工学技士の仕事に対し意欲や熟意を持っている
- 5 協調性があり、常識的な振る舞いができ、チームの中での確に働く能力を有している
- 6 仕事に対して、粘り強く、まじめかつ意欲的に取り組むことが期待できる
- 7 その他（具体的に： _____）

問7 滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生の採用について、
どのようにお考えになりますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 採用したいと思う
- 2 採用したいと思わない

問8 問7で「1 採用したいと思う」とお答えになった方にお伺いします。

滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）で学んだ卒業生の採用人数について、
毎年何名程度の採用を想定されますか。次の中から、一つだけ選んで、回答欄に番号を記入してください。

- 1 1名
- 2 2名
- 3 3名以上
- 4 1名以上だが人数は未定
- 5 わからない

問9 滋慶医療科学大学 医療科学部 臨床工学科（仮称）に対するご意見・ご要望などをご自由にお書きください。

{ _____ }

◇差し支えなければ、貴施設又は貴社の名称をお教えてください。（任意）

ご協力ありがとうございました。

添付資料 -アンケート送付機関一覧表①

医療機関分

NO	事業所名	住所
1	特定医療法人明陽会 成田記念病院	愛知県豊橋市羽根井本町134番地
2	社会医療法人明陽会 明陽クリニック	愛知県豊橋市八通町64-3
3	医療法人義興会 可知記念病院	愛知県豊橋市南大清水町富士見456
4	豊橋市民病院	愛知県豊橋市青竹町字八間西50
5	豊川市民病院	愛知県豊川市八幡町野路23番地
6	岡崎市民病院	愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1
7	愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院	愛知県安城市安城町東広畔28
8	医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院	愛知県刈谷市住吉町5丁目15番地
9	名古屋第一赤十字病院	愛知県名古屋市中村区道下町3-35
10	医療法人生生会 松蔭病院	愛知県名古屋市中川区打出2-70
11	一般社団法人日本海員救済会 名古屋救済会病院	愛知県名古屋市中川区松年町4-66
12	独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院	愛知県名古屋市中区三條1-1-10
13	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター	愛知県名古屋市中区三の丸4-1-1
14	医療法人香流会 絃仁病院	愛知県名古屋守山区四軒家1-710
15	名古屋大学医学部附属病院	愛知県名古屋市中区鶴舞町65
16	名古屋第二赤十字病院	愛知県名古屋市中区区妙見町2-9
17	名古屋市立大学病院	愛知県名古屋瑞穂区瑞穂町字川澄1
18	社会医療法人名古屋記念財団	愛知県名古屋天白区高宮町1302新生会第一病院
19	愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	愛知県豊田市浄水町伊保原500-1
20	トヨタ記念病院	愛知県豊田市平和町1丁目1番地
21	公立西知多総合病院	愛知県東海市市ノ池3丁目1番地の1
22	愛知医科大学病院	愛知県長久手市岩作雁又1番地1
23	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院	愛知県江南市高屋町大松原137
24	小牧市民病院	愛知県小牧市常普請1丁目20
25	春日井市民病院	愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1
26	医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院	愛知県春日井市高蔵寺町北2丁目52
27	公立陶生病院	愛知県瀬戸市西追分町160
28	社会医療法人大雄会	愛知県一宮市桜1丁目9-9
29	医療法人澄心会 岐阜ハートセンター	岐阜県岐阜市数田南4-14-4
30	岐阜市民病院	岐阜県岐阜市鹿島町7-1
31	岐阜大学医学部附属病院	岐阜県岐阜市柳戸1-1
32	社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院	岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
33	岐阜赤十字病院	岐阜県岐阜市岩倉町3丁目36
34	特定医療法人博愛会	岐阜県不破郡垂井町2210-42
35	大垣市民病院	岐阜県大垣市南畑町4-86
36	岐阜県立多治見病院	岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地
37	市立四日市病院	三重県四日市市芝田2丁目2-37
38	社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院	三重県鈴鹿市国府町112番地1
39	三重県厚生農業協同組合連合会	三重県津市栄町1-960
40	三重大学医学部附属病院	三重県津市江戸橋2-174
41	松阪厚生病院	三重県松阪市久保町1927番地の2
42	日本赤十字社 伊勢赤十字病院	三重県伊勢市船江一丁目471番2
43	公益社団法人地域医療振興協会 三重県立志摩病院	三重県志摩郡阿児町鶴方1257番地
44	社会医療法人畿内会 岡波総合病院	三重県伊賀市上野桑町1734
45	福井大学医学部附属病院	福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3
46	福井県立病院	福井県福井市四ツ井2-8-1
47	市立敦賀病院	福井県敦賀市三島町1-6-60
48	財団医療法人中村病院	福井県越前市天王町4-28
49	福井赤十字病院	福井県福井市月見2丁目4-1
50	医療法人至捷会 木村病院	福井県あわら市北金津57号25番地
51	金沢医科大学病院	石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地
52	石川県立中央病院	石川県金沢市鞍月東2-1
53	金沢大学附属病院	石川県金沢市宝町13-1
54	独立行政法人国立病院機構 金沢医療センター	石川県金沢市下石引町1番1号
55	金沢赤十字病院	石川県金沢市三馬2丁目251番地
56	富山大学附属病院	富山県富山市杉谷2630
57	富山赤十字病院	富山県富山市牛島本町2-1-58
58	富山県立中央病院	富山県富山市西長江2丁目2番78号
59	富山県厚生農業協同組合連合会 高岡病院	富山県高岡市永楽町5番10号
60	富山市立富山市民病院	富山県富山市今泉北部町2番地1
61	医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院	滋賀県大津市真野町5-1-29
62	地方独立行政法人 市立大津市民病院	滋賀県大津市本宮2-9-9
63	独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院	滋賀県大津市富士見台16番1号
64	高島市民病院	滋賀県高島市勝野1667番地
65	一般財団法人近江愛隣園 今津病院	滋賀県高島市今津町南新保87番地1
66	滋賀医科大学医学部附属病院	滋賀県大津市瀬田月輪町
67	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院	滋賀県栗東市大橋2丁目4番1号
68	医療法人社団仁生会 甲南病院	滋賀県甲賀市甲南町葛木958
69	大津赤十字病院	滋賀県大津市長等1-1-35
70	医療法人友仁会 友仁山崎病院	滋賀県彦根市竹ヶ鼻町80番地
71	医療法人恭昭会 彦根中央病院	滋賀県彦根市西今町421番地
72	彦根市立病院	滋賀県彦根市八坂町1882
73	近江八幡市立総合医療センター	滋賀県近江八幡市土田町1379
74	滋賀県立総合病院	滋賀県守山市守山5-4-30
75	医療法人徳洲会 近江草津徳洲会病院	滋賀県草津市東矢倉3丁目34-52
76	社会医療法人誠光会 草津総合病院	滋賀県草津市矢橋町1660
77	市長長浜病院	滋賀県長浜市大茂町313番地
78	長浜赤十字病院	滋賀県長浜市宮前町14番7号
79	医療法人恒仁会 近江温泉病院	滋賀県東近江市北坂町966番地
80	独立行政法人国立病院機構 東近江総合医療センター	滋賀県東近江市五智町255番地
81	公立甲賀病院	滋賀県甲賀市水口町松尾1256番地

医療機関分

NO	事業所名	住所
82	公益財団法人 豊郷病院	滋賀県犬上郡豊郷町八目12番地
83	医療法人医誠会 神崎中央病院	滋賀県東近江市五個荘清水鼻町95番地
84	医療法人財団康生会 武田病院グループ	京都府京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5
85	医療法人健康会 総合病院京都南病院	京都府京都市下京区西七条南中野町8
86	医療法人健康会 総合病院 京都南病院グループ	京都府京都市下京区西七条南中野町8
87	医療法人社団恵心会 京都武田病院	京都府京都市下京区西七条南衣田町11番地
88	京都大原記念病院グループ 京都大原記念病院	京都府京都市左京区大原戸寺町334番地1
89	医療法人医仁会 武田総合病院	京都府京都市伏見区石田森南町28-1
90	医療法人同仁会(社団)京都九条病院	京都府京都市南区唐橋羅生門10
91	社会医療法人西陣健康会 堀川病院	京都府京都市上京区堀川通今出川上ル北舟橋町865番地
92	京都第二赤十字病院	京都府京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町355-5
93	社会福祉法人京都社会事業財団 西陣病院	京都府京都市上京区五辻通六軒町西入清前町1035番地
94	京都府立医科大学附属病院	京都府京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
95	社会福祉法人京都博愛会 京都博愛会病院	京都府京都市北区上賀茂ケシ山一
96	独立行政法人地域医療機能推進機構 京都鞍馬口医療センター	京都府京都市北区小山下総町27
97	公益社団法人京都保健会 京都民医連中央病院	京都府京都市中京区西ノ京春日町16-1
98	地方独立行政法人 京都市立病院機構	京都府京都市中京区壬生東高田町1-2
99	医療法人社団育生会 京都久野病院	京都府京都市東山区本町22丁目500番地
100	京都第一赤十字病院	京都市東山区本町15-749
101	医療法人寿尚会 洛陽病院	京都府京都市左京区岩倉上蔵町143
102	京都大学医学部附属病院	京都府京都市左京区聖護院川原町54
103	医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院	京都府京都市山科区音羽珍事町2
104	洛和会ヘルスケアシステム	京都府京都市山科区音羽八ノ坪51-4
105	一般社団法人 愛生会山科病院	京都府京都市山科区竹鼻四丁野町19番地の4
106	医療法人新生十全会 京都東山老年サナトリウム	京都府京都市山科区日ノ岡裏谷町11
107	医療法人啓信会 京都きつ川病院	京都府城陽市平川西六反26-1
108	独立行政法人国立病院機構 京都病院	京都府城陽市中芦原11
109	医療法人社団石鏡会 田辺中央病院	京都府京田辺市田辺中央6丁目1番地6
110	医療法人清仁会 洛西シミズ病院	京都府京都市西京区大枝番掛町13-107
111	医療法人和松会 六地藏総合病院	京都府宇治市六地藏奈良町9番地
112	社会福祉法人あじろぎ会 宇治病院	京都府宇治市五ヶ庄芝ノ東54番地の2
113	医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院	京都府宇治市槇島町石橋145
114	医療法人社団蘇生会 蘇生会総合病院	京都府京都市伏見区下鳥羽広長町101番地
115	社会医療法人岡本病院(財団) 京都岡本記念病院	京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地
116	三菱京都病院	京都府京都市西京区桂御所町1
117	医療法人弘正会 西京都病院	京都府京都市西京区御陵溝浦町24
118	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院	京都府京都市西京区山田平尾町17番地
119	独立行政法人国立病院機構 宇多野病院	京都府京都市右京区鳴滝音戸山町8
120	医療法人真生会 向日回生病院	京都府京都市向日市物集女町中海道92番地の12
121	社会福祉法人恩賜財団 済生会京都府病院	京都府長岡京市今里南平尾8番地
122	京都山城総合医療センター	京都府京都市木津川市木津駅前1丁目27番地
123	医療法人社団聖会 学研都市病院	京都府京都府相楽郡精華町精華台7丁目4-1
124	市立福知山市民病院	京都府福知山市厚中町231
125	綾部市立病院	京都府綾部市青野町大塚20-1
126	独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター	京都府舞鶴市字行永2410
127	国家公務員共済組合連合会 舞鶴共済病院	京都府舞鶴市字浜1035
128	京丹後市立弥栄病院	京都府京丹後市弥栄町溝谷3452番地の1
129	公益財団法人 丹後中央病院	京都府京丹後市峰山町杉谷158-1
130	京都中部総合医療センター	京都府南丹市八木町八木上野25
131	生駒市立病院	奈良県生駒市東生駒1丁目6番地2
132	医療法人和幸会 阪奈中央病院	奈良県生駒市徳口町741番地
133	近畿大学奈良病院	奈良県生駒市乙田町1248-1
134	医療法人康仁会西の京病院	奈良県奈良市六条町102-1
135	独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター	奈良県奈良市七条2丁目789番地
136	公益社団法人地域医療振興協会 市立奈良病院	奈良県奈良市東紀寺町一丁目50番1号
137	地方独立行政法人 奈良県立病院機構	奈良県奈良市七条西町2丁目897-5
138	医療法人新生会 総合病院高の原中央病院	奈良県奈良市右京1丁目3番地の3
139	社会医療法人高清会 高井病院	奈良県天理市庵之庄町470-8
140	公益財団法人 天理よろづ相談所病院	奈良県天理市三島町200
141	社会福祉法人恩賜財団 済生会中和病院	奈良県桜井市阿部323
142	医療法人医誠会 橿原リハビリテーション病院	奈良県橿原市田中町104番1
143	社会医療法人 平成記念病院	奈良県橿原市四條町827
144	奈良県立医科大学附属病院	奈良県橿原市四條町840
145	大和高田市立病院	奈良県大和高田市磯野北町1番1号
146	医療法人康成会	奈良県北葛城郡河合町星和台2丁目1番地の20
147	国保中央病院	奈良県磯城郡田原本町大字宮古404-1
148	南和広域医療企業団	奈良県吉野郡大淀町大字福神8-1
149	医療法人藤井会 香芝生喜病院	奈良県香芝市穴虫3300番地3
150	医療法人弘生会 関屋病院	奈良県香芝市関屋北5-11-1
151	独立行政法人地域医療機能推進機構 大和郡山病院	奈良県大和郡山市朝日町1の62
152	医療法人田北会 田北病院	奈良県大和郡山市城南町2-13
153	国保野上厚生総合病院	和歌山県海草郡紀美野町小畑198
154	社会福祉法人恩賜財団 済生会和歌山病院	和歌山県和歌山市十二番丁45
155	独立行政法人労働者健康安全機構 和歌山労災病院	和歌山県和歌山県和歌山市木ノ本93番1
156	日本赤十字社 和歌山医療センター	和歌山県和歌山市小松原通4-20
157	医療法人曙会 和歌浦中央病院	和歌山県和歌山市塩屋6丁目2番70号
158	和歌山県立医科大学附属病院	和歌山県和歌山市紀三井寺811-1
159	ひだか病院	和歌山県御坊市藪116番地の2
160	社会医療法人黎明会 北出病院	和歌山県御坊市湯川町財部728-4
161	独立行政法人国立病院機構 和歌山病院	和歌山県日高郡美浜町大字和田1138
162	独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センター	和歌山県田辺市たきない町27-1
163	公立紀南病院組合	和歌山県田辺市新庄町46番地の70
164	新宮市立医療センター	和歌山県新宮市蜂伏18-7
165	橋本市立病院	和歌山県橋本市小峰台2-8-1

医療機関分

NO	事業所名	住所
166	医療法人南労会 紀和病院	和歌山県橋本市岸上18-1
167	公益財団法人白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院	和歌山県西牟婁郡白浜町1447
168	医療法人宝山会 白浜小南病院	和歌山県西牟婁郡白浜町3220-9
169	公立那賀病院	和歌山県紀の川市打田1282
170	神戸大学医学部附属病院	兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5-2
171	一般財団法人神戸マリナーズ厚生会 ポートアイランド病院	兵庫県神戸市中央区港島中町4丁目6番地
172	兵庫県立こども病院	兵庫県神戸市中央区港島南町1-6-7
173	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター中央市民病院	兵庫県神戸市中央区港島南町2-1-1
174	独立行政法人労働者健康安全機構 神戸労災病院	兵庫県神戸市中央区籠池通4丁目1番23号
175	社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院	兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目4-47
176	神戸赤十字病院	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目3番1号
177	独立行政法人地域医療機能推進機構 神戸中央病院	兵庫県神戸市北区惣山町2丁目1-1
178	社会福祉法人恩賜財団 済生会兵庫東病院	兵庫県神戸市北区藤原台中町5丁目1-1
179	医療法人甲鳳会 有馬温泉病院	兵庫県神戸市北区有馬町1819-2
180	医療法人社団倫生会 みどり病院	兵庫県神戸市西区枝吉1-16
181	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター	兵庫県神戸市西区靴台5-7-1
182	医療法人 川崎病院	兵庫県神戸市兵庫区東山町3丁目3-1
183	社会医療法人栄昌会 吉田病院	兵庫県神戸市兵庫区大開通9丁目2-6
184	地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立医療センター西市民病院	兵庫県神戸市長田区一番町2丁目4番地
185	医療法人社団十善会 野瀬病院	兵庫県神戸市長田区二葉町5-1-36
186	独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター	兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1
187	一般社団法人日本海員救済会 神戸救済会病院	兵庫県神戸市垂水区学が丘1丁目21-1
188	医療法人沖繩徳洲会 神戸徳洲会病院	兵庫県神戸市垂水区上高丸1-3-10
189	兵庫県立淡路医療センター	兵庫県洲本市塩屋1丁目1番137号
190	医療法人社団 淡路平成会 東浦平成病院	兵庫県淡路市久留麻1867
191	医療法人社団 坂井瑠実クリニック	兵庫県神戸市東灘区御影本町2-11-10
192	一般財団法人甲南会	兵庫県神戸市東灘区鴨子ヶ原1-5-16
193	特定医療法人五仁会 住吉川病院	兵庫県神戸市東灘区甲南町5-6-7
194	独立行政法人労働者健康安全機構 関西ろうさい病院	兵庫県尼崎市稲葉荘3-1-69
195	兵庫県立尼崎総合医療センター	兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号
196	医療法人尼崎厚生会 立花病院	兵庫県尼崎市立花町4丁目3-18
197	医療法人伯鳳会 はくほう会セントラル病院	兵庫県尼崎市東園田町4-23-1
198	社会医療法人中央会 尼崎中央病院	兵庫県尼崎市潮江1丁目12-1
199	医療法人社団アガベ会 アガベ甲山病院	兵庫県西宮市甲山町53-4
200	医療法人社団 永井医院	兵庫県西宮市江上町8-10
201	社会医療法人渡邊高記念会 西宮渡辺病院	兵庫県西宮市室川町10-22
202	兵庫県立西宮病院	兵庫県西宮市六湛寺町13-9
203	西宮市立中央病院	兵庫県西宮市林田町8-24
204	医療法人 明和病院	兵庫県西宮市上鳴尾町4-31
205	医療法人敬愛会 西宮敬愛会病院	兵庫県西宮市深津町7番5
206	兵庫医科大学病院	兵庫県西宮市武庫川町1-1
207	公立学校共済組合 近畿中央病院	兵庫県伊丹市車塚3丁目1
208	市立伊丹病院	兵庫県伊丹市昆陽池1丁目100
209	宝塚市立病院	兵庫県宝塚市小浜4-5-1
210	医療法人愛心会 東宝塚さとう病院	兵庫県宝塚市長尾町2-1
211	医療法人協和会 協立病院	兵庫県川西市中央町16番5号
212	医療法人協和会 第二協立病院	兵庫県川西市栄町5-28
213	市立川西病院	兵庫県川西市東畦野5-21-1
214	医療法人晴風園 今井病院	兵庫県川辺郡猪名川町北田原字屏風岳3
215	医療法人社団衞正会 生駒病院	兵庫県川辺郡猪名川町広根字九十九8番地
216	公立八鹿病院組合	兵庫県養父市八鹿町八鹿1878-1
217	公立豊岡病院組合	兵庫県豊岡市戸牧1094番地
218	三田市民病院	兵庫県三田市けやき台3-1-1
219	医療法人敬愛会 三田高原病院	兵庫県三田市下内神525-1
220	兵庫県立丹波医療センター	兵庫県丹波市氷上町石生2002番地7
221	医療法人敬愛会 大塚病院	兵庫県丹波市氷上町綱山513
222	社会医療法人財団聖フランシスコ会 姫路聖マリア病院	兵庫県姫路市仁豊野650
223	兵庫県立姫路循環器病センター	兵庫県姫路市西庄甲520
224	独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター	兵庫県姫路市本町68
225	医療法人松浦会 姫路第一病院	兵庫県姫路市御国野町国分寺143
226	社会医療法人 製鉄記念広畑病院	兵庫県姫路市広畑区夢前町3-1
227	社会医療法人三栄会 ツカザキ病院	兵庫県姫路市網干区和久68番1
228	國富胃腸病院	兵庫県姫路市青山3丁目33番地1号
229	公立宍粟総合病院	兵庫県宍粟市山崎町鹿沢93番地
230	医療法人公仁会 姫路中央病院	兵庫県姫路市飾磨区三宅2丁目36番地
231	医療法人社団一陽会 服部病院	兵庫県三木市大塚218-3
232	医療法人社団敬命会 吉川病院	兵庫県三木市吉川町福田1番地の2
233	地方独立行政法人 明石市立市民病院	兵庫県明石市鷹匠町1番33号
234	兵庫県立がんセンター	兵庫県明石市北王子町13-70
235	社会医療法人愛仁会 明石医療センター	兵庫県明石市大久保町八木743-33
236	医療法人社団楽裕会 楽楽クリニック	兵庫県加古川市加古川町粟津581-2
237	特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院	兵庫県加古川市平岡町土山字川池423-2
238	独立行政法人国立病院機構 兵庫あおの病院	兵庫県小野市市場町926番地の453
239	北播磨総合医療センター	兵庫県小野市市場町926番地の250
240	市立加西病院	兵庫県加西市北条町横尾1丁目13
241	兵庫県立加古川医療センター	兵庫県加古川市神野町神野203番地
242	地方独立行政法人加古川市民病院機構 加古川中央市民病院	兵庫県加古川市加古川町本町439
243	医療法人社団楽裕会 荒川クリニック	兵庫県高砂市荒井町日之出町10-11
244	医療法人沖繩徳洲会 高砂西部病院	兵庫県高砂市中筋1-10-41
245	高砂市民病院	兵庫県高砂市荒井町紙町33-1
246	西脇市立西脇病院	兵庫県西脇市下戸田652番地の1
247	赤穂市民病院	兵庫県赤穂市中広1090
248	医療法人伯鳳会 赤穂中央病院	兵庫県赤穂市惣門町52-6
249	社会医療法人社団正峰会 大山記念病院	兵庫県西脇市黒田庄町田高313番地

医療機関分

NO	事業所名	住所
250	医療法人社団緑風会 龍野中央病院	兵庫県たつの市龍野町島田667番地
251	特定医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院	大阪府大阪市北区梅田2丁目4番32号ハービスエント南側
252	一般財団法人 住友病院	大阪府大阪市北区中之島5-3-20
253	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会中津病院	大阪府大阪市北区芝田二丁目10番39号
254	社会医療法人行岡医学研究会 行岡病院	大阪府大阪市北区浮田二丁目2番3号
255	公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院	大阪府大阪市北区扇町2-4-20
256	社会医療法人協和会 加納総合病院	大阪府大阪市北区天神橋七丁目5番15号
257	株式会社互恵会 大阪回生病院	大阪府大阪市淀川区宮原一丁目6番10号
258	医療法人医誠会 医誠会病院	大阪府大阪市東淀川区菅原6-2-25
259	地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪立十三市民病院	大阪府大阪市淀川区野中北2丁目12番27号
260	宗教法人 在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院	大阪府大阪市東淀川区柴島1-7-50
261	地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター	大阪府大阪市都島区都島本通2-13-22
262	社会医療法人明生会 明生病院	大阪府大阪市都島区東野田町2-4-8
263	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会 野江病院	大阪府大阪市城東区古市1-3-25
264	社会医療法人社団有隣会 東大阪病院	大阪府大阪市城東区中央一丁目7番22号
265	医療法人医誠会 城東中央病院	大阪府大阪市城東区嶋野西五丁目13番47号
266	社会医療法人大道会 森之宮病院	大阪府大阪市城東区森之宮二丁目1番88号
267	独立行政法人国立病院機構近畿ブロック	大阪府大阪市中央区法円坂2-1-14
268	国家公務員等共済組合連合会 大手前病院	大阪府大阪市中央区大手前1-5-34
269	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター	大阪府大阪市中央区大手前3-1-69
270	医療法人警和会 大阪警察病院	大阪府大阪市天王寺区北山町10-31
271	大阪赤十字病院	大阪府大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30
272	医療法人警和会 第二大阪警察病院	大阪府大阪市天王寺区烏ヶ辻2-6-40
273	医療法人育和会 育和会記念病院	大阪府大阪市生野区巽北三丁目20番29号
274	医療法人のぞみ会 新大阪病院	大阪府大阪市生野区田島1丁目16番6号
275	医療法人同友会 共和病院	大阪府大阪市生野区勝山南四丁目16番10号
276	西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院	大阪府大阪市阿倍野区松崎町一丁目2番22号
277	大阪市立大学医学部附属病院	大阪府大阪市阿倍野区旭町1丁目5-7
278	特定医療法人仁真会 白鷺病院	大阪府大阪市東住吉区枕全7-11-23
279	医療法人橘会 東住吉森本病院	大阪府大阪市東住吉区鷹合三丁目2番66号
280	医療法人寺西報恩会 長吉総合病院	大阪府大阪市平野区長吉長原1丁目2番34号
281	公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院	大阪府大阪市西区江之子島2-1-54
282	社会医療法人寿楽会 大野記念病院	大阪府大阪市西区南堀江1-26-10
283	社会医療法人きつこう会 多根総合病院	大阪府大阪市西区九条南1-12-21
284	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会泉尾医療福祉センター 大阪府済生会泉尾病院	大阪府大阪市大正区北村三丁目4番5号
285	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪みなと中央病院	大阪府大阪市港区磯路1-7-1
286	社会医療法人きつこう会 多根第二病院	大阪府大阪市港区築港三丁目4番25号
287	関西電力病院	大阪府大阪市福島区福島2-1-7
288	独立行政法人地域医療機能推進機構 大阪病院	大阪府大阪市福島区福島4-2-78
289	社会福祉法人大阪暁明館 大阪暁明館病院	大阪府大阪市此花区西九条5丁目4番8号
290	公益財団法人 大阪労働衛生センター第一病院	大阪府大阪市西淀川区御幣島六丁目2番2号
291	公益財団法人淀川勤労者厚生協会 附属 西淀病院	大阪府大阪市西淀川区野里三丁目5番22号
292	社会医療法人愛仁会 千船病院	大阪府大阪市西淀川区福町3丁目2-39
293	社会福祉法人石井記念愛染園 附属 愛染橋病院	大阪府大阪市浪速区日本橋五丁目16番15号
294	社会医療法人寿会 富永病院	大阪府大阪市浪速区湊町1-4-48
295	医療法人ダイワ会 大和中央病院	大阪府大阪市西成区長橋一丁目2番7号
296	藤田記念病院	大阪府大阪市西成区長橋三丁目6番45号
297	医療法人山紀会 本部	大阪府大阪市西成区岸里3-13-13
298	医療法人錦秀会 阪和記念病院	大阪府大阪市住吉区苅田7-11-11
299	医療法人錦秀会 阪和病院	大阪府大阪市住吉区南住吉三丁目3番7号
300	医療法人錦秀会 阪和第二住吉病院	大阪府大阪市住吉区帝塚山東四丁目7番8号
301	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	大阪府大阪市住吉区万代東3-1-56
302	社会医療法人景岳会 南大阪病院	大阪府大阪市住之江区東加賀屋1-18-18
303	社会医療法人彩樹 豊中緑ヶ丘病院	大阪府豊中市小路1-8-12
304	医療法人協和会 千里中央病院	大阪府豊中市新千里東町一丁目4番3号
305	社会医療法人純幸会 関西メディカル病院	大阪府豊中市新千里西町一丁目1番7の2号
306	市立豊中病院	大阪府豊中市柴原町四丁目14番1号
307	医療法人篤友会 坂本病院	大阪府豊中市豊南町東1丁目6番1号
308	箕面市立病院	大阪府箕面市萱野五丁目7番1号
309	医療法人マックスール 巽病院	大阪府池田市天神1-5-22
310	市立池田病院	大阪府池田市城南3丁目1番18号
311	医療法人協和会 協和会病院	大阪府吹田市岸部北一丁目24番1号
312	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会 吹田病院	大阪府吹田市川園町1-2
313	社会医療法人愛仁会 井上病院	大阪府吹田市江の木町16番17号
314	国立研究開発法人国立循環器病研究センター	大阪府吹田市岸部新町6番1号
315	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	大阪府吹田市岸部新町5番7号
316	医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院	大阪府吹田市千里丘西21-1
317	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会千里病院	大阪府吹田市津雲台一丁目1番6号
318	大阪大学医学部附属病院	大阪府吹田市山田丘2-15
319	医療法人恒昭会 藍野病院	大阪府茨木市高田町11番18号
320	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会茨木医療福祉センター 大阪府済生会茨木病院	大阪府茨木市見付山二丁目1番45号
321	医療法人成和会 北大阪ほうせんか病院	大阪府茨木市室山一丁目2番2号
322	友誼会総合病院	大阪府茨木市西豊川町25番1号
323	医療法人友誼会 彩都友誼会病院	大阪府茨木市彩都あさぎ七丁目2番18号
324	医療法人健栄会 三康病院	大阪府高槻市野見町3-6
325	医療法人東和会 第一東和会病院	大阪府高槻市宮野町2番17号
326	医療法人社団緑水会 緑水会病院	大阪府高槻市成合南の町3番1号
327	高槻赤十字病院	大阪府高槻市阿武野一丁目1番1号
328	社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院	大阪府高槻市白梅町5番7号
329	社会医療法人祐生会 みどりヶ丘病院	大阪府高槻市真上町3-13-1
330	社会医療法人愛仁会 高槻病院	大阪府高槻市古曾部町1-3-13
331	社会医療法人仙養会 北摂総合病院	大阪府高槻市北柳川町6番24号
332	学校法人大阪医科薬科大学	大阪府高槻市大学町2-7
333	社会医療法人彩樹 守口敬仁会病院	大阪府守口市八雲東町2-47-12

医療機関分

NO	事業所名	住所
334	関西医科大学総合医療センター	大阪府守口市文圃町10-15
335	パナソニック健康保険組合 松下記念病院	大阪府守口市外島町5-55
336	社会医療法人蒼生会 蒼生病院	大阪府門真市横地596番地
337	医療法人孟仁会 摂南総合病院	大阪府門真市柳町1番10号
338	医療法人大寿会 大寿会病院	大阪府枚方市伊加賀西町47番1号
339	社会医療法人三上会 東香里病院	大阪府枚方市東香里1-24-34
340	医療法人みどり会 中村病院	大阪府枚方市長尾播磨谷1丁目2834番地5
341	社会福祉法人 枚方療育園	大阪府枚方市津田東町二丁目1番1号
342	国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院	大阪府枚方市藤阪東町一丁目2番1号
343	市立ひらかた病院	大阪府枚方市兼野本町2丁目14番1号
344	関西医科大学附属病院	大阪府枚方市新町二丁目3番1号
345	医療法人北辰会 有澤総合病院	大阪府枚方市中宮東之町12番14号
346	独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター	大阪府枚方市星丘四丁目8番1号
347	社会医療法人若弘会 わかくさ電開リハビリテーション病院	大阪府大東市大字龍間1580
348	医療法人仁泉会 阪奈病院	大阪府大東市寺川1-1-31
349	医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院	大阪府大東市谷川2-10-50
350	社会医療法人信愛会 暁生会脳神経外科病院	大阪府四條畷市中野本町28番1号
351	社会医療法人信愛会 交野病院	大阪府交野市松塚39番1号
352	医療法人宝持会 池田病院	大阪府東大阪市宝持1丁目9番28号
353	医療法人孟仁会 東大阪山路病院	大阪府東大阪市稲葉一丁目7番5号
354	医療法人河内友誼会 河内総合病院	大阪府東大阪市横枕1番31号
355	地方独立行政法人 市立東大阪医療センター	大阪府東大阪市西岩田三丁目4番5号
356	医療法人藤井会 石切生喜病院	大阪府東大阪市弥生町18-28
357	社会医療法人若弘会 若草第一病院	大阪府東大阪市若草町1-6
358	社会医療法人阪南医療福祉センター 阪南中央病院	大阪府松原市南新町三丁目3番28号
359	医療法人徳洲会 松原徳洲会病院	大阪府松原市天美東7-13-26
360	社会医療法人垣谷会 明治橋病院	大阪府松原市三宅西1-358-3
361	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院	大阪府八尾市若草町1-17
362	社会医療法人医真会 医真会八尾総合病院	大阪府八尾市沼一丁目41番地
363	八尾市立病院	大阪府八尾市龍華町一丁目3番1号
364	医療法人貴島会 貴島病院本院	大阪府八尾市楽音寺三丁目33番地
365	市立柏原病院	大阪府柏原市法善寺一丁目7番9号
366	医療法人春秋会 城山病院	大阪府羽曳野市はびきの2-8-1
367	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター	大阪府羽曳野市はびきの三丁目7番1号
368	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林医療福祉センター 大阪府済生会富田林病院	大阪府富田林市向陽台一丁目3番36号
369	医療法人宝生会 PL病院	大阪府富田林市大字新堂2204番地
370	医療法人生登会 寺元記念病院	大阪府河内長野市古野町4-11
371	医療法人三軒医院	大阪府河内長野市寿町3-46
372	医療法人弘生会 老寿サナトリウム	大阪府河内長野市小山田町379番地の5
373	医療法人恒昭会 青葉丘病院	大阪府大阪狭山市東池尻一丁目2198番1
374	近畿大学病院	大阪府大阪狭山市大野東377-2
375	公益財団法人 浅香山病院	大阪府堺市堺区今池町3丁目3番16号
376	社会医療法人清恵会	大阪府堺市堺区南安井町1丁目1番1号
377	医療法人錦秀会 阪和第一泉北病院	大阪府堺市南区豊田1588番地の1
378	医療法人恒進會 泉北陣内病院	大阪府堺市南区豊田40番地
379	社会医療法人三和会 永山病院	大阪府泉南郡能取町大久保東一丁目1番10号
380	腎・循環器 もはらクリニック	大阪府泉南市信達大苗代1123-22
381	社会医療法人同仁会 耳原総合病院	大阪府堺市堺区協和町4丁465
382	医療法人紀和会 正風病院	大阪府堺市北区新金岡町5丁目1番3号
383	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院	大阪府堺市北区長曾根町1179番の3
384	医療法人以和貴会 北条病院	大阪府堺市北区百舌鳥陵南町一丁目77番地の1
385	医療法人良秀会 高石藤井病院	大阪府高石市綾園1-14-25
386	社会医療法人ベガサス 馬場記念病院	大阪府堺市西区浜寺船尾町東四丁目244番地
387	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター	大阪府堺市西区家原寺町1丁目1番1号
388	医療法人守田会 いぶきの病院	大阪府和泉市いぶき野四丁目5番1号
389	和泉市立総合医療センター	大阪府和泉市和気町4-5-1
390	社会医療法人生長会 府中病院	大阪府和泉市肥子町1-10-17
391	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪母子医療センター	大阪府和泉市室堂町840
392	泉大津市立病院	大阪府泉大津市下条町16番1号
393	医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院	大阪府岸和田市加守町4-27-1
394	社会福祉法人寺田萬寿会 寺田萬寿病院	大阪府岸和田市南上町一丁目48番5号
395	医療法人大植会 葛城病院	大阪府岸和田市土生町二丁目33番1号
396	市立岸和田市民病院	大阪府岸和田市額原町1001番地
397	市立貝塚病院	大阪府貝塚市堀三丁目10番20号
398	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター	大阪府泉佐野市りんくう往来北2-23
399	医療法人康生会 泉佐野優人会病院	大阪府泉佐野市湊四丁目5番17号
400	医療法人誠人会 与田病院	大阪府泉南郡岬町多奈川谷川1849-11
401	医療法人紀陽会 田中北野田病院	大阪府堺市東区北野田707番地
402	社会医療法人生長会 ベルランド総合病院	大阪府堺市中区東山500-3
403	医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院	大阪府堺市中区深井北町3176
404	医療法人同愛会 博愛病院	鳥取県米子市両三柳1880
405	鳥取大学医学部附属病院	鳥取県米子市西町36-1
406	山陰労災病院	鳥取県米子市皆生新田 1-8-1
407	隠岐広域連立隠岐病院	鳥根県隠岐郡隠岐の島町城北町355
408	松江赤十字病院	鳥根県松江市母衣町200番地
409	社会医療法人昌林会 安来第一病院	鳥根県安来市安来町899-1
410	安来市立病院	鳥根県安来市広瀬町広瀬1931
411	鳥根大学医学部附属病院	鳥根県出雲市塩治町89番1
412	鳥根県立中央病院	鳥根県出雲市姫原四丁目1番地1
413	社会福祉法人恩賜財団 済生会 鳥根県済生会江津総合病院	鳥根県江津市江津町1016-37
414	益田赤十字病院	鳥根県益田市乙吉町イ103-1
415	独立行政法人地域医療機能推進機構 玉造病院	鳥根県松江市玉湯町湯町1番2号
416	公益社団法人 益田市医師会立益田地域医療センター医師会病院	鳥根県益田市遠田町1917-2
417	社会医療法人鴻仁会 岡山中央病院	岡山県岡山市北区伊島北町6-3

医療機関分

NO	事業所名	住所
418	一般財団法人 河田病院	岡山県岡山市北区富町2丁目15番21号
419	川崎医科大学附属病院	岡山県倉敷市松島577
420	岡山済生会総合病院	岡山県岡山市北区国体町2番25号
421	岡山大学病院	岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
422	川崎医科大学附属病院	岡山県倉敷市松島 577
423	国立療養所 長島愛生園	岡山県瀬戸内市邑久町虫明6539
424	公益財団法人 慈圭会 慈圭病院	岡山県岡山市南区浦安本町100番2地
425	岡山医療生活協同組合	岡山県岡山市中区赤坂本町2-20
426	一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院	岡山県津山市川崎1756
427	一般財団法人 江原積善会 積善病院	岡山県津山市一方140番地
428	備前市国民健康保険 市立吉永病院	岡山県備前市吉永町吉永中563-4
429	公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院	岡山県倉敷市美和1丁目1-1
430	医療法人 辰川会 事業本部	広島県福山市野上町2-8-2
431	社会医療法人 祥和会 脳神経センター大田記念病院	広島県福山市沖野上町3-6-28
432	広島県厚生農業協同組合連合会	広島県広島市中区大手町3-13-18松村ビル6階
433	特定医療法人 あかね会 土谷総合病院	広島県広島市中区中島町3-30
434	地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院	広島県広島市中区基町7番33号
435	広島赤十字・原爆病院	広島県広島市中区千田町1丁目9-6
436	県立広島病院	広島県広島市南区宇品神田1丁目5-54
437	広島大学病院	広島県広島市南区霞1丁目2-3
438	医療法人 光輝会 光輝病院	山口県熊毛郡平生町大字佐賀10002-77
439	光市立光総合病院	山口県光市光ヶ丘6番1号
440	地方独立行政法人 山口県立病院機構	山口県防府市大崎10077
441	地方独立行政法人 下関市立市民病院	山口県下関市向洋町1-13-1
442	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 山口県済生会山口総合病院	山口県山口市緑町2-11
443	山口大学医学部附属病院	山口県宇部市南小串1丁目1番1号
444	独立行政法人 労働者健康安全機構 山口労災病院	山口県山陽小野田市小野田1315-4
445	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 山口県済生会下関総合病院	山口県下関市安岡町8-5-1
446	香川県立中央病院	香川県高松市朝日町一丁目2番1号
447	香川県厚生農業協同組合連合会	香川県高松市屋島西町2105-17
448	香川大学医学部附属病院	香川県木田郡三木町大字池戸1750-1
449	社会医療法人 川島会 川島病院	徳島県徳島市北佐古一番町1-39
450	医療法人 三成会 水の都記念病院	徳島県徳島市北島田町1-45-2
451	医療法人 倚山会 田岡病院	徳島県徳島市万代町4-2-2
452	徳島大学病院	徳島県徳島市蔵本町2丁目50番地の1
453	徳島赤十字病院	徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103
454	医療法人 新松田会 愛宕病院	高知県高知市愛宕町1丁目1-13
455	高知赤十字病院	高知県高知市泰南町一丁目4番63-11号
456	医療法人 尚腎会 高知高須病院	高知県高知市大津乙2705-1
457	高知県・高知市病院企業団(高知医療センター)	高知県高知市池2125-1
458	高知大学医学部附属病院	高知県南国市岡豊町小蓮185番地1
459	高知県厚生農業協同組合連合会	高知県南国市明見字中野526-1
460	愛媛県立中央病院	愛媛県松山市春日町83番地
461	松山赤十字病院	愛媛県松山市文京町1
462	愛媛大学医学部附属病院	愛媛県東温市志津川454
463	一般財団法人 創精会 松山記念病院	愛媛県松山市美沢1丁目10番38号
464	社会医療法人 同心会 西条中央病院	愛媛県西条市朔日市804
465	市立宇和島病院	愛媛県宇和島市御殿町1-1

添付資料 -アンケート送付機関一覧表②

医療機器関連企業分

NO	事業所名	住所
1	株式会社ムトウ	北海道札幌市北区北11条西4丁目1番15号
2	平和物産株式会社	東京都千代田区丸の内2-2-1岸本ビル3階
3	生化学工業株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目6-1 丸の内センタービルディング10F
4	旭化成メディカル株式会社	東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 日比谷三井タワー
5	帝人ファーマ株式会社	東京都千代田区霞が関3-2-1(霞が関コモンゲート西館)
6	メドエルジャパン株式会社	東京都千代田区神田駿河台2-1-20
7	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	東京都千代田区西神田3丁目5番2号
8	株式会社アムコ	東京都千代田区飯田橋4-8-7
9	株式会社コーブリッジ	東京都千代田区麹町3-3-4 KDX麹町ビル5階
10	LifeScan Japan株式会社	東京都中央区日本橋室町3-4-4 OVOL日本橋ビル2F
11	日本アビオメッド株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目2番1号 室町東三井ビルディング12階(コレド室町1隣)
12	東レ・メディカル株式会社	東京都中央区日本橋本町2-4-1 日本橋本町東急ビル4.5F
13	第一三共株式会社	東京都中央区日本橋本町三丁目5番1号
14	東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー
15	メディカル・エキスパート株式会社	東京都中央区新川2丁目30-11新川OMKビル2F
16	メディエ株式会社	東京都中央区入船三丁目10-9 新富町ビル3F
17	バクスター株式会社	東京都中央区晴海1丁目8番10号 トリトンスクエア・オフィスタワーX 9階
18	フレゼニウスメディカルケアジャパン株式会社	東京都港区虎ノ門五丁目13番1号 虎ノ門40MTビル3階
19	シミック株式会社	東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング
20	コニカミノルタジャパン株式会社	東京都港区芝浦1-1-1 浜松町ビルディング 26F(総合受付)
21	日本アルコン株式会社	東京都港区虎ノ門1丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー
22	PHC株式会社	東京都港区西新橋2丁目38番5号
23	株式会社日立ハイテクノロジーズ	東京都港区西新橋一丁目24番14号
24	富士フイルムメディカル株式会社	東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル
25	デンツプライシロナ株式会社	東京都港区麻布台1-8-10 麻布借成ビル
26	スミスメディカル・ジャパン株式会社	東京都港区赤坂7-1-1 青山安田ビル7F
27	日本ベクトン・ディッキンソン株式会社	東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ
28	富士フイルム株式会社	東京都港区赤坂9-7-3
29	株式会社カネカ	東京都港区赤坂1-12-32(アーク森ビル)
30	株式会社ホギメディカル	東京都港区赤坂2丁目7番7号
31	株式会社東輪堂	東京都港区芝5-31-17 PMO田町6F
32	日本メトロニック株式会社	東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス
33	エム・シー・ヘルスケア株式会社	東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー12階
34	川澄化学工業株式会社	東京都港区港南2-15-2 品川インターシティB 棟9 階
35	株式会社ニコン	東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟
36	アポットバスキューラー・ジャパン株式会社	東京都港区三田3-5-27 住友不動産三田ツインビル西館 4階
37	株式会社フィリップス・ジャパン	東京都港区港南2-13-37 フィリップスビル
38	フクダコーリン株式会社	東京都文京区小石川一丁目12番14号 日本生命小石川ビル
39	日本ストライカー株式会社	東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー30階
40	富士システムズ株式会社	東京都文京区本郷3-23-14 ショウエイビル6F
41	チェスト株式会社	東京都文京区本郷3-25-11
42	アコマ医科工業株式会社	東京都文京区本郷2-14-14
43	ビー・ブラウンエースクラップ株式会社	東京都文京区本郷2-38-16 JEI 本郷ビル
44	泉工医科工業株式会社	東京都文京区本郷3-23-13
45	アトムメディカル株式会社	東京都文京区本郷3丁目18番15号
46	ミズホ株式会社	東京都文京区本郷3丁目30番13号
47	フクダエム・イー工業株式会社	東京都文京区湯島2-18-2
48	ユフ精器株式会社	東京都文京区湯島2-31-20
49	株式会社シード	東京都文京区本郷2-40-2
50	フクダ電子株式会社	東京都文京区本郷3-39-4
51	株式会社メッツ	東京都足立区千住仲町1-7
52	アルケア株式会社	東京都墨田区錦糸1-2-1 アルカセントラル19階
53	株式会社小池メディカル	東京都江戸川区松島1-24-8
54	ベックマン・コールター株式会社	東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウエストタワー
55	日本メジフィジックス株式会社	東京都江東区新砂3丁目4番10号
56	パラマウントベッド株式会社	東京都江東区東砂2丁目14番5号
57	日本ライフライン株式会社	東京都品川区東品川二丁目2番20号 天王洲オーシャンスクエア25F
58	株式会社日本ルミナス	東京都品川区大井1-14-3 K-3ビル 5階
59	ドレーゲルジャパン株式会社	東京都品川区上大崎2-13-17 目黒東急ビル4F
60	アライン・テクノロジー・ジャパン株式会社	東京都品川区上大崎3-1-1
61	長田電機工業株式会社	東京都品川区西五反田5丁目17-5
62	センチュリーメディカル株式会社	東京都品川区大崎1丁目11番2号
63	シーメンスヘルスケア株式会社	東京都品川区大崎1丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー
64	スリーエムジャパン株式会社	東京都品川区北品川6-7-29
65	株式会社リコー	東京都大田区中馬込1-3-6
66	バイオロニックジャパン株式会社	東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー 13F
67	日機装株式会社	東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー22階
68	テルモ株式会社	東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1
69	合同会社コンビエーレ	東京都目黒区中目黒1-10-22-1104
70	株式会社サン・フレア	東京都新宿区四谷4-7 新宿ヒロセビル
71	リバーフィールド株式会社	東京都新宿区左門町20番地 四谷メディカルビル5F
72	エドワーズライフサイエンス株式会社	東京都新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル
73	HOYA株式会社	東京都新宿区西新宿6-10-1 日土地西新宿ビル 20F
74	日本光電工業株式会社	東京都新宿区西落合1丁目31番4号
75	株式会社日本エム・ディ・エム	東京都新宿区市谷台町12-2
76	東洋メディック株式会社	東京都新宿区東五軒町2-13
77	株式会社トップ	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル30F
78	オリンパス株式会社	東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス
79	CardinalHealthJapan合同会社	東京都新宿区西新宿 3-7-1 新宿パークタワー34 階
80	日本ボール株式会社	東京都新宿区西新宿6-5-1
81	CookJapan株式会社	東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト

医療機器関連企業分

NO	事業所名	住所
82	ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社	東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス15階
83	横河医療ソリューションズ株式会社	東京都杉並区荻窪4-30-16 藤澤ビルディング9F
84	株式会社トプコン	東京都板橋区蓮沼町75番1号
85	株式会社タニタ	東京都板橋区前野町1-14-2
86	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	東京都日野市旭が丘4-7-127
87	株式会社ウドノ医機	東京都八王子市元横山町2-1-9 川井ビル
88	日本電子株式会社	東京都昭島市武蔵野3丁目1番2号
89	株式会社シーエムプラス	神奈川県横浜市西区みなとみらい4-6-2 みなとみらいグランドセントラルタワー6階
90	クリエートメディック株式会社	神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎南2-5-25
91	オリジオ・ジャパン株式会社	神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター4F
92	日本船舶薬品株式会社	神奈川県横浜市中区かもめ町6
93	株式会社マーク電子	神奈川県相模原市緑区橋本台1-32-1
94	株式会社ナカニシ	栃木県鹿沼市下日向700
95	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	栃木県大田原市下石上1385番地
96	アイ・エム・アイ株式会社	埼玉県越谷市流通団地三丁目3番12号
97	株式会社モリタ東京製作所	埼玉県北足立郡伊奈町小室7129番地
98	サクラ精機株式会社	長野県千曲市大字鑄物師屋75-5
99	株式会社高松製作所	長野県埴科郡坂城町上平2400-1
100	中日本メディカルリンク株式会社	長野県松本市丸の内8-1
101	株式会社メディックス昭和	長野県大町市大町6864-2
102	タカノ株式会社	長野県上伊那郡宮田村137
103	アルムメディカルサポート株式会社	静岡県三島市寿町5-10
104	浜松ホトニクス株式会社	静岡県浜松市中区砂山町325-6 日本生命浜松駅前ビル
105	ササキ株式会社	愛知県豊橋市八町通5-7
106	株式会社メニコン	愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号
107	美和医療電機株式会社	愛知県名古屋市中区千代田5-5-15
108	株式会社エバ	愛知県名古屋市中区天白区古川町46
109	株式会社東海メディカルプロダクツ	愛知県春日井市田楽町字更屋敷1485番地
110	たんぼぼ薬局株式会社	岐阜県岐阜市若宮町9-16
111	株式会社コスモス・コーポレーション	三重県松阪市桂瀬町718番地1
112	バイエル薬品株式会社	大阪府大阪市北区梅田2-4-9(代表) プリーゼタワー
113	参天製薬株式会社	大阪府大阪市北区大深町4番20号 グランフロント大阪 タワーA(受付 25F)
114	ニプロ株式会社	大阪府大阪市北区本庄西3丁目9番3号
115	株式会社エスエスサポート	大阪府大阪市淀川区西宮原2丁目6番1号(株式会社ソフトウェア・サービス内)
116	村中医療器株式会社	大阪府大阪市中央区船越町2-3-6
117	小西医療器株式会社	大阪府大阪市中央区内淡路町2丁目1番5号
118	日本メディカルネクスト株式会社	大阪府大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア 淀屋橋10F
119	扶桑薬品工業株式会社	大阪府大阪市中央区道修町一丁目7番10号
120	株式会社メデコン	大阪市中央区平野町2-5-8 平野町センチュリービル9F
121	エア・ウォーター株式会社	大阪府大阪市中央区南船場2丁目12番8号
122	タカラベルモント株式会社	大阪府大阪市中央区東心斎橋2-1-1
123	株式会社メディコスヒラタ	大阪府大阪市西区江戸堀3-4-3
124	フクダライフテック関西株式会社	大阪府吹田市穂波町6-21
125	株式会社モリタ	大阪府吹田市垂水町3-33-18
126	株式会社モリタ製作所	大阪府吹田市垂水町3丁目33番18号
127	グリーンホスピタルサプライ株式会社	大阪府吹田市春日3-20-8
128	大研医器株式会社	大阪府和泉市あゆみ野2丁目6番2号
129	株式会社三笑堂	京都府京都市南区上鳥羽大物町68
130	朝日レントゲン工業株式会社	京都府京都市南区久世築山町376-3
131	アークレイ株式会社	京都府京都市上京区岩栖院町59 擁翠園内
132	株式会社島津製作所	京都府京都市中京区西ノ京桑原町1番地
133	石黒メディカルシステム株式会社	京都府京都市伏見区竹田中川原町381
134	オムロンヘルスケア株式会社	京都府向日市寺戸町九ノ坪53番地
135	宮野医療器株式会社	兵庫県神戸市中央区楠町5丁目4-8
136	シスメックス株式会社	兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
137	エア・ウォーター防災株式会社	兵庫県神戸市西区高塚台3丁目2番地16
138	株式会社ホクシンメディカル	兵庫県神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションコート6F
139	株式会社やよい	兵庫県姫路市古二階町3番地
140	西日本メディカルリンク株式会社	岡山県岡山市南区西市114-2
141	オージー技研株式会社	岡山県岡山市中区海吉1835-7
142	協和ファインテック株式会社	岡山県岡山市東区金岡西町948-9
143	帝人ナカシマメディカル株式会社	岡山県岡山市東区上道北方688-1
144	株式会社ジェイ・エム・エス	広島県広島市中区加古町12番17号
145	大下産業株式会社	広島県広島市安佐南区祇園1丁目12番13号
146	株式会社大塚製薬工場	徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
147	山下医科器械株式会社	福岡県福岡市中央区渡辺通3-6-15 NMF天神南ビル6階
148	ヨシダ工業株式会社	福井県鯖江市有定町2-11-24
149	明祥株式会社	石川県金沢市無量寺町ハ1
150	フクダ電子ファインテック仙台株式会社	宮城県黒川郡大和町テクノヒルズ5番